文　京　区
若者の生活と意識に関する調査報告書

令和７年５月

文京区
BUNKYO CITY

目　次

第１章　調査概要

１　調査の目的 1
２　調査の設計 1
３　回収状況 1
４　調査の内容 1
５　調査結果を見る上での注意事項 2

第２章　調査結果

１　自身・家庭の状況について 3
（１）居住地区 3
（２）年齢 3
（３）性別 4
（４）最終学歴又は在学学校種別 5
（５）転入の有無 6
（６）転入した理由 7
（７）居住形態 8
（８）家族人数 8
（９）家族構成 9
（10）世帯収入 10
（11）家計の状態 11
（12）お金の不安や悩みのある費用 12
（13）日本語能力 13
（14）障害者手帳の有無 13
（15）自己肯定感等 14
２　普段の生活について 15
（１）普段の過ごし方 15
（２）安心できる居場所の有無 16
（３）安心できる居場所 17
（４）安心できる居場所に必要なこと 18
（５）外出頻度 19
（６）外出状況が現在の状態になった期間 20
（７）外出状況が現在の状態となった年齢 21
（８）外出状況が現在の状態となったきっかけ 22
（９）現在の不安や悩みごと 23
（10）家族や親族、学校や職場の人との関係 24
（11）相談先に望むこと 25
（12）区への意見「普段の生活や状況」「不安や悩みごと」（自由意見） 26

3　家族の世話について 28
（1）日常的に世話をしている人の有無 28
（2）世話の対象者 29
（3）世話の内容 30
（4）区に求める支援 31
（5）区とつながる場合の手段 32
（6）家族から受けている世話 33
（7）区への意見「家族の世話」「家族から受けている世話」（自由意見） 34
4　仕事について 36
（1）就学・就業状況 36
（2）労働時間 37
（3）働いていない理由 38
（4）仕事を選ぶ上で重視すること 40
（5）区への意見「仕事」「働き方」（自由意見） 41
5　社会とのつながりや文京区に関することについて 43
（1）地域の人との関わり状況 43
（2）社会参加活動の種類 44
（3）社会参加活動に不参加の理由 45
（4）地域への愛着の有無 46
（5）地域に愛着を感じるところ 47
（6）永住希望の有無 48
（7）区相談窓口等の認知度と利用状況等 49
（8）区の施策等への意見表明希望の有無 52
（9）区の施策等への意見表明する理由 53
(10) 区の施策等への意見表明しない理由 54
(11) 区の施策等への意見を伝える方法・手段 55
(12) 区への意見「社会とのつながり」「文京区に関すること」（自由意見） 56
6　将来への希望感について 58
（1）将来への希望感 58
（2）10年後の自分の姿 59
（3）区への意見「将来への希望感」（自由意見） 60
7　結婚・子育て・少子化対策について 62
（1）婚姻状況（事実婚等含む） 62
（2）出会いの場（配偶者・パートナー） 63
（3）交際相手の有無 64
（4）出会いの場（交際相手） 65
（5）結婚意向の有無 66
（6）結婚していない理由 67
（7）婚活等の有無・興味の有無 68

（８）国や自治体に求める支援 69
（９）子どもの有無 70
（10）子どもの人数 71
（11）理想の子どもの人数 72
（12）理想の数の子どもを育てるために必要なこと 73
（13）少子化対策のために必要なこと 75
（14）子育てしやすくするために必要と考える環境 77
（15）区への意見「結婚」「出産」「子育て」「少子化」（自由意見） 79
８　若者施策等に関する意見について 81
（１）区への意見「区の若者施策等」（自由意見） 81

使用した調査票 83

第１章　調査概要

１　調査の目的

若者の生活や意識に係る現状を把握し、（仮称）若者計画の基礎資料を得ることを目的に、調査を実施しました。

２　調査の設計

（１）調査対象者：区内在住の19歳から39歳までの者（基準日：令和７年１月１日）
（２）調 査 方 法：ＷＥＢアンケート（希望者には調査票を郵送）
（３）調 査 期 間：令和７年１月16日（木曜日）から令和７年２月19日（水曜日）まで

３　回収状況

（１）配　布　数：70,672人（全数調査）
（２）有効配布数：70,038人
（３）有効回収数：14,064人
（４）有効回収率：20.1％

４　調査の内容

（１）自身・家庭の状況について
（２）普段の生活について
（３）家族の世話について
（４）仕事について
（５）社会とのつながりや文京区に関することについて
（６）将来への希望感について
（７）結婚・子育て・少子化対策について
（８）若者施策等に関する意見について

5　調査結果を見る上での注意事項

（1）本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
（2）年代別などのクロス集計は、無回答があるため合計が全体と一致しないことがあります。
（3）百分率（%）の計算は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示しました。したがって、単数回答（１つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
（4）複数回答（２つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
（5）表中の「－」は該当する回答がなかったことを示し、「0.0」は集計結果が四捨五入により小数第２位で0.1未満となったことを示しています。
（6）本文、表、グラフに引用されている調査票の文言は、表示の都合上、一部簡略化している場合があります。
（7）回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
（8）統計数値を考察するにあたっては、傾向をまとめて表現する場合には、おおむね以下のとおりにしています。

例	表現
17.0～19.9%	約２割
20.0～20.9%	２割
21.0～22.9%	２割を超える
23.0～26.9%	２割台半ば

（9）本報告書では、自由記述の回答内容をもとにテキストマイニング※を行い、よく使われた語同士の関係性を「共起ネットワーク」として可視化しています。共起ネットワークとは、文章内で同時に使われる頻度が高い語（共起語）を線で結び、語の意味的なつながりや関心の集まりを視覚的に示したものです。
作成した共起ネットワークでは、関連性の高い語が線で結ばれています。語と語を結ぶ線の種類は関連の強さを示し、実線は強い関連、点線はやや弱い関連を表します。
各ページの共起ネットワークに使用している項目の定義は以下のとおりです。
※…大量のテキストデータから有益と思われる情報を抽出する分析手法

項目	説明
語彙群	関連性の強い語ごとに自動で分類され、色分けされたもの。
語の出現回数	語の出現回数を円で表現したもの。円が大きいほど、出現回数が多いことを示している。

なお、語彙群の中心にある語ほど、他の語と広くつながりを持っている傾向があり、関心が集中しているキーワードである可能性があります。ただし、これらのつながりは「使われた頻度」に基づくものであり、必ずしも論理的な因果関係や評価を示すものではない点にご留意ください。

第２章　調査結果

１　自身・家庭の状況について

（１）居住地区

問１　お住まいの地区をお答えください。（○は１つ）

居住地区は、「本駒込」が 10.8%で最も高く、次いで「小石川」が 10.5%、「本郷」が 10.4%、「大塚」が 9.1%となっています。

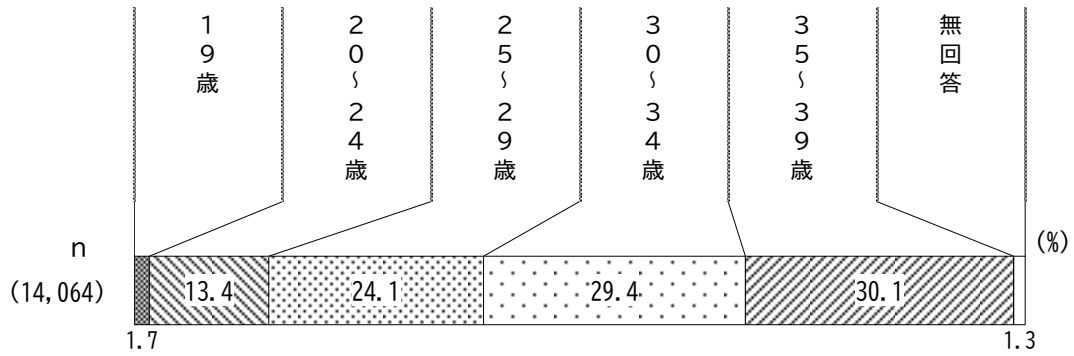
単位：%	回答数（n）	本駒込	小石川	本郷	大塚	千駄木	白山	千石	湯島	関口	水道
全体	14,064	10.8	10.5	10.4	9.1	8.7	8.4	8.3	6.2	3.4	3.0

単位：%	回答数（n）	小日向	向丘	目白台	根津	音羽	春日	西片	弥生	後楽	無回答
全体	14,064	3.0	2.9	2.8	2.8	2.6	2.3	2.2	1.0	0.8	0.8

（２）年齢

問２　令和７年１月１日時点のあなたの年齢をお答えください。

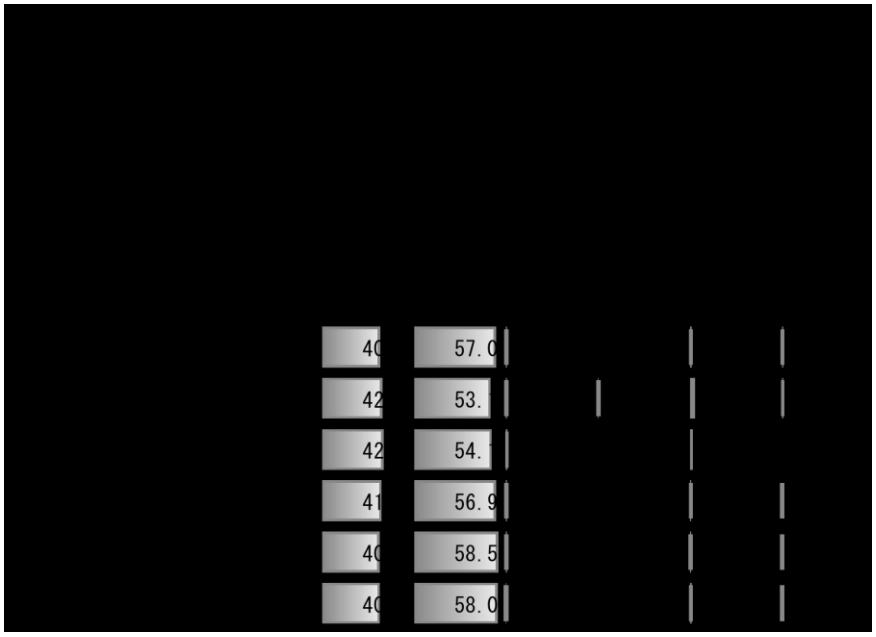
年齢は「35～39 歳」が 30.1%で最も高く、次いで「30～34 歳」が 29.4%、「25～29 歳」が 24.1%、「20～24 歳」が 13.4%となっており、年齢層が上がるにつれて高くなっています。



（3）性別

問3　あなた自身が認識する性別をお選びください。(○は１つ)

性別は、全体でみると「女性」が 57.0%、「男性」が 40.5%となっています。
それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。



（４）最終学歴又は在学学校種別

問４　あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校をお答えください。（○は１つ）

最終学歴又は在学学校種別は、全体でみると「大学・大学院」が 88.1％と最も高く、次いで「専修学校・専門学校」が5.2％となっています。

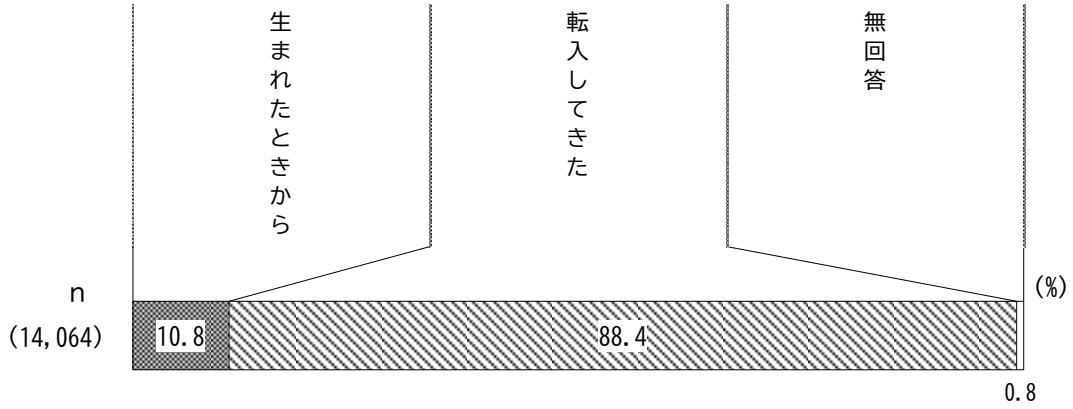
就学・就業状況別でみると、「大学・大学院」は学生（予備校生などを含む）が約９割、正社員・正規職員が９割を超えています。

単位：％		回答数（ｎ）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制・通信制・サポート校）	5年制の高等専門学校（高専）	専修学校・専門学校	短期大学	大学・大学院	その他	無回答
全体		14,064	0.2	2.7	0.7	0.3	5.2	1.5	88.1	0.5	0.8
就学・就業状況別	学生（予備校生などを含む）	1,948	0.1	5.4	1.0	0.1	2.9	0.3	87.5	2.0	0.8
	正社員・正規職員	9,211	0.1	1.4	0.2	0.4	3.9	1.3	92.0	0.1	0.7
	契約社員など非正規職員	543	0.7	5.3	2.0	0.2	9.8	4.6	76.6	0.2	0.6
	パート・アルバイト	462	1.5	8.9	4.5	0.2	19.9	4.1	58.2	1.7	0.9
	自営業	323	1.2	4.0	1.2	0.9	10.5	1.5	79.9	0.3	0.3
	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）	321	0.6	3.7	0.6	－	12.5	1.2	80.7	－	0.6
	専業主婦・主夫	426	－	4.2	1.4	0.5	10.1	3.1	79.1	0.7	0.9
	働いていない（育休中等も含む）	598	0.8	4.2	1.7	0.2	7.0	2.0	82.6	1.0	0.5
	その他	97	－	6.2	3.1	－	2.1	2.1	78.4	8.2	－

（５）転入の有無

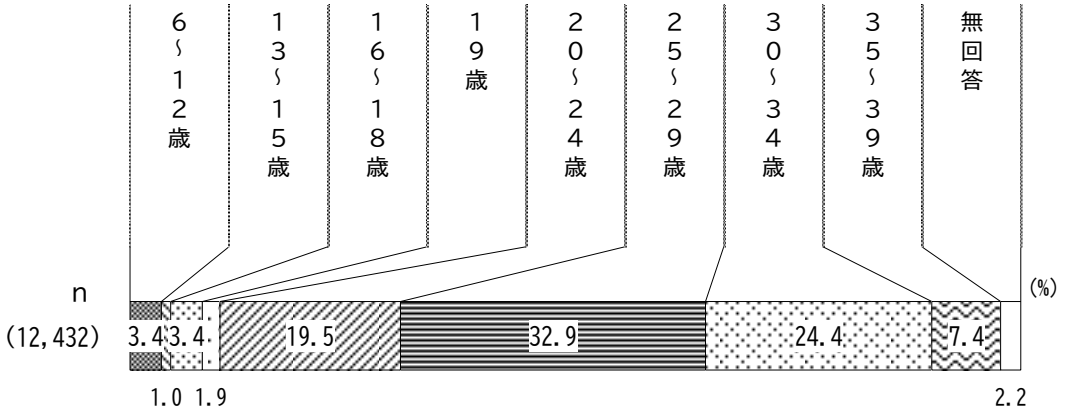
問５　あなたはいつから文京区にお住まいですか。（○は1つ）

転入の有無は、「転入してきた」が 88.4%となっており、「生まれたときから」が 10.8%となっています。



【「転入してきた」と回答した方の転入年齢】

転入年齢は、「25～29 歳」が 32.9%で最も高く、次いで「30～34 歳」が 24.4%、「20～24 歳」が 19.5%、「35～39 歳」が 7.4%となっており、全体の８割以上が 20 歳以降に転入しています。



（6）転入した理由

問５で、「２　転入してきた」とお答えの方にうかがいます。
問５－１　文京区に転入された理由について、あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。※複数回の転入を経験されている場合は、直近の理由をお答えください。（○はいくつでも）

文京区に転入した理由は、全体でみると「治安がよく、安全だから」が 43.8％で最も高く、次いで「自分が通う職場から近いから」が 42.0％、「家族（パートナーを含む）の都合（転勤など）があったから」が 26.2％となっています。

年齢層別でみると、「治安がよく、安全だから」は 30 歳代で約５割となっています。「自分が通う学校から近いから」は 19 歳と 20～24 歳で４割台半ばから約５割となっています。

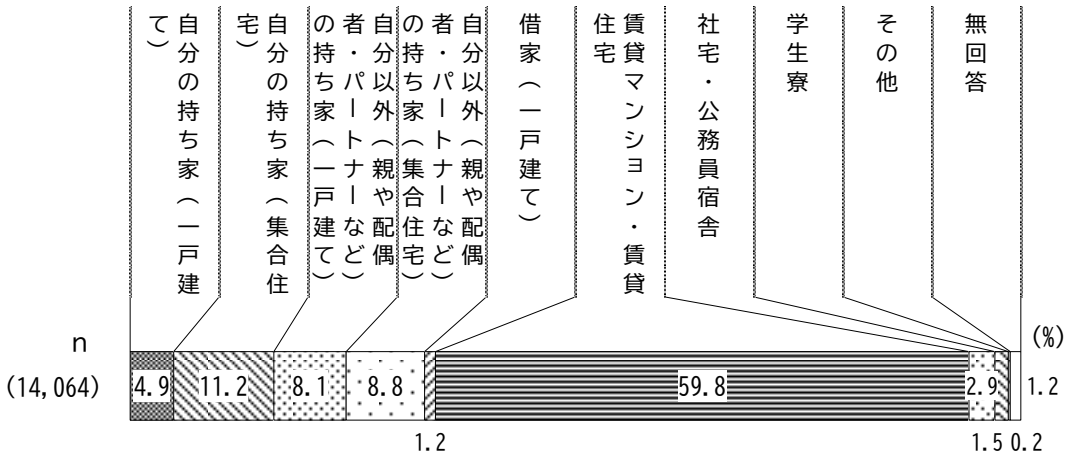
単位：％		回答数（n）	治安がよく、安全だから	自分が通う職場から近いから	家族（パートナーを含む）の都合（転勤など）があったから	将来、子どもを産み育てる場所として良いと思ったから	自分が通う学校から近いから	家族（パートナーを含む）が文京区に住んでいるから	自然環境が豊かだから
全体		12,432	43.8	42.0	26.2	17.3	15.4	9.7	7.4
年齢層別	19歳	158	14.6	1.3	36.7	2.5	46.8	9.5	4.4
	20～24歳	1,415	23.8	18.9	25.8	2.3	47.3	3.6	4.3
	25～29歳	3,064	41.9	48.4	23.1	8.6	18.4	6.9	7.5
	30～34歳	3,840	48.5	47.4	26.5	19.8	9.1	10.8	7.8
	35～39歳	3,849	49.1	41.6	28.3	28.1	6.2	13.4	8.5

単位：％		回答数（n）	商業施設・レジャー施設が充実しているから	将来的なまちの発展性があると思ったから	子どもの通う園や学校から近いから	生まれ育ったまちだから	その他	無回答
全体		12,432	6.3	4.6	1.4	1.2	8.3	0.5
年齢層別	19歳	158	1.9	2.5	1.3	0.6	9.5	1.9
	20～24歳	1,415	3.5	2.3	0.6	0.8	5.7	1.2
	25～29歳	3,064	6.8	3.5	0.1	0.8	7.2	0.3
	30～34歳	3,840	7.4	5.2	0.8	1.5	8.5	0.3
	35～39歳	3,849	6.2	5.7	3.2	1.2	10.1	0.3

（7）居住形態

問6　あなたのお住まいの形態をお答えください。（○は1つ）

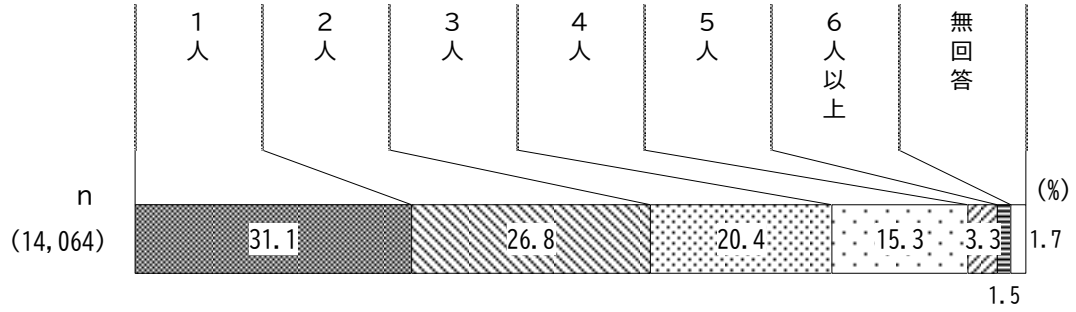
居住形態は、「賃貸マンション・賃貸住宅」が 59.8%で最も高く、次いで「自分の持ち家（集合住宅）」が 11.2%、「自分以外（親や配偶者・パートナーなど）の持ち家（集合住宅）」が 8.8%、「自分以外（親や配偶者・パートナーなど）の持ち家（一戸建て）」が 8.1%となっています。



（8）家族人数

問7　あなたと一緒に住んでいる人は、**あなたを含めて**何人ですか。

家族人数は、「１人」が 31.1%で最も高く、次いで「２人」が 26.8%、「３人」が 20.4%、「４人」が 15.3%となっています。

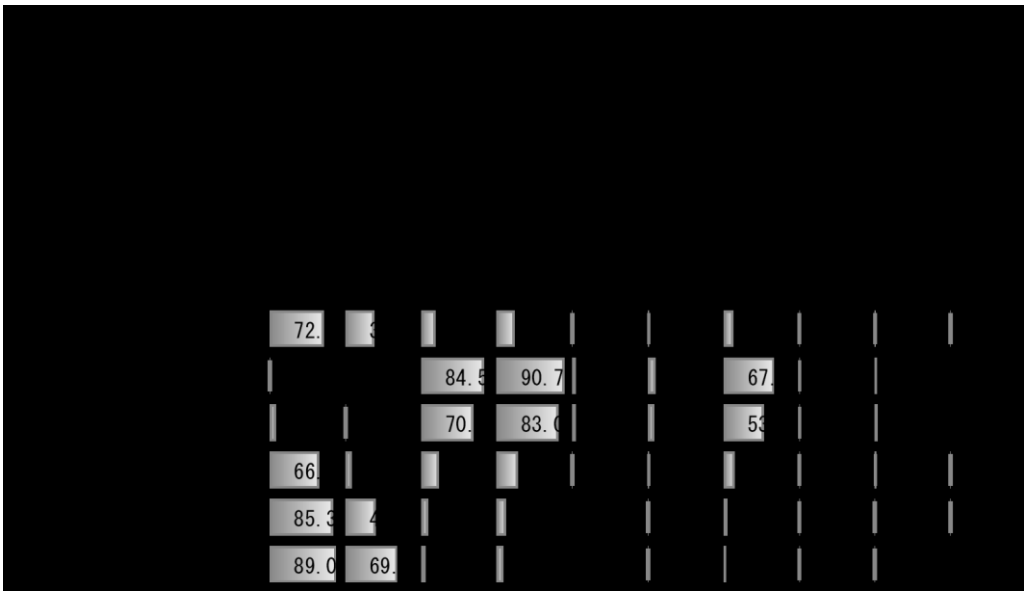


（９）家族構成

問７で、「２人以上」とお答えの方にうかがいます。
問７－１　あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

家族構成は、全体でみると「配偶者・パートナー・交際相手」が 72.5％で最も高く、次いで「子ども」が 39.4％、「母親」が 24.2％、「父親」が 20.0％、「兄弟姉妹」が 13.4％となっています。

年齢層別でみると、「配偶者・パートナー・交際相手」は 30 歳代で８割台と高くなっており、「子ども」は 35～39 歳で約７割と高くなっています。また、「父親」、「母親」、「兄弟姉妹」は 24 歳以下で高くなっています。

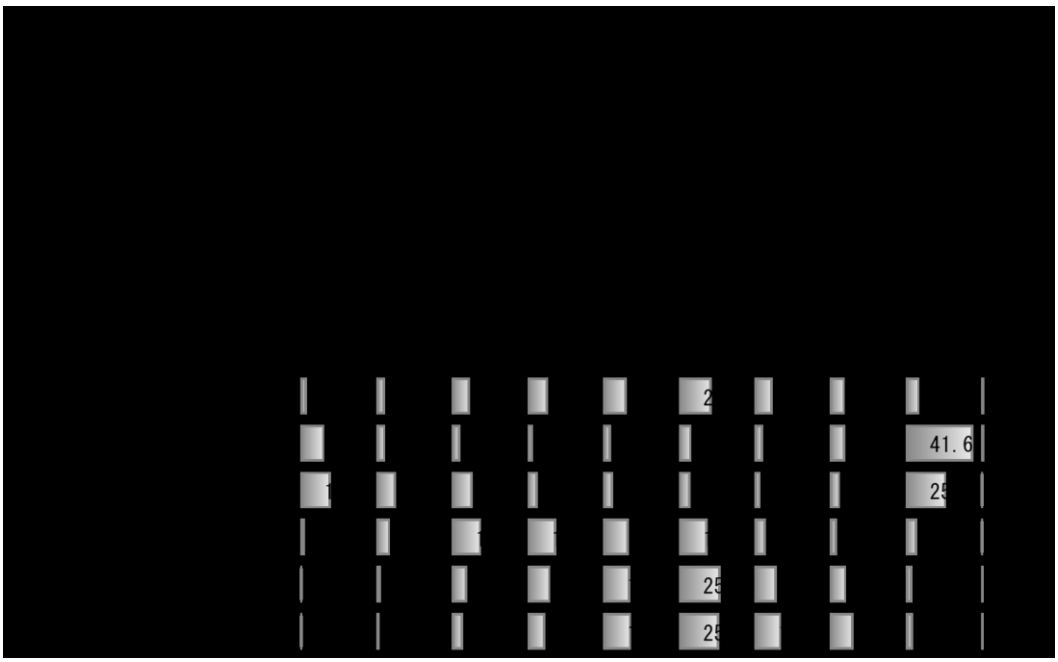


(10) 世帯収入

問８　あなたの家庭の家計(年間の収入)について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。(○は1つ)

世帯収入は、全体でみると「1,000～1,500 万円未満」が 20.5%と最も高くなっています。次いで「700～1,000 万円未満」が 14.8%、「500～700 万円未満」が 12.7%、「1,500～2,000 万円未満」が 11.4%、「300～500 万円未満」が 11.2%となっています。

年齢層別でみると、「1,000～1,500 万円未満」は 30 歳代で２割台半ばとなっています。一方、「100 万円未満」は 20～24 歳で約２割と最も高く、19 歳でも 1 割台半ばとなっています。

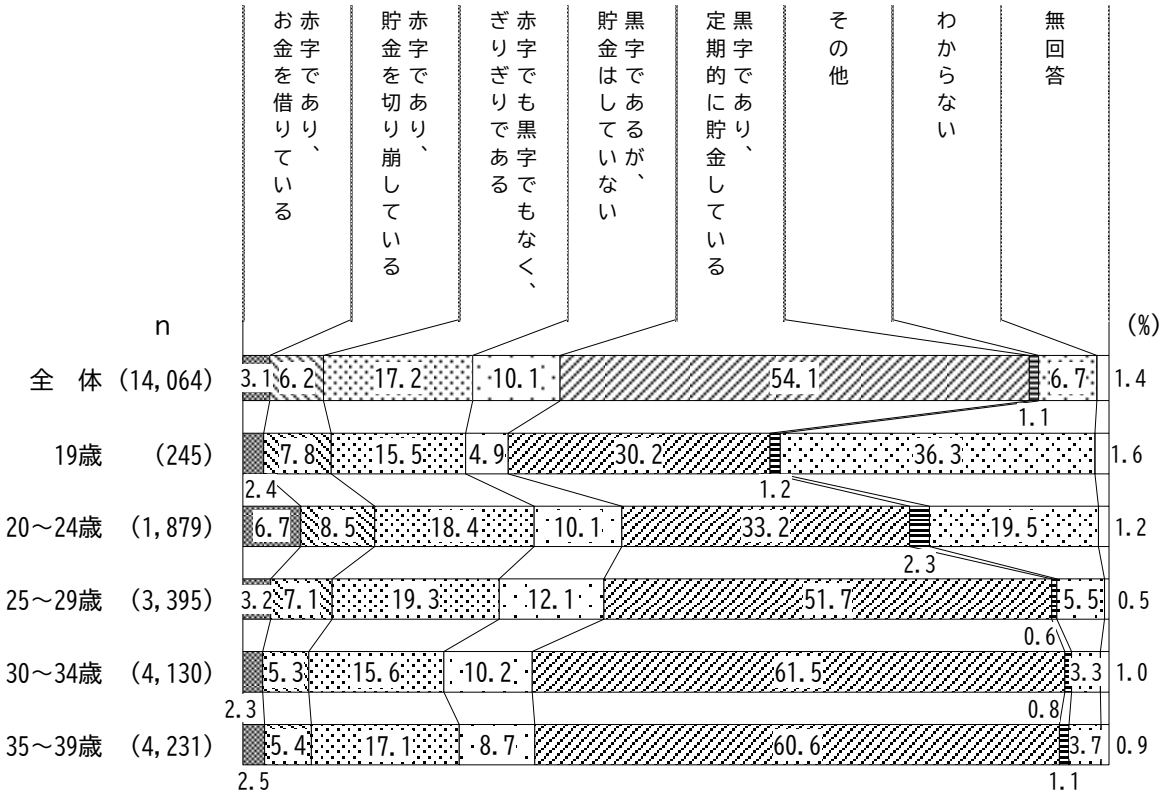


（11）家計の状態

問９　あなたの家庭の家計(状況)について、一番近いものの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。（○は1つ）

家計の状態は、全体でみると「黒字であり、定期的に貯金している」が 54.1%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 17.2%、「黒字であるが、貯金はしていない」が 10.1%、「わからない」が 6.7%となっています。

年齢層別でみると、「黒字であり、定期的に貯金している」はおおむね年齢層が上がるにつれて高くなり、30 歳代では６割台となっています。「赤字であり、貯金を切り崩している」及び「赤字であり、お金を借りている」は 20～24 歳で他の年齢層よりもやや高くなっています。



(12) お金の不安や悩みのある費用

問10　お金の不安や悩みがある費用について、あてはまる答えの番号<u>すべて</u>に○をつけてください。(○はいくつでも)

お金の不安や悩みのある費用は、全体でみると「居住費」が 61.9%と最も高く、次いで「食費」が 46.1%、「子どもの養育費」が 32.2%、「趣味・交際費」が 24.7%、「医療費」が 24.4%となっています。

世帯収入別でみると、「食費」は 500 万円未満で６割台と高く、おおむね年収が上がるにつれて低くなっています。一方、「子どもの養育費」はおおむね年収が上がるにつれて高くなり、1,500～2,000 万円未満で 54.3%と最も高くなっています。「趣味・交際費」と「医療費」は 1,000 万円未満で２割台から３割台となっています。

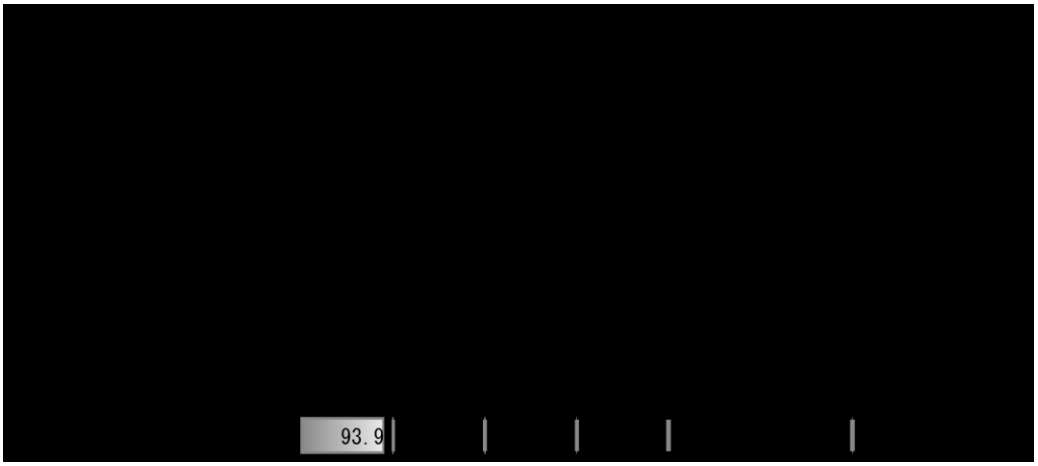
単位：%		回答数（n）	居住費	食費	子どもの養育費	趣味・交際費	医療費	学費・奨学金返済	資格取得やキャリアアップのための費用
全体		14,064	61.9	46.1	32.2	24.7	24.4	20.9	16.5
世帯収入別	100万円未満	585	65.3	64.4	4.8	33.7	27.5	38.1	23.6
	100～300万円未満	767	73.9	68.4	7.4	37.9	34.3	30.1	22.6
	300～500万円未満	1,571	70.1	61.6	11.3	39.1	34.8	19.2	24.8
	500～700万円未満	1,791	66.2	53.2	20.5	31.3	28.1	17.9	19.7
	700～1,000万円未満	2,079	66.3	48.8	35.7	24.9	23.6	20.4	16.9
	1,000～1,500万円未満	2,882	66.3	42.5	49.5	18.4	19.9	20.4	13.2
	1,500～2,000万円未満	1,602	61.0	32.3	54.3	13.0	17.5	19.3	10.8
	2,000万円以上	1,312	46.5	23.9	48.5	12.4	16.1	17.5	10.5
	わからない	1,207	41.4	42.9	14.7	29.3	29.1	23.4	16.6

単位：%		回答数（n）	家族（パートナーを含む）の介護等に係る経費	通信費	留学費	その他	特になし	無回答
全体		14,064	13.3	11.4	8.6	5.6	9.8	1.3
世帯収入別	100万円未満	585	5.1	20.9	25.8	2.9	5.8	0.3
	100～300万円未満	767	9.6	23.9	11.6	7.8	4.0	0.1
	300～500万円未満	1,571	10.6	19.6	5.2	7.1	5.8	0.5
	500～700万円未満	1,791	13.5	14.4	5.5	5.5	8.0	0.4
	700～1,000万円未満	2,079	15.2	11.2	6.1	6.3	8.7	0.2
	1,000～1,500万円未満	2,882	13.1	6.8	6.6	4.6	8.2	0.5
	1,500～2,000万円未満	1,602	14.3	4.3	8.6	3.9	10.7	0.5
	2,000万円以上	1,312	15.2	3.4	13.4	5.9	19.7	0.7
	わからない	1,207	17.5	14.2	11.9	6.1	18.8	1.2

(13) 日本語能力

問11　あなたは日本語をどの程度使うことができますか。(話す、聞く、読む、書くなど) （○は1つ）

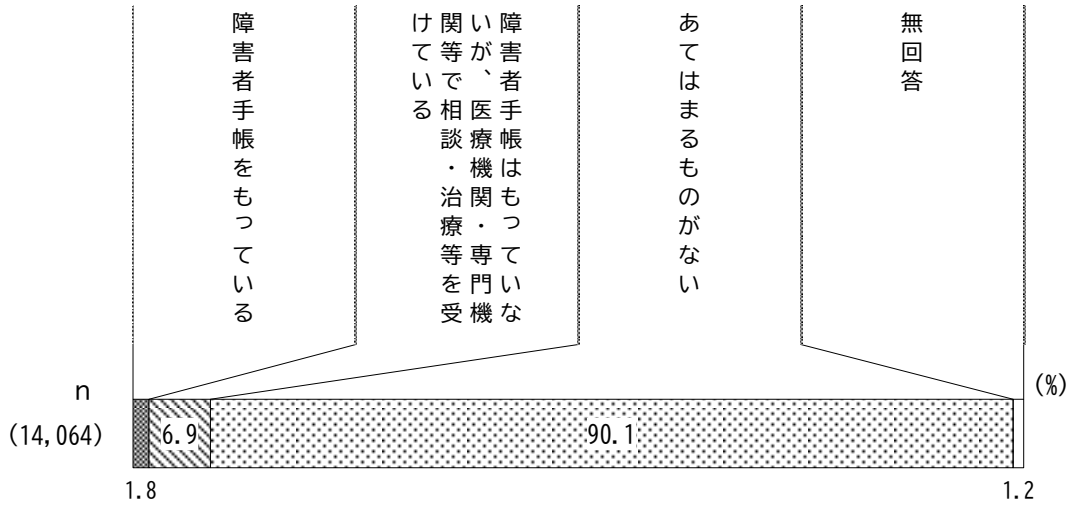
日本語能力は、「母語（日常生活で最も自然に使える言語）としている」が 93.9%となっています。



(14) 障害者手帳の有無

問12　あなた自身の状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

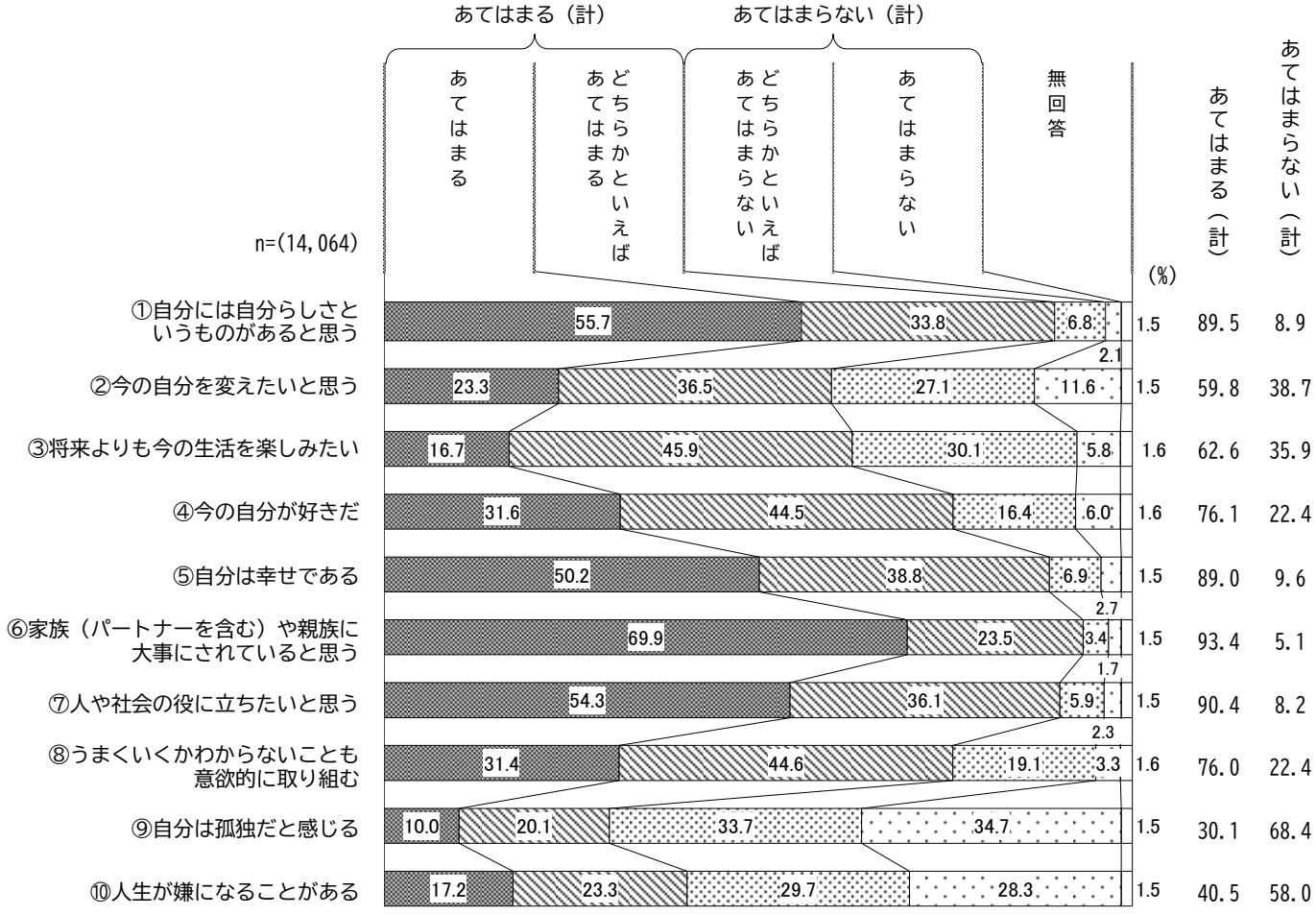
障害者手帳の有無は、「あてはまるものがない」が 90.1%で最も高く、次いで「障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で相談・治療等を受けている」が 6.9%、「障害者手帳をもっている」が 1.8%となっています。



(15) 自己肯定感等

問13　あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

自己肯定感等は、「あてはまる（計)」では「家族（パートナーを含む）や親族に大事にされていると思う」が 93.4%と最も高く、僅差で「人や社会の役に立ちたいと思う」が 90.4%と、どちらも９割台となっています。一方、「あてはまらない（計)」では、「自分は孤独だと感じる」にあてはまらない人が 68.4%と最も高く、次いで「人生が嫌になることがある」にあてはまらない人が 58.0%となっており、いずれも肯定的な傾向がうかがえました。



2　普段の生活について

（1）普段の過ごし方

問14　あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。**3つまで**○をつけてください。（○は3つまで）

普段の過ごし方は、全体でみると「家族（パートナーを含む）と話をする」が 54.8%と最も高く、次いで「テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する」が 46.4%、「スマートフォンやパソコンで、インターネットやＳＮＳを見る」が 40.1%となっています。

年齢層別でみると、「家族（パートナーを含む）と話をする」は 30 歳代で６割台と高くなっています。「友だちや交際相手と話をする」は 24 歳以下で３割台となっています。また、「子どもの世話をする」は 35～39 歳で 37.0%、「勉強をする」は 19 歳で 36.3%となっています。

単位：%		回答数（n）	家族（パートナーを含む）と話をする	テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する	スマートフォンやパソコンで、インターネットやＳＮＳを見る	友だちや交際相手と話をする	食事や買い物に出かける	子どもの世話をする	ゲームをする	友だちなどとメールやＬＩＮＥなどで連絡を取り合う	勉強をする	本、雑誌、マンガなどを読む
全体		14,064	54.8	46.4	40.1	21.1	18.4	17.6	16.1	15.9	15.3	13.7
年齢層別	19歳	245	38.0	45.7	44.9	31.0	6.9	－	24.1	22.0	36.3	11.4
	20～24歳	1,879	34.9	48.2	43.1	35.6	14.5	0.2	22.1	22.7	23.8	11.5
	25～29歳	3,395	47.9	51.5	41.5	29.5	19.7	3.0	18.2	17.1	15.9	13.0
	30～34歳	4,130	61.4	47.6	39.6	17.4	18.7	19.0	15.3	15.4	13.0	14.0
	35～39歳	4,231	64.4	40.8	38.0	11.5	19.4	37.0	12.1	12.1	12.0	15.0

単位：%		回答数（n）	スポーツなどで体を動かす	特に何もしないで、ひとりでのんびり過ごす	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く	社会参加活動（サークル活動・ボランティア活動など）をする	親の介護をする	親の代わりに家事や兄弟姉妹の世話をする	その他	無回答
全体		14,064	10.7	5.5	4.4	3.7	2.3	1.5	0.2	0.1	2.3	0.7
年齢層別	19歳	245	6.5	6.9	2.9	2.0	3.7	3.7	－	－	2.9	1.2
	20～24歳	1,879	8.6	7.9	4.9	4.3	3.0	3.5	0.1	0.3	2.0	0.7
	25～29歳	3,395	11.6	5.8	5.1	4.6	2.9	1.3	0.2	0.1	1.6	0.8
	30～34歳	4,130	11.1	4.9	4.3	3.7	2.0	1.0	0.2	0.1	2.3	0.5
	35～39歳	4,231	10.5	4.6	4.0	3.0	1.5	0.9	0.2	0.1	2.9	0.4

（2）安心できる居場所の有無

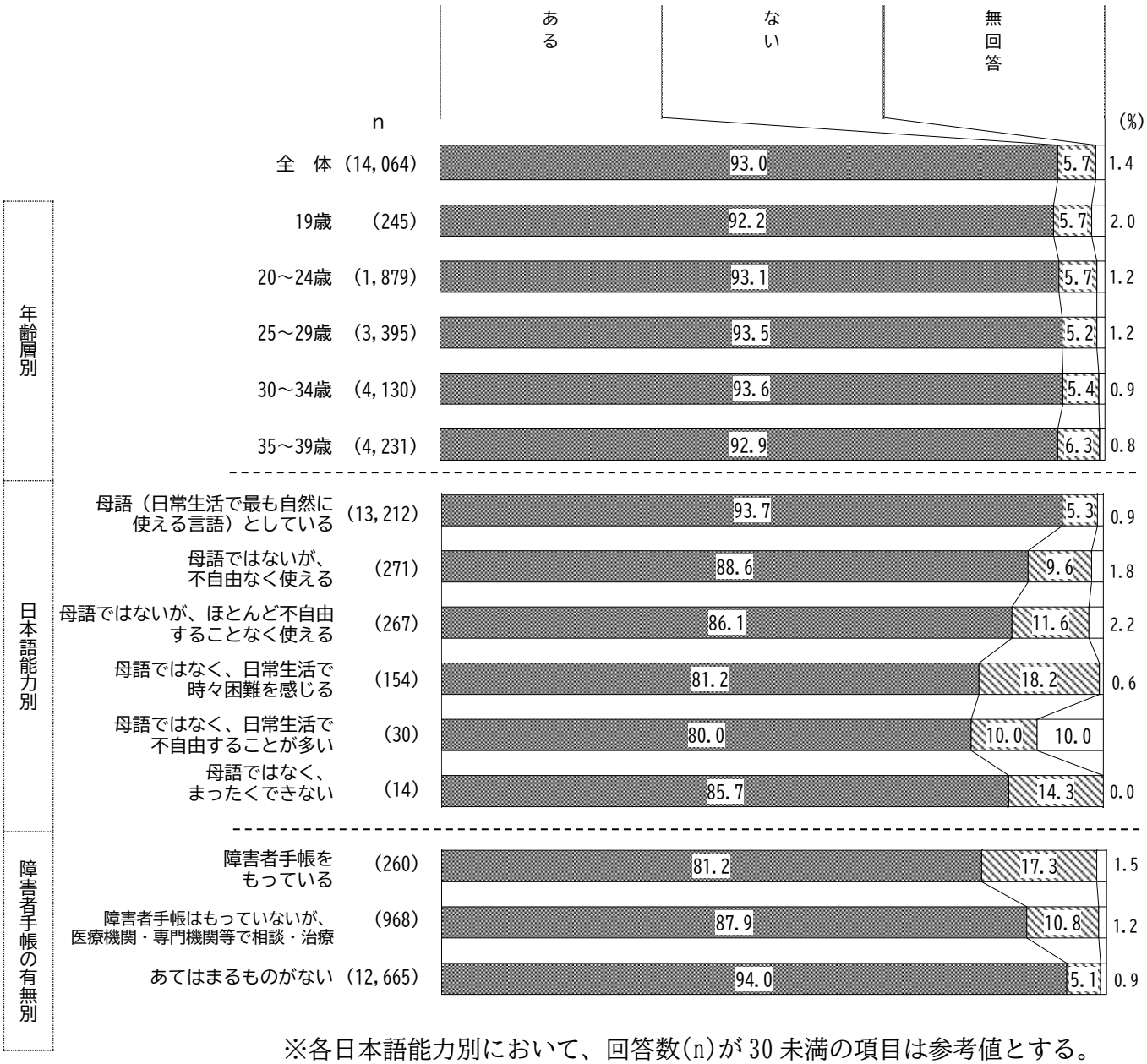
問15　今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はありますか。(○は1つ)

安心できる居場所の有無は、全体でみると「ある」が 93.0%、「ない」が 5.7%となっています。

それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。

日本語能力別でみると、母国語でなく日常生活で不自由を感じる経験が多いほど、「ない」と回答する割合がおおむね高くなっています。

障害者手帳の有無別でみると、あてはまるものがないと回答した人よりも、障害者手帳をもっている人及び障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で相談・治療を受けていると回答した人の方が「ない」と回答する傾向にあります。



※各日本語能力別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（3）安心できる居場所

問15で、「1　ある」とお答えの方にうかがいます。
問15－1　今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はどこですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

安心できる居場所は、全体でみると「自宅・自分の部屋」が 96.3%で最も高く、次いで「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」が 26.9%、「カフェや喫茶店」が 19.6%、「職場（アルバイトを含む）」が 15.8%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「自宅・自分の部屋」は９割台となっています。「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」は 25～29 歳で 32.6%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	自宅・自分の部屋	自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）	カフェや喫茶店	職場（アルバイトを含む）	地域（公園、図書館、サークル・ボランティアの活動の場など）	居酒屋などお酒を提供するお店	インターネット空間（SNS、オンラインゲームなど）	学校（部活動を含む）
全体		13,075	96.3	26.9	19.6	15.8	6.7	6.7	6.4	5.4
年齢層別	19歳	226	95.6	21.7	11.5	10.6	7.1	0.4	11.9	32.3
	20～24歳	1,749	94.1	26.8	17.2	14.2	7.1	4.5	9.8	23.0
	25～29歳	3,175	96.3	32.6	20.3	14.5	5.5	6.5	7.0	4.6
	30～34歳	3,867	97.3	26.8	19.4	15.5	6.5	7.0	6.0	1.2
	35～39歳	3,932	96.5	22.9	21.0	18.3	7.5	8.0	4.5	0.6

単位：%		回答数（n）	習い事（塾・教室）、スポーツクラブ	ゲームセンター、カラオケ、ファストフードなどのお店	相談窓口、サポートしてくれる場所（電話やオンラインを含む）	その他	無回答
全体		13,075	5.1	2.2	0.7	1.6	0.1
年齢層別	19歳	226	4.4	6.6	－	0.4	－
	20～24歳	1,749	3.0	3.3	1.1	1.8	0.2
	25～29歳	3,175	5.3	2.8	0.7	1.4	0.1
	30～34歳	3,867	5.2	2.0	0.6	1.4	0.0
	35～39歳	3,932	5.9	1.3	0.6	1.8	0.0

（４）安心できる居場所に必要なこと

問16　安心できる場所、居心地の良い場所として、どのような場所があれば良いと思いますか。
あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

安心できる居場所に必要なことは、全体でみると「静かに勉強や読書ができる場所」が 57.6%で最も高く、次いで「緑がある公園や広場」が 52.1%、「気軽に話ができる場所」が 48.7%、「文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所」が 34.6%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「静かに勉強や読書ができる場所」は５割以上となっています。「緑がある公園や広場」は 30 歳代で５割台半ば、「気軽に話ができる場所」は 24 歳以下で５割台と高くなっています。「ゲームやパソコンができる場所」は 19 歳で 30.2%、20～24 歳で 23.6%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	静かに勉強や読書ができる場所	緑がある公園や広場	気軽に話ができる場所	文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所	いろいろなスポーツができる体育館や運動場	ひとりでも安心して、家族（パートナーを含む）や友だちには話せない悩みの相談ができる場所	ゲームやパソコンができる場所	子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	その他	特にない	無回答
全体		14,064	57.6	52.1	48.7	34.6	25.2	18.0	17.6	10.0	3.1	3.6	1.6
年齢層別	19歳	245	60.0	41.6	54.7	28.6	26.9	18.8	30.2	8.2	4.1	3.3	2.9
	20～24歳	1,879	57.2	44.0	52.6	32.8	22.8	19.4	23.6	8.4	2.8	3.5	1.3
	25～29歳	3,395	56.5	48.2	49.3	35.5	23.4	17.6	17.1	7.9	2.3	3.3	1.4
	30～34歳	4,130	57.6	55.3	48.1	34.7	25.4	17.7	16.5	9.8	3.2	3.8	1.1
	35～39歳	4,231	58.9	56.8	47.4	35.0	27.7	18.2	15.7	13.1	3.9	3.7	1.2

（５）外出頻度

問17　あなたは普段どのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出頻度は、全体でみると「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて)」が 71.8%で最も高く、次いで「週に３～４日外出する（仕事・学校・遊び含めて)」が 19.7%、「人づきあいや用事のために、週１日程度外出する」が 4.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて)」が最も高く、19 歳で 76.3%、35～39 歳で 75.0%となっています。一方、「人づきあいや用事のために、週１日程度外出する」、「いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「家からほとんど出ない」はいずれの年齢層でも１割未満となっています。

単位：%		回答数（n）	ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	人づきあいや用事のために、週1日程度外出する	いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	家からほとんど出ない	無回答
全体		14,064	71.8	19.7	4.2	1.5	1.1	0.5	1.3
年齢層別	19歳	245	76.3	17.6	2.0	0.8	0.4	0.8	2.0
	20～24歳	1,879	69.6	24.2	2.9	1.3	0.5	0.4	1.0
	25～29歳	3,395	70.9	20.4	4.6	1.7	0.7	0.3	1.3
	30～34歳	4,130	70.9	20.3	4.6	1.5	1.4	0.5	0.8
	35～39歳	4,231	75.0	16.9	4.0	1.4	1.4	0.5	0.8

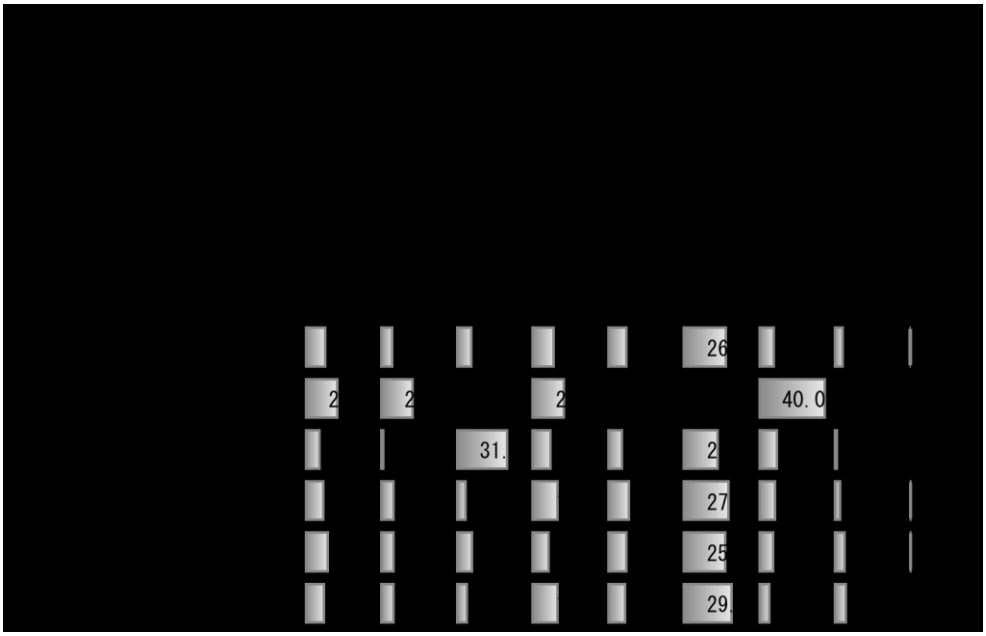
（６）外出状況が現在の状態になった期間

問17で、「４」～「６」※とお答えの方にうかがいます。
問17－１　あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

※４…いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
※５…いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
※６…家からほとんど出ない

外出状況が現在の状態になった期間は、全体でみると「３年～５年未満」が 26.5%と最も高く、次いで「１年～２年未満」が 13.7%、「３か月未満」が 12.8%、「２年～３年未満」が 12.1%となっています。

年齢層別でみると、20～24 歳は「６か月～１年未満」、25 歳以上は「３年～５年未満」が最も高くなっています。



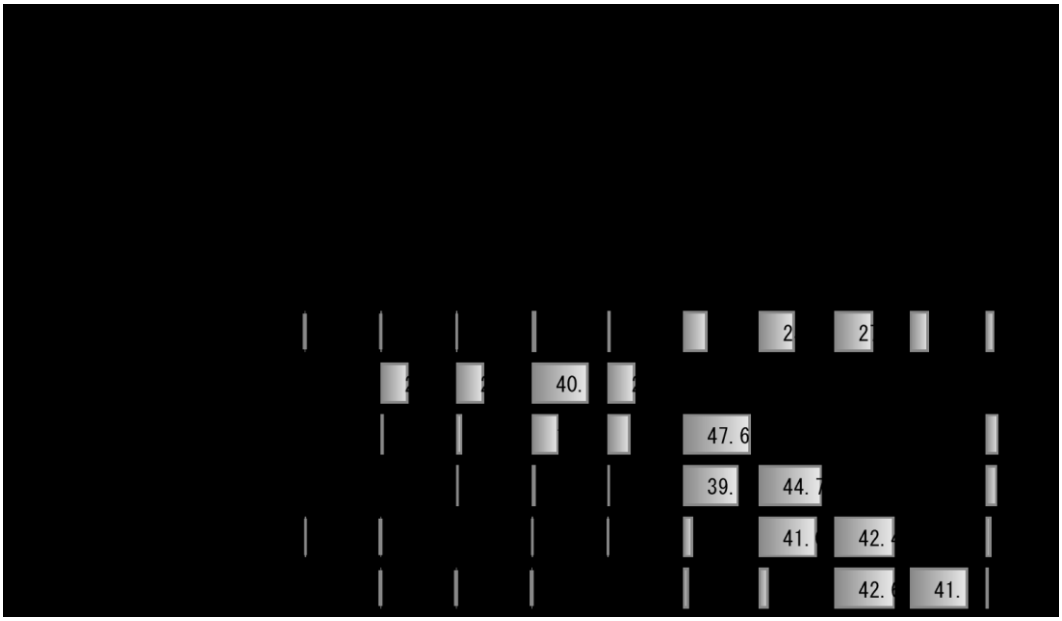
※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（７）外出状況が現在の状態となった年齢

問17で、「４」～「６」※とお答えの方にうかがいます。
問17－２　あなたの外出状況が現在の状態となったのはいつ頃からですか。

外出状況が現在の状態となった年齢は、全体でみると「30～34 歳の頃」が 27.7%と最も高く、次いで「25～29 歳の頃」が 25.6%、「20～24 歳の頃」が 17.2%となっています。

外出状況が現在の状態となった年齢は、現在の年齢層とおおむね同じ傾向にあります。



※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（８）外出状況が現在の状態となったきっかけ

問17で、「４」～「６」※とお答えの方にうかがいます。
問17－３　あなたの外出状況が現在の状態となったきっかけは何ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

外出状況が現在の状態となったきっかけは、全体でみると「仕事や授業がリモートになったため」が 46.7%で最も高く、次いで「外出する必要がなかったため」が 39.5%、「育児をすること（妊娠中を含む）になったため」が 17.4%となっています。

年齢層別でみると、「仕事や授業がリモートになったため」は 30～34 歳で 53.2%と最も高く、「育児をすること（妊娠中を含む）になったため」は 30 歳代で２割台半ばとなっています。

単位：%		回答数（n）	仕事や授業がリモートになったため	外出する必要がなかったため	育児をすること（妊娠中を含む）になったため	病気・障害のため	人間関係がうまくいかなかったため	退職したため	職場になじめなかったため
全体		430	46.7	39.5	17.4	14.7	7.2	6.5	4.4
年齢層別	19歳	5	20.0	80.0	－	－	20.0	－	－
	20～24歳	42	31.0	47.6	－	16.7	4.8	2.4	－
	25～29歳	94	46.8	38.3	5.3	18.1	12.8	9.6	8.5
	30～34歳	139	53.2	41.0	24.5	12.2	7.2	5.0	3.6
	35～39歳	141	45.4	34.8	24.1	14.9	4.3	7.8	4.3

単位：%		回答数（n）	就職活動がうまくいかなかったため	学校になじめなかったため	通信制の学校のため	介護や看護をすることになったため	受験がうまくいかなかったため	その他	無回答
全体		430	3.0	2.6	1.6	1.6	1.2	8.8	2.1
年齢層別	19歳	5	－	－	40.0	－	20.0	－	20.0
	20～24歳	42	4.8	2.4	7.1	2.4	7.1	11.9	4.8
	25～29歳	94	3.2	7.4	1.1	1.1	－	10.6	3.2
	30～34歳	139	2.2	1.4	－	1.4	0.7	6.5	－
	35～39歳	141	3.5	0.7	0.7	2.1	－	9.2	0.7

※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（9）現在の不安や悩みごと

問18　あなたは今、不安や悩みはありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

現在の不安や悩みごとは、全体でみると「将来のこと」が 68.2%と最も高く、次いで「仕事のこと」が 52.3%、「家の経済状況」が 34.5%、「自分の健康や病気のこと」が 26.8%、「子どもの園・学校や将来のこと」が 23.9%となっています。

年齢層別でみると、「将来のこと」は 20 歳代で７割台半ばとなっています。「仕事のこと」は 25 歳以上で５割台となっています。「家の経済状況」、「自分の健康や病気のこと」、「子どもの園・学校や将来のこと」、「家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと」などは年齢層が上がるにつれて高くなり、「子どもの園・学校や将来のこと」は 35～39 歳で 41.9%と最も高くなっています。一方、「進学、就職のこと」は 19 歳で 74.3%、20～24 歳で 49.5%、「勉強のこと」は 19 歳で 53.9%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	将来のこと	仕事のこと	家の経済状況	自分の健康や病気のこと	子どもの園・学校や将来のこと	家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと	家族（パートナーを含む）との関係	好きなことをする時間がない	進学、就職のこと	勉強のこと	外見に関すること	日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない
全体		14,064	68.2	52.3	34.5	26.8	23.9	20.3	16.4	15.8	13.9	12.5	11.6	10.0
年齢層別	19歳	245	68.2	23.7	20.0	18.4	1.2	7.3	11.8	11.0	74.3	53.9	18.4	2.4
	20～24歳	1,879	73.5	42.5	26.2	18.6	1.5	13.1	11.7	12.3	49.5	29.6	16.9	5.6
	25～29歳	3,395	74.3	55.9	34.1	24.5	10.3	16.4	14.2	12.9	12.6	12.1	11.8	7.7
	30～34歳	4,130	69.2	56.2	36.5	27.2	28.8	20.7	17.2	16.3	5.3	8.5	11.1	10.9
	35～39歳	4,231	60.7	52.5	37.7	32.4	41.9	27.2	19.9	19.7	4.1	6.9	9.2	13.4

単位：%		回答数（n）	交際相手との関係	友だちとの関係	先輩・後輩との関係	近所や地域の人との関係	自分の性別に関すること	インターネット上の人間関係	日常的に家族（パートナーを含む）の介護をしなければならない	日常的に兄弟姉妹の面倒を見なければならない	その他	特に不安や悩みはない	わからない	無回答
全体		14,064	9.0	6.4	2.8	2.6	1.1	1.0	0.8	0.3	3.3	4.4	0.3	1.6
年齢層別	19歳	245	6.1	16.3	4.5	3.7	3.3	0.8	0.4	0.8	2.4	2.9	－	1.6
	20～24歳	1,879	13.0	12.4	4.9	1.5	2.2	1.6	0.5	0.6	1.9	4.5	0.7	1.2
	25～29歳	3,395	13.9	6.8	3.2	1.4	1.0	1.2	0.6	0.1	2.6	4.6	0.5	1.6
	30～34歳	4,130	8.0	5.1	2.1	3.1	0.9	0.9	0.9	0.2	3.5	4.2	0.2	1.1
	35～39歳	4,231	4.5	3.9	2.0	3.4	0.7	0.8	1.0	0.2	4.4	4.5	0.2	1.3

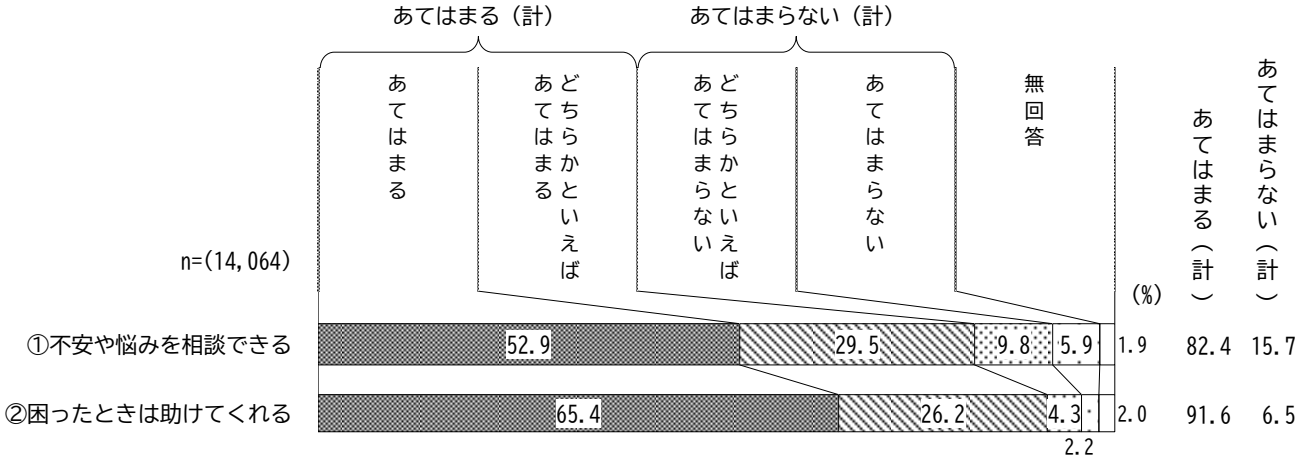
（10）家族や親族、学校や職場の人との関係

問19　家族(パートナーを含む)や親族、学校や職場の人に不安や悩みを相談できますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【家族(パートナーを含む)や親族との関係】

家族（パートナーを含む）や親族との関係は、「不安や悩みを相談できる」は「あてはまる（計)」が 82.4%、「あてはまらない（計)」が 15.7%となっています。

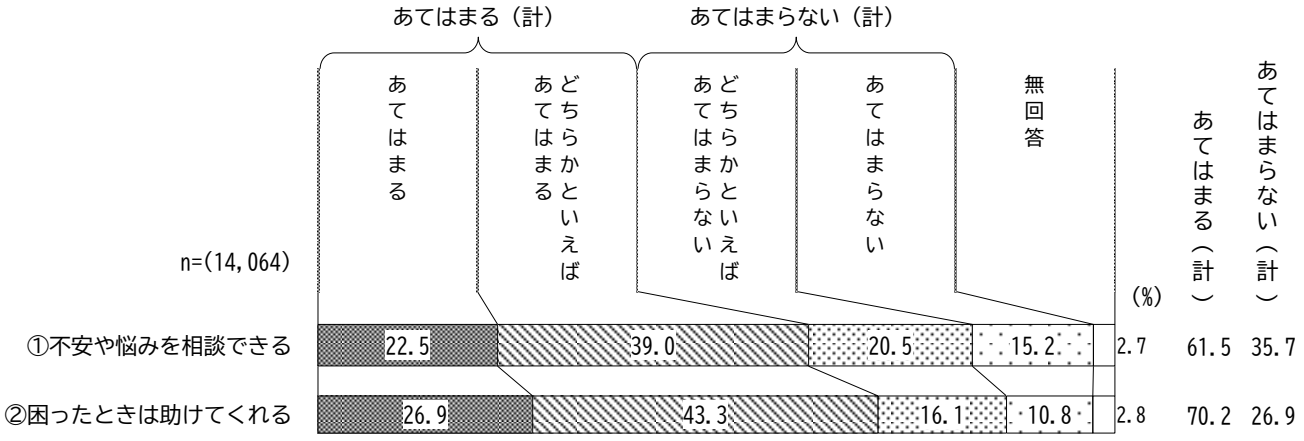
また、「困ったときは助けてくれる」は「あてはまる（計)」が 91.6%、「あてはまらない（計)」が 6.5%となっています。



【学校や職場の人との関係】

学校や職場の人との関係は、「不安や悩みを相談できる」は「あてはまる（計)」が 61.5%、「あてはまらない（計)」が 35.7%となっています。

また、「困ったときは助けてくれる」は「あてはまる（計)」が 70.2%、「あてはまらない（計)」が 26.9%となっています。



（11）相談先に望むこと

問20　あなたが文京区等の行政機関に相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

相談先に望むことは、全体でみると「秘密が守られる」が 66.4%と最も高く、次いで「専門家の人に相談できる」が 60.4%、「匿名で相談できる」が 54.5%、「曜日や時間を気にせず相談できる」が 53.8%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「秘密が守られる」が６割台と最も高く、「専門家の人に相談できる」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。

単位：%		回答数（n）	秘密が守られる	専門家の人に相談できる	匿名で相談できる	曜日や時間を気にせず相談できる	無料で相談できる	SNS※やメールで相談できる	相談できる場所が自宅から近い
全体		14,064	66.4	60.4	54.5	53.8	50.5	33.1	29.5
年齢層別	19歳	245	69.0	43.7	66.9	49.4	63.7	47.3	26.5
	20～24歳	1,879	67.6	49.4	59.3	49.7	58.9	38.4	28.0
	25～29歳	3,395	65.4	56.3	53.1	55.9	52.4	32.6	28.8
	30～34歳	4,130	66.7	64.2	53.6	55.3	48.4	33.6	30.1
	35～39歳	4,231	66.7	66.4	53.8	53.2	46.8	30.4	30.4

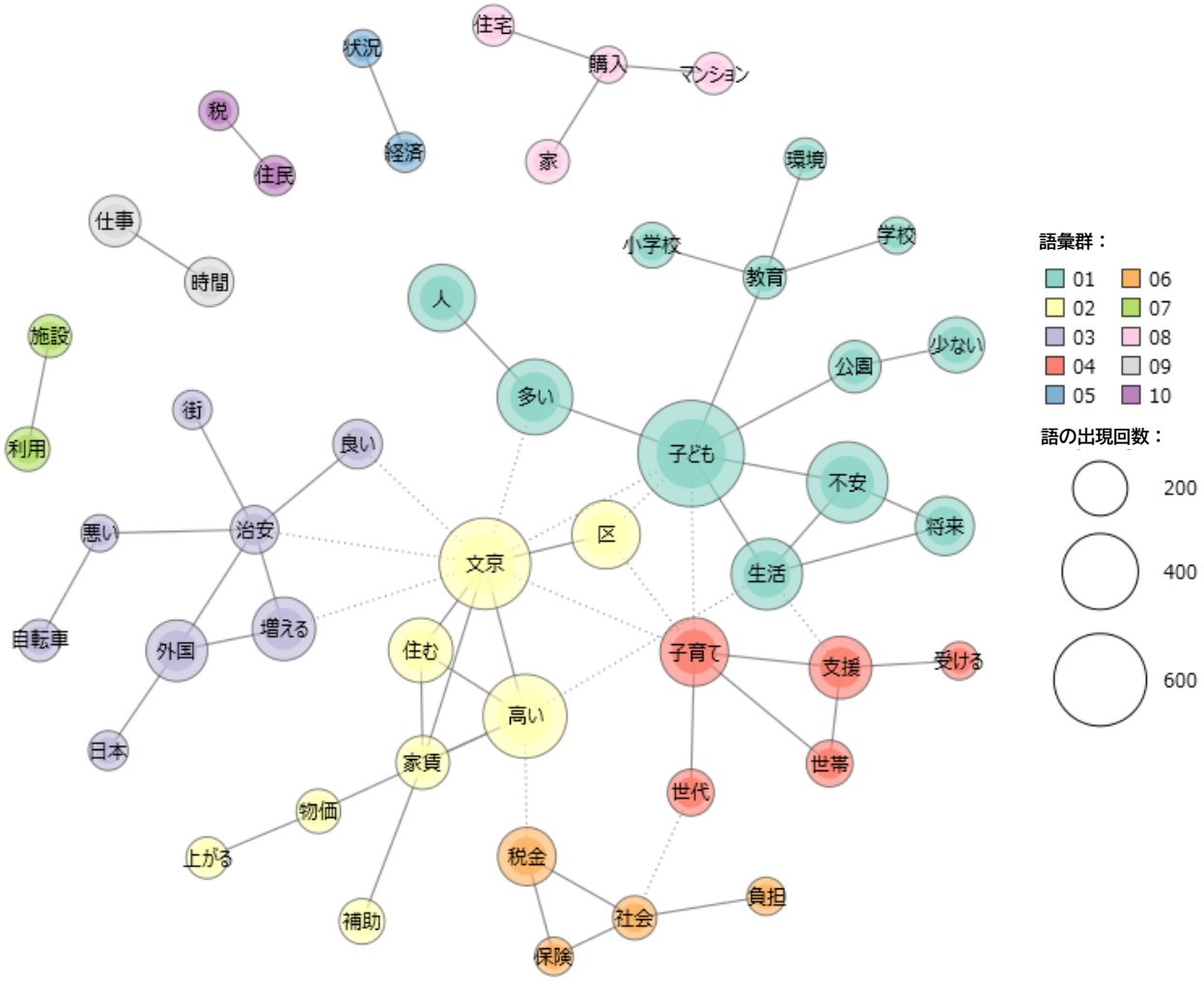
単位：%		回答数（n）	同性の人に相談できる	同年代の人に相談できる	電話で相談できる	相談する相手が自宅に来てくれる	その他	特に望むことはない	無回答
全体		14,064	18.4	16.0	12.8	2.8	2.0	4.9	1.7
年齢層別	19歳	245	33.9	27.8	11.0	2.9	0.8	5.7	1.6
	20～24歳	1,879	24.3	18.8	10.7	1.5	1.6	5.1	1.5
	25～29歳	3,395	20.3	17.1	11.2	2.1	1.3	4.8	1.9
	30～34歳	4,130	17.3	15.8	13.1	2.9	1.9	4.4	1.0
	35～39歳	4,231	14.5	13.6	14.9	3.7	2.6	5.4	1.1

※ＳＮＳ…ＬＩＮＥ、Ｘ、Ｉｎｓｔａｇｒａｍなど

（12）区への意見「普段の生活や状況」「不安や悩みごと」（自由意見）

問21　あなたの「普段の生活や状況」、「不安や悩みごと」について感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「普段の生活や状況」「不安や悩みごと」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



「文京」「区」「住む」「家賃」「高い」などが中心に配置され、頻繁に出現し、かつ他の語とのつながりが多いことから、文京区での住環境の問題（特に家賃の高さや補助制度）が主要な関心事であると考えられます。

また、「子ども」「生活」「将来」「不安」などがつながっていることから、子育てや生活に対する不安・支援への期待が強く表れており、将来への見通しの不透明さも課題となっていると読み取れます。

そのほか、外国人の増加と治安の変化に関する懸念、教育・学校環境に関する関心などが伺えます。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

▼住環境・住宅について

〇治安の良さと利便性の高さに対する住みやすさへの評価
〇日常的に利用できる低価格なスーパーマーケットの不足
〇家賃や不動産価格の高騰に対する不安
〇子育て世帯や現役世帯向けの家賃補助の創設
〇経済的事情による文京区からの転出の検討
〇単身世帯に対する支援施策の充実

▼子育て・将来への不安について

〇子育て支援に関する情報発信の強化
〇土日や夜間にも対応可能な相談窓口の整備
〇不妊治療に対する経済的支援の充実
〇外国人観光客や外国人居住者の増加によるマナーの変化への懸念

▼労働と子育ての両立について

〇子どもの放課後の居場所の確保
〇一時保育や延長保育などの支援体制の拡充
〇女性のキャリア継続を支える、仕事と子育てとの両立支援の強化

▼公共施設について

〇学生が利用しやすい低料金のスポーツ施設の整備
〇乳幼児や小学生向けの安全な遊び場の確保
〇子どもの増加に伴う教育環境への不安
〇静かに学習ができる勉強スペースの整備
〇自然と触れ合える緑豊かな公園の整備

▼地域交流について

〇同世代や同業者と交流できる機会の創出
〇現役世代が参加しやすい区のイベントの開催

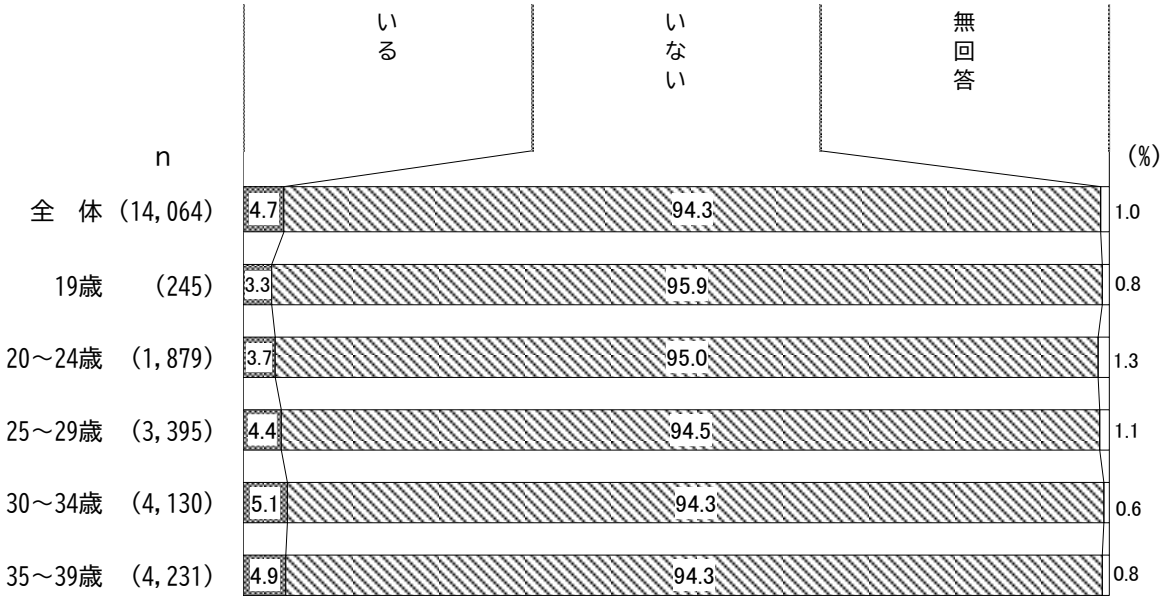
3　家族の世話について

（1）日常的に世話をしている人の有無

問22　家族の中に、あなたが日常的に世話をしている人はいますか。(自分の子どもの育児や世話は除きます。)(○は1つ)

家族の中に日常的に世話をしている人の有無は、全体でみると「いない」が 94.3%、「いる」は 4.7%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「いる」は 1 割未満となっており、「いない」が 9 割台半ばとなっています。

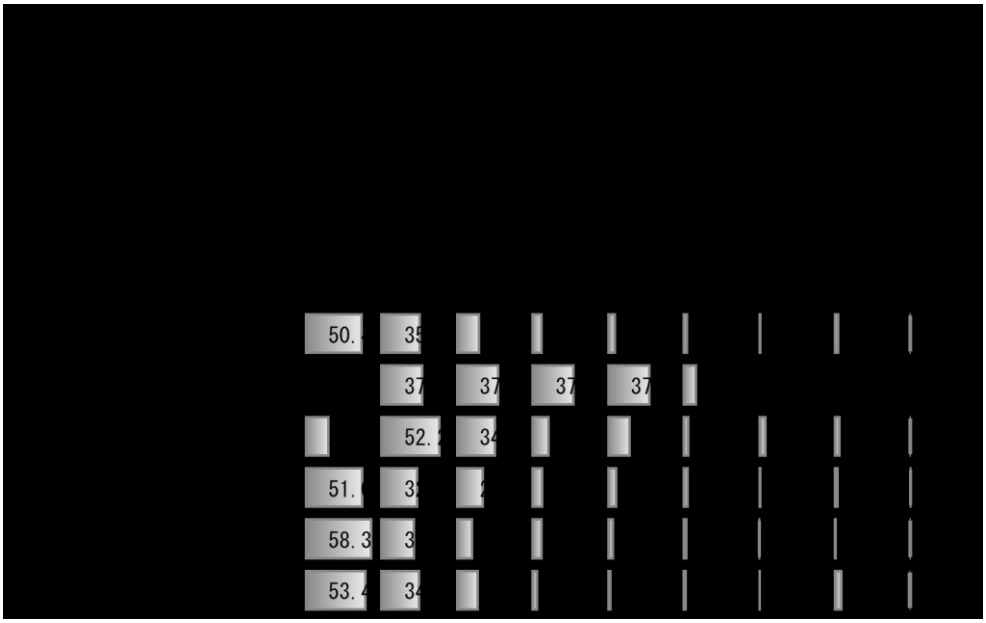


（２）世話の対象者

問22で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。 問22－１　あなたが世話をしている人は誰ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

世話の対象者は、全体でみると「配偶者・パートナー」が 50.4%と最も高く、次いで「母親」が 35.0%、「父親」が 21.2%、「祖母」が 9.5%となっています。

年齢層別で見ると、「配偶者・パートナー」は 25 歳以上で５割台となっています。



※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（3）世話の内容

問22で、「1　いる」とお答えの方にうかがいます。
問22－2　あなたは日常的にどのような世話をしていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

世話の内容は、全体でみると「家の掃除をしている」が 64.4%と最も高く、次いで「家族の食事を作っている」が 58.3%、「家族の洗濯をしている」が 56.9%となっています。

年齢層別でみると、「家の掃除をしている」、「家族の食事を作っている」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。「家族の感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になる）をしている」は、30～34 歳で 50.2%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	家の掃除をしている	家族の食事を作っている	家族の洗濯をしている	家族の感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になる）をしている	高齢の家族の見守りをしている	障害・疾病がある家族の見守りをしている	障害・疾病がある家族の通院に付き添っている
全体		655	64.4	58.3	56.9	40.6	14.7	12.1	9.5
年齢層別	19歳	8	25.0	25.0	37.5	25.0	25.0	12.5	－
	20～24歳	69	52.2	37.7	39.1	27.5	13.0	7.2	7.2
	25～29歳	149	60.4	57.7	50.3	38.9	14.1	12.1	4.7
	30～34歳	211	68.2	61.1	64.9	50.2	11.8	12.8	10.4
	35～39歳	208	68.3	63.5	59.6	38.0	17.8	12.5	12.5

単位：%		回答数（n）	兄弟姉妹の身のまわりの世話をしている	障害・疾病がある家族の薬の管理をしている	日本語が苦手な家族のために、付き添い、通訳をしている	障害や高齢の家族の排せつや入浴の手伝いをしている	その他	無回答
全体		655	6.6	5.0	4.6	2.1	5.8	1.8
年齢層別	19歳	8	37.5	－	－	－	－	－
	20～24歳	69	18.8	5.8	2.9	4.3	4.3	2.9
	25～29歳	149	5.4	6.7	5.4	0.7	4.0	3.4
	30～34歳	211	3.8	4.7	4.7	2.4	4.7	1.9
	35～39歳	208	4.8	3.8	4.3	2.4	8.7	0.5

※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（４）区に求める支援

問22で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。
問22－３　あなたが文京区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

区に求める支援は、全体でみると「金銭的な援助をしてほしい」が 41.7%と最も高く、次いで「将来のことについて相談にのってほしい」が 21.4%、「自分と同じ環境の人と話をしたい」が 14.5%となっています。一方、「必要としている支援はない」が 22.9%と高くなっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「金銭的な援助をしてほしい」が最も高く、25～29 歳で 50.3%となっています。また、「将来のことについて相談にのってほしい」も 25～29 歳で 28.9%となっています。

世帯収入別でみると、2,000 万円未満の世帯で「金銭的な援助をしてほしい」が最も高く、100～300 万円未満が 63.0%、100 万円未満で 57.1%、300～500 万円未満で 52.8%となっています。また、「将来のことについて相談にのってほしい」と「自分と同じ環境の人と話をしたい」では 100 万円未満で最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	金銭的な援助をしてほしい	将来のことについて相談にのってほしい	自分と同じ環境の人と話をしたい	家族から離れて過ごせる場所がほしい	家族の世話を代わりにやってくれるサービスを教えてほしい	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい	家族の世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい	その他	必要としている支援はない	無回答
全体		655	41.7	21.4	14.5	13.7	13.6	10.5	9.6	7.0	5.6	22.9	5.2
年齢層別	19歳	8	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	37.5	-
	20～24歳	69	40.6	20.3	11.6	17.4	5.8	5.8	5.8	7.2	2.9	23.2	4.3
	25～29歳	149	50.3	28.9	12.1	12.1	7.4	12.1	8.7	8.1	2.0	22.8	3.4
	30～34歳	211	41.7	20.4	16.1	14.2	17.5	12.8	10.4	6.2	7.1	20.9	5.7
	35～39歳	208	37.0	15.9	14.9	13.9	17.3	9.1	11.1	7.2	7.2	25.0	6.7
世帯収入別	100万円未満	35	57.1	42.9	37.1	14.3	-	20.0	8.6	20.0	-	5.7	2.9
	100～300万円未満	54	63.0	29.6	13.0	16.7	11.1	14.8	9.3	11.1	3.7	7.4	1.9
	300～500万円未満	72	52.8	20.8	13.9	9.7	18.1	12.5	16.7	6.9	6.9	16.7	2.8
	500～700万円未満	67	37.3	17.9	13.4	16.4	16.4	9.0	10.4	4.5	3.0	26.9	6.0
	700～1,000万円未満	100	43.0	19.0	13.0	11.0	15.0	10.0	9.0	4.0	7.0	23.0	7.0
	1,000～1,500万円未満	120	34.2	17.5	15.0	15.0	11.7	8.3	2.5	5.0	5.0	24.2	10.0
	1,500～2,000万円未満	72	33.3	26.4	11.1	11.1	11.1	11.1	12.5	6.9	8.3	29.2	2.8
	2,000万円以上	69	33.3	11.6	11.6	13.0	17.4	5.8	7.2	5.8	5.8	39.1	-
	わからない	55	36.4	23.6	12.7	18.2	12.7	12.7	14.5	10.9	5.5	23.6	7.3

※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

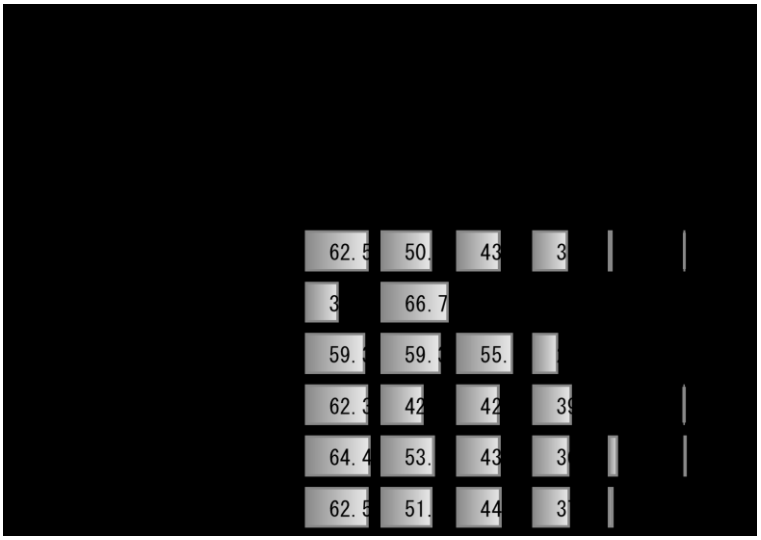
（５）区とつながる場合の手段

問22－３で、「１」～「６」※とお答えの方にうかがいます。
問22－４　どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

※１…自分の今の状況について話を聞いてほしい
※２…自分と同じ環境の人と話をしたい
※３…将来のことについて相談にのってほしい
※４…家族の世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい
※５…家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
※６…家族の世話を代わりにやってくれるサービスを教えてほしい

区とつながる場合の手段は、全体でみると「対面」が 62.5%と最も高く、次いで「ＬＩＮＥ」が 50.2%、「メール」が 43.3%、「電話」が 35.7%となっています。

年齢層別でみると、25 歳以上で「対面」が６割台となっています。また、「ＬＩＮＥ」は 30 歳代で５割台となっています。



※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（6）家族から受けている世話

問23　あなたは、生活を維持するために、自身の親や保護者から日常的にどのような世話を受けていますか。あてはまる答えの番号<u>すべて</u>に○をつけてください。（○はいくつでも）

家族から受けている世話は、全体でみると「世話を受けていない」が 54.6%と最も高く、次いで「金銭的なこと（家賃や生活費の補助、学費の援助など）」が 24.6%、「精神的なこと（悩み相談、話し相手になってもらうなど）」が 22.5%となっています。

年齢層別でみると、「金銭的なこと（家賃や生活費の補助、学費の援助など）」は 19 歳が 89.4%と最も高く、次いで 20～24 歳で 70.5%と最も高くなっています。「生活に関わること（掃除、洗濯、食事の準備など）」は 19 歳が 72.7%と最も高くなっています。

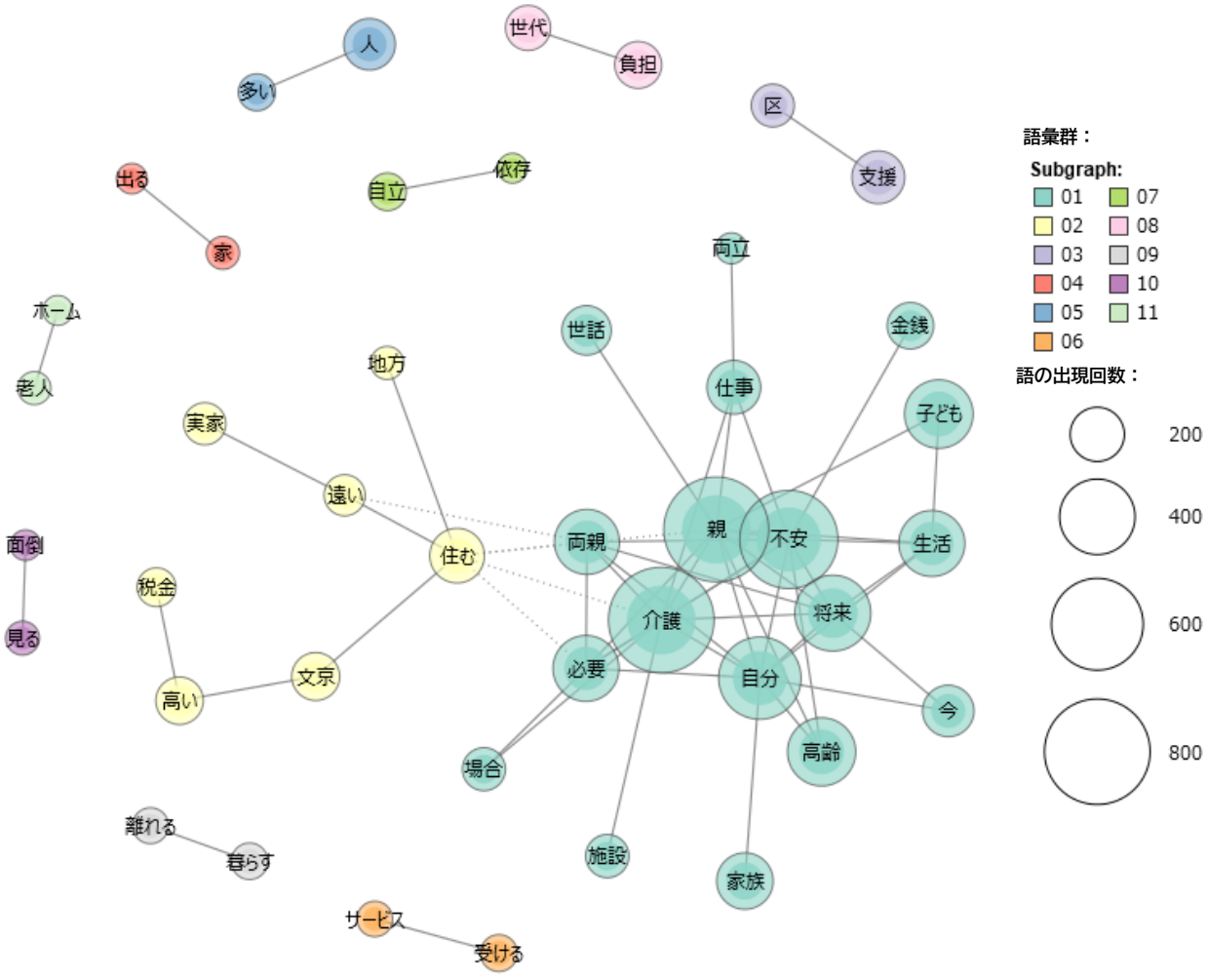
世帯収入別でみると、「金銭的なこと（家賃や生活費の補助、学費の援助など）」は 100 万円未満が 78.8%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	金銭的なこと（家賃や生活費の補助、学費の援助など）	精神的なこと（悩み相談、話し相手になってもらうなど）	生活に関わること（掃除、洗濯、食事の準備など）	健康や体のこと（通院の付き添い、体調不良時の看病など）	その他	世話を受けていない	無回答
全体		14,064	24.6	22.5	19.7	7.6	1.1	54.6	2.1
年齢層別	19歳	245	89.4	51.8	72.7	42.4	－	4.1	1.2
	20～24歳	1,879	70.5	37.7	46.8	21.7	0.7	14.5	1.9
	25～29歳	3,395	23.7	24.3	19.1	6.6	0.5	52.9	1.9
	30～34歳	4,130	13.1	19.2	12.0	4.1	1.1	65.4	1.7
	35～39歳	4,231	12.4	15.9	12.9	3.5	1.7	66.8	1.9
世帯収入別	100万円未満	585	78.8	26.7	13.5	9.1	0.9	10.8	2.7
	100～300万円未満	767	47.6	27.9	17.7	7.7	0.7	35.1	1.8
	300～500万円未満	1,571	22.9	25.4	13.0	6.1	1.0	54.8	1.7
	500～700万円未満	1,791	16.0	20.9	13.4	5.1	0.6	62.8	1.6
	700～1,000万円未満	2,079	15.7	19.9	14.5	5.4	0.9	63.3	1.5
	1,000～1,500万円未満	2,882	13.8	18.1	13.7	4.7	1.4	66.0	1.6
	1,500～2,000万円未満	1,602	14.0	17.2	16.9	5.0	1.7	66.3	1.2
	2,000万円以上	1,312	19.9	21.8	25.6	9.6	1.8	58.5	1.9
	わからない	1,207	59.4	37.8	62.6	23.9	0.5	17.6	2.5

（7）区への意見「家族の世話」「家族から受けている世話」（自由意見）

問24　自分や家族の将来への不安など（例：8050問題（高齢の親（80代）とその親に依存して生活している中高年の子ども（50代）が直面する社会問題））、「家族の世話」や「家族から受けている世話」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「家族の世話」「家族から受けている世話」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



「不安」「親」「介護」「将来」「自分」などが結ばれており、家族の介護が日常の大きな課題となっていることが見て取れます。それらに「高齢」「生活」「必要」なども結びつき、親の加齢とそれに伴う介護負担が将来への不安につながる構図が読み取れます。

また、「仕事」「両立」「金銭」「施設」「遠い」「実家」などが語群として現れており、経済的・物理的制約による負担も大きいことが伺えます。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

〇介護に関する情報提供の充実
〇親の介護・子育て・仕事の三重負担への不安
〇将来的な介護も見据えた住環境や居住地選択への支援
〇遠距離に住む親の介護に関する懸念
〇高齢の親の世話によるキャリア形成への支障
〇少子高齢化に伴う現役世代への負担の集中や社会保障制度への不満

４　仕事について

（１）就学・就業状況

問25　就学･就業状況についてお答えください。(○は1つ)

就学・就業状況は、全体でみると「正社員・正規職員」が 65.5%と最も高く、次いで「学生（予備校生などを含む)」が13.9%、「契約社員など非正規職員」が3.9%となっています。一方、「働いていない（育休中等も含む)」は 4.3%となっています。

年齢層別でみると、「正社員・正規職員」は 25 歳以上で７割台となっています。一方、「学生（予備校生などを含む)」は 19 歳で 95.1%、20～24 歳で 64.3%と最も高くなっています。

性別でみると、「正社員・正規職員」は男性が70.3%、女性が62.6%と最も高くなっています。

最終学歴又は在学学校種別でみると、「正社員・正規職員」は５年制の高等専門学校（高専）で79.1%と最も高く、次いで、大学・大学院が 68.4%、短期大学が 58.3%となっています。

単位：%		回答数（n）	正社員・正規職員	学生（予備校生などを含む）	契約社員など非正規職員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	自営業	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）	働いていない（育休中等も含む）	その他	無回答
全体		14,064	65.5	13.9	3.9	3.3	3.0	2.3	2.3	4.3	0.7	1.0
年齢層別	19歳	245	－	95.1	－	2.4	－	0.4	－	0.8	0.4	0.8
	20～24歳	1,879	27.7	64.3	1.1	3.0	0.2	0.5	0.6	1.2	0.5	0.9
	25～29歳	3,395	74.1	10.0	4.2	2.6	1.0	1.3	1.8	3.4	0.6	1.0
	30～34歳	4,130	75.0	2.5	4.2	3.1	2.8	2.2	2.6	6.2	0.8	0.7
	35～39歳	4,231	70.6	1.0	4.7	4.2	6.2	4.2	3.2	4.6	0.7	0.6
性別	男性	5,698	70.3	16.5	1.5	2.8	1.8	0.1	2.6	2.4	0.8	1.3
	女性	8,022	62.6	11.6	6.2	4.5	4.3	5.2	2.1	2.2	0.6	0.6
	どちらとも言えない	66	42.4	30.3	3.0	1.5	6.1	－	3.0	10.6	1.5	1.5
	わからない	13	30.8	23.1	15.4	15.4	－	－	－	15.4	－	－
	答えたくない	166	54.8	19.9	4.8	6.0	4.8	1.2	2.4	1.8	0.6	3.6
最終学歴又は在学学校種別	中学校	30	16.7	6.7	16.7	13.3	23.3	－	13.3	6.7	－	3.3
	高等学校（全日制）	385	34.3	27.3	6.5	7.5	10.6	4.7	3.4	3.1	1.6	1.0
	高等学校（定時制・通信制・サポート校）	95	18.9	21.1	10.5	11.6	22.1	6.3	4.2	2.1	3.2	－
	５年制の高等専門学校（高専）	43	79.1	2.3	2.3	2.3	2.3	4.7	7.0	－	－	－
	専修学校・専門学校	731	49.2	7.8	5.7	7.3	12.6	5.9	4.7	5.5	0.3	1.1
	短期大学	206	58.3	2.4	5.8	12.1	9.2	6.3	2.4	1.9	1.0	0.5
	大学・大学院	12,389	68.4	13.8	4.0	3.4	2.2	2.7	2.1	2.1	0.6	0.9
	その他	76	13.2	50.0	7.9	1.3	10.5	3.9	1.3	－	10.5	1.3

※各性別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

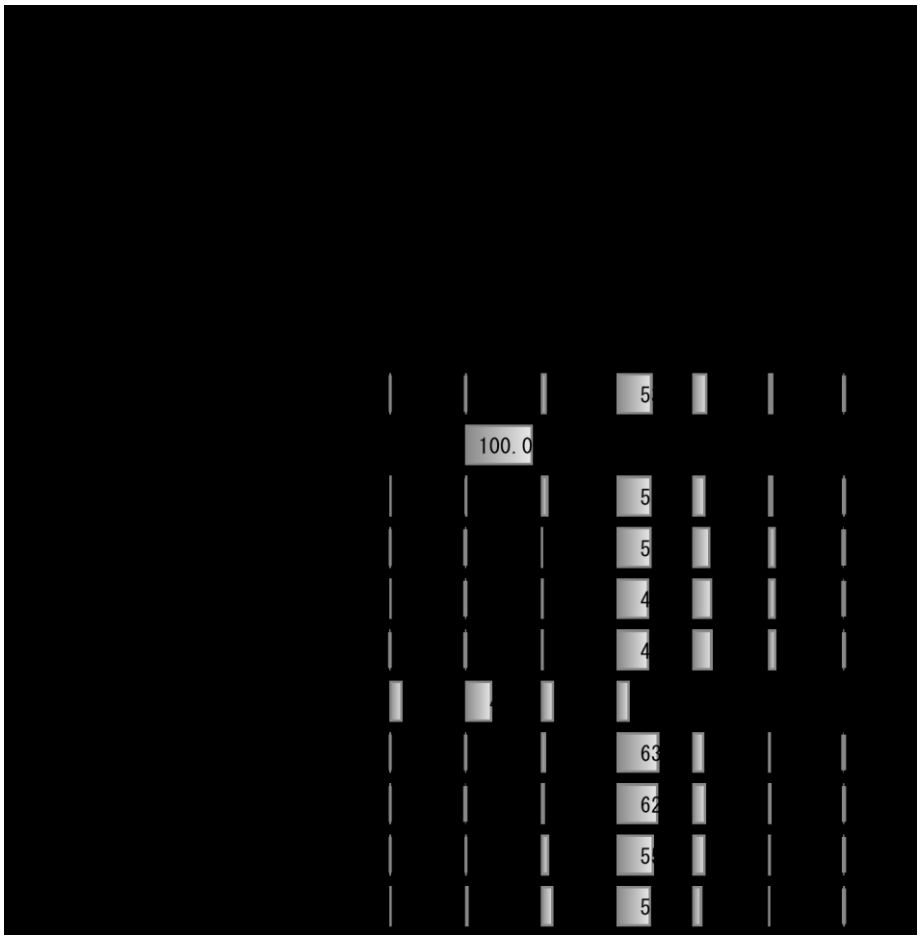
（２）労働時間

問25で、「２」～「６」※とお答えの方にうかがいます。
問25－１　残業も含めた１日の平均労働時間についてお答えください。

※２…正社員・正規職員
※３…契約社員など非正規職員
※４…パート・アルバイト
※５…自営業
※６…自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）

残業も含めた 1 日の平均労働時間は、全体でみると「８時間以上 10 時間未満」が 53.5％と最も高く、次いで「10 時間以上 12 時間未満」が 22.6％、「６時間以上８時間未満」が 9.2％となっています。

性・年齢層別でみると、いずれの性・年齢層でも「８時間以上 10 時間未満」は最も高く、20 歳代女性で６割台と高くなっています。また、男性で「10 時間以上 12 時間未満」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。



※各性・年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（３）働いていない理由

問25で、「７」「８」※とお答えの方にうかがいます。
問25－２　現在、働いていない理由についてお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

※７…専業主婦・主夫
※８…働いていない（育休中等も含む）

働いていない理由は、全体でみると「育児をするため」が 68.9%と最も高く、次いで「家庭内での家事などを専業としているため」が 16.6%、「病気、けが、障害があるため」と「心のケアが必要な状況であるため」がともに 9.7%となっています。

年齢層別でみると、25 歳以上で「育児をするため」が最も高く、35～39 歳で 79.2%となっています。また、「心のケアが必要な状況であるため」も 25～29 歳で 21.5%とやや高くなっています。

単位：%		回答数（n）	育児をするため	家庭内での家事などを専業としているため	病気、けが、障害があるため	心のケアが必要な状況であるため	働く意欲がわかないため	どんな仕事につけばいいのかわからないため	知識・能力に自信がないため	就職活動中のため	経済的に余裕があるため	人間関係に不安があるため
全体		1,024	68.9	16.6	9.7	9.7	8.8	8.4	8.2	7.4	6.9	6.3
年齢層別	19歳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	16.0	16.0	20.0	24.0	32.0	4.0	20.0
	25～29歳	149	40.3	9.4	18.8	21.5	15.4	13.4	12.8	14.1	5.4	12.1
	30～34歳	375	73.3	13.9	8.5	8.3	6.7	6.1	5.9	5.1	4.5	4.0
	35～39歳	457	79.2	21.4	6.8	7.0	8.1	8.1	7.9	5.5	9.6	5.7

単位：%		回答数（n）	労働条件・環境に関する不安があるため	やりたいことを目指して勉強中・修行中のため	資格試験などの準備のため	希望する職種に求人がないため	独立・開業に向けた準備のため	介護をするため	ボランティアや社会貢献活動に従事しているため	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,024	5.5	4.7	3.7	1.7	1.4	1.0	0.3	5.8	0.0	2.6
年齢層別	19歳	2	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	50.0
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	－	－	4.0	－	8.0	－	8.0
	25～29歳	149	6.0	6.7	8.1	2.0	3.4	1.3	－	3.4	－	2.7
	30～34歳	375	4.5	2.7	2.4	1.1	0.5	0.5	0.5	6.4	－	2.9
	35～39歳	457	5.7	5.5	2.2	2.2	1.5	1.1	0.2	5.9	－	1.8

※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

性別でみると、「育児をするため」は、女性で75.5%、「働く意欲がわかないため」は男性で31.2%となっています。

単位：%		回答数（n）	育児をするため	家庭内での家事などを専業としているため	病気、けが、障害があるため	心のケアが必要な状況であるため	働く意欲がわかないため	どんな仕事につけばいいのかわからないため	知識・能力に自信がないため	就職活動中のため	経済的に余裕があるため	人間関係に不安があるため
全体		1,024	68.9	16.6	9.7	9.7	8.8	8.4	8.2	7.4	6.9	6.3
性別	男性	93	9.7	3.2	28.0	28.0	31.2	21.5	19.4	23.7	7.5	14.0
	女性	912	75.5	18.2	7.5	7.8	6.7	6.9	6.9	5.8	6.9	5.4
	どちらとも言えない	2	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－
	わからない	2	－	50.0	50.0	50.0	－	－	50.0	－	－	50.0
	答えたくない	10	70.0	－	10.0	10.0	－	20.0	10.0	－	－	10.0

単位：%		回答数（n）	労働条件・環境に関する不安があるため	やりたいことを目指して勉強中・修行中のため	資格試験などの準備のため	希望する職種に求人がないため	独立・開業に向けた準備のため	介護をするため	ボランティアや社会貢献活動に従事しているため	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,024	5.5	4.7	3.7	1.7	1.4	1.0	0.3	5.8	－	2.6
性別	男性	93	11.8	15.1	11.8	4.3	4.3	1.1	－	4.3	－	3.2
	女性	912	4.6	3.6	3.0	1.3	1.1	0.9	0.3	5.9	－	2.5
	どちらとも言えない	2	50.0	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－
	わからない	2	50.0	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－
	答えたくない	10	－	10.0	－	－	－	－	－	10.0	－	－

※各性別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（４）仕事を選ぶ上で重視すること

問26　あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

仕事を選ぶ上で重視することは、全体でみると「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が72.8%と最も高く、次いで「仕事にやりがいを感じられること」が66.1%、「給料が高いこと」が63.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は７割台と最も高くなっています。また、「仕事にやりがいを感じられること」は 19 歳で 73.1%と最も高くなっています。「福利厚生が充実していること」は 19 歳で 58.4%と最も高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。「働き方（在宅勤務等）が選べること」は 30 歳代で４割台となっています。

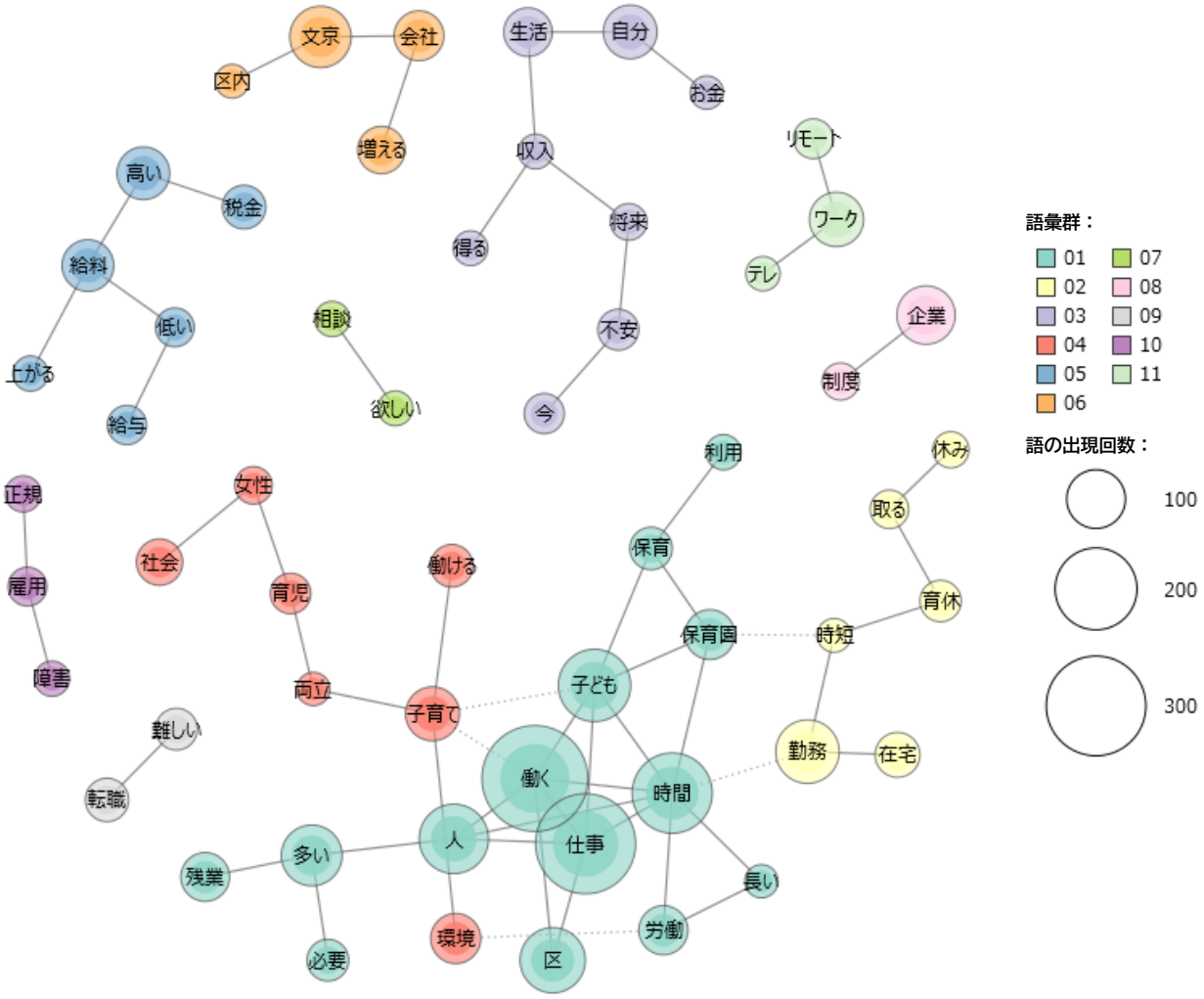
単位：%		回答数（n）	職場の雰囲気や人間関係が良いこと	仕事にやりがいを感じられること	給料が高いこと	休みを取りやすいこと	専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること	実力を適正に評価してくれること	残業や休日出勤が少ないこと	通勤の便など、地理的条件が良いこと
全体		14,064	72.8	66.1	63.1	56.2	50.1	44.4	44.1	41.9
年齢層別	19歳	245	76.3	73.1	66.5	51.4	47.3	44.5	46.9	43.3
	20～24歳	1,879	72.6	66.5	65.0	50.4	49.5	40.3	43.7	41.4
	25～29歳	3,395	73.1	64.9	64.5	54.1	51.6	44.3	41.7	38.0
	30～34歳	4,130	73.2	65.3	64.5	58.3	50.8	45.0	44.8	41.7
	35～39歳	4,231	72.8	67.8	60.3	59.1	49.1	45.9	45.6	45.6

単位：%		回答数（n）	福利厚生が充実していること	働き方（在宅勤務等）が選べること	正社員・正規職員で働くこと	長い年数働き続けられること	その他	特にない	無回答
全体		14,064	41.5	40.6	38.6	29.2	1.1	0.5	1.4
年齢層別	19歳	245	58.4	30.2	35.9	25.7	1.2	1.2	1.6
	20～24歳	1,879	48.2	29.3	35.7	24.7	0.9	0.4	1.6
	25～29歳	3,395	43.8	38.1	40.9	26.5	0.9	0.3	1.1
	30～34歳	4,130	40.4	42.9	38.5	29.6	1.1	0.3	1.1
	35～39歳	4,231	37.1	46.0	38.8	33.4	1.3	0.7	1.0

（5）区への意見「仕事」「働き方」（自由意見）

問27　「仕事」や「働き方」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「仕事」「働き方」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



「子育て」「両立」「育児」「子ども」「保育園」などの語が「仕事」「働く」を介して結びついており、仕事と育児をどう両立させるかに強い関心があることが読み取れます。「在宅」「時短」「育休」「テレワーク」などの語もあり、柔軟な働き方へのニーズや制度的支援への期待が見られます。

「給与」「低い」「税金」「高い」といった語のつながりや、「お金」「生活」「収入」「将来」「不安」「今」といった語の共起関係からは、区民が日常的に感じている経済的な負担感や、将来への不安が表れていることが伺えます。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

▼働き方の多様化について

〇スキルアップや資格取得に対する支援
〇柔軟な働き方（テレワーク、フレックス制）の推進
〇オフピーク通勤の推進
〇区民が利用できるコワーキングスペースの整備
〇共働き世帯の子育てと仕事の両立支援

▼女性の社会進出について

〇性別に関係なく働ける職場環境の整備
〇女性のキャリア形成における障壁の撤廃
〇性別による差別やハラスメントがない環境の整備

▼生活の不安と将来について

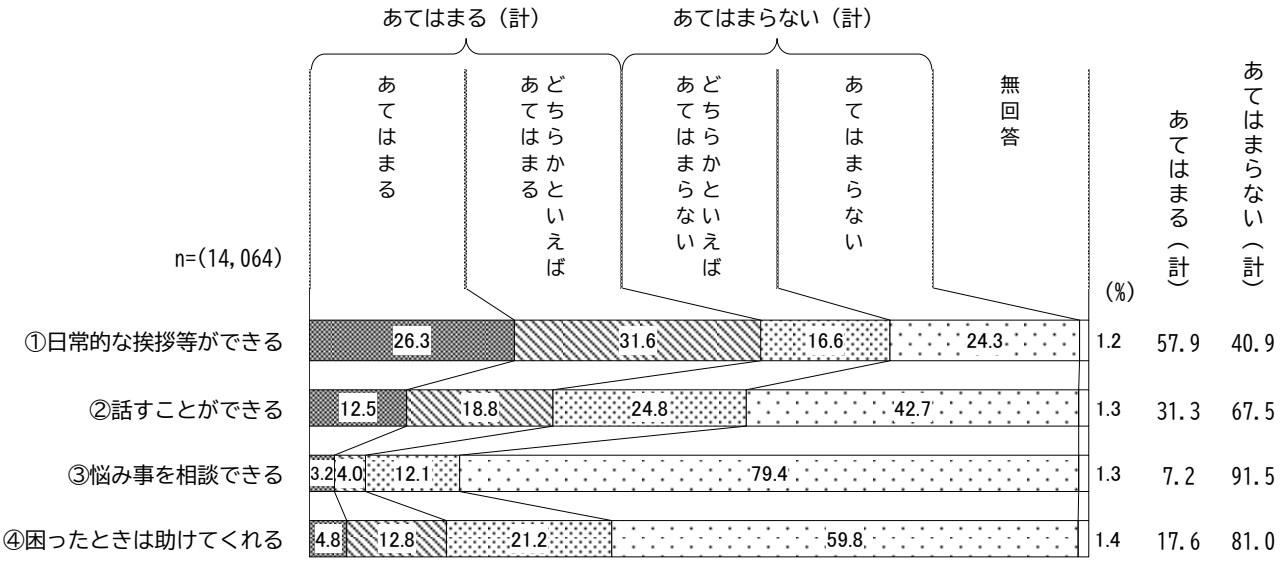
〇定年退職後の生活資金の見通しへの不安
〇60 歳代以降の働き方への不安
〇収入増加に伴う税負担への不満

5　社会とのつながりや文京区に関することについて

（１）地域の人との関わり状況

問28　地域の人(家族や親族以外の近所の人)と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

地域の人との関わり状況は、「あてはまる（計)」では「日常的な挨拶等ができる」が 57.9%と最も高く、次いで「話すことができる」が 31.3%となっています。一方、「あてはまらない（計)」では、「悩みごとを相談できる」と感じていない人が 91.5%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」と感じていない人が 81.0%となっており、いずれも否定的な傾向がうかがえました。



（２）社会参加活動の種類

問29　あなたは、現在、次のような社会参加活動をしていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

社会参加活動の種類は、全体でみると「特に、社会参加活動はしていない」が 68.0%と最も高く、次いで「子どもに関する活動」が 12.7%、「町会・自治会などが行う、地域のお祭りやイベントに関する活動」が 11.4%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「特に、社会参加活動はしていない」が最も高く、25～29 歳で 77.9%となっています。「子どもに関する活動」は 35～39 歳で 25.8%と最も高くなっています。

地域への愛着別でみると、「特に、社会参加活動はしていない」は愛着を感じていない層の方が高く、約８割となっています。

単位：%		回答数（n）	子どもに関する活動	町会・自治会などが行う、地域のお祭りやイベントに関する活動	文化や芸術（音楽、美術、料理など）を通じた交流活動	スポーツを通じた交流活動	オンラインでの交流（オンラインゲーム、オンラインイベント、オンラインセミナーなど）	町会・自治会などが行う、地域の清掃、防犯、防災などに関する活動	国際交流イベントなど外国人を支援する活動	高齢者や障害者に関する活動	その他	特に、社会参加活動はしていない	無回答
全体		14,064	12.7	11.4	5.7	4.9	3.1	2.6	1.5	0.6	1.0	68.0	3.4
年齢層別	19歳	245	6.1	16.7	7.8	3.7	4.1	4.5	2.9	-	1.2	64.1	2.9
	20～24歳	1,879	4.7	9.6	8.1	5.2	4.6	2.8	2.4	1.3	1.2	69.8	4.1
	25～29歳	3,395	2.8	5.7	5.9	4.9	3.4	1.6	1.9	0.5	0.9	77.9	3.4
	30～34歳	4,130	11.8	9.6	4.7	4.4	2.6	1.9	1.2	0.5	1.0	71.5	2.8
	35～39歳	4,231	25.8	18.4	5.3	5.4	2.5	4.0	1.1	0.6	1.1	56.6	3.1
地域への愛着別	感じている	11,752	13.9	12.7	6.2	5.2	3.1	2.9	1.6	0.7	1.0	67.0	2.5
	感じていない	2,143	7.3	5.0	3.3	3.6	2.7	1.2	1.2	0.6	1.0	77.9	2.8

（３）社会参加活動に不参加の理由

問29で、「10　特に、社会参加活動はしていない」とお答えの方にうかがいます。
問29－１　参加していない理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

社会参加活動に不参加の理由は、全体でみると「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」が 55.9％と最も高く、次いで「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」が 48.9％、「参加方法がわからないから」が 35.1％、「関心がないから」が 32.1％となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」は５割台と最も高くなっています。また、「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」も 25～29 歳で 52.0％と最も高くなっています。「一緒に参加する知人・友人がいないから」は 19 歳で 38.2％と最も高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

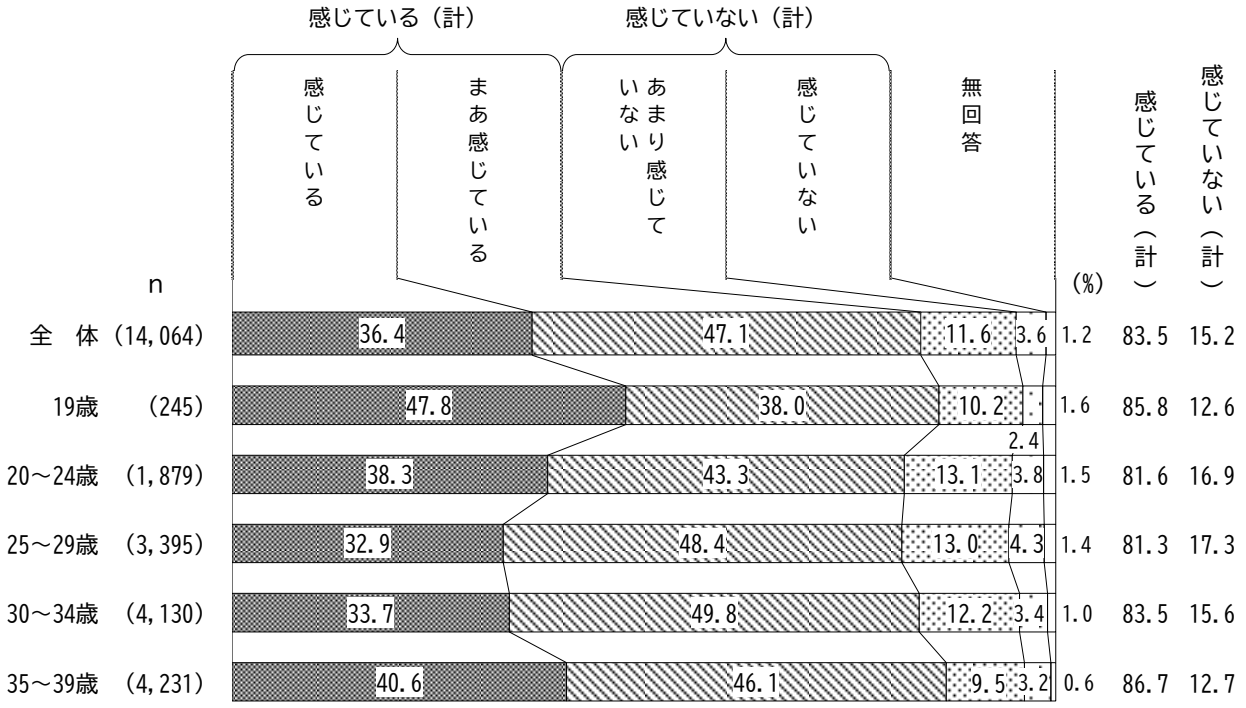
単位：％		回答数（ｎ）	日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから	地域でどのような活動が行われているのか知らないから	参加方法がわからないから	関心がないから	一緒に参加する知人・友人がいないから	活動の時間や日程が合わないから	必要性を感じないから	人付き合いや人間関係が苦手だから	経済的余裕がないから	地域の活動が盛んではないから	その他	無回答
全体		9,570	55.9	48.9	35.1	32.1	27.6	23.6	21.5	21.1	10.5	5.9	2.6	0.3
年齢層別	19歳	157	54.8	40.8	22.9	31.2	38.2	28.0	17.2	19.7	6.4	6.4	4.5	0.6
	20～24歳	1,311	55.3	49.7	33.5	36.6	34.5	23.3	18.5	18.9	10.8	8.4	2.1	0.2
	25～29歳	2,646	54.4	52.0	36.9	33.3	28.5	22.0	21.9	18.3	13.2	6.3	2.3	0.3
	30～34歳	2,951	55.0	49.5	35.0	32.6	26.0	23.0	23.1	22.2	9.9	5.2	2.7	0.4
	35～39歳	2,394	59.5	45.2	35.2	27.7	24.1	25.9	20.9	23.8	8.2	5.0	3.0	0.3

（４）地域への愛着の有無

問30　文京区や住んでいる地域への愛着を感じていますか。（○は１つ）

地域への愛着の有無は、全体でみると「感じている（計）」が 83.5%、「感じていない（計）」が 15.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「感じている（計）」は８割台となっており、「感じていない（計）」は１割台となっています。



（５）地域に愛着を感じるところ

問30で、「１　感じている」「２　まあ感じている」とお答えの方にうかがいます。
問30－１　どんなところに愛着を感じていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

地域に愛着を感じるところは、全体でみると「治安がよく、安全で安心して生活できるところ」が 85.7%と最も高く、次いで「交通の便が良く、移動が快適で便利なところ」が 67.2%、「住んでいる人のマナーが良く、安心して暮らせる環境が整っているところ」が 60.0%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「治安がよく、安全で安心して生活できるところ」が８割台半ばとなっています。「生まれ育ったまちであり、思い出や愛着が深いところ」は 19 歳で 44.8%となっています。

単位：%		回答数（n）	治安がよく、安全で安心して生活できるところ	交通の便が良く、移動が快適で便利なところ	住んでいる人のマナーが良く、安心して暮らせる環境が整っているところ	街がきれいなところ	公園や庭園が多く、自然を身近に感じられるところ	にぎやかな場所と閑静な住宅街が共存し、暮らしやすさがあるところ	教育機関が充実しており、学びの環境が整っているところ	気に入ったお店や商店街があり、日常的な楽しみがあるところ	歴史的建造物や史跡・旧跡が多く、地域の歴史を感じられるところ
全体		11,752	85.7	67.2	60.0	54.9	28.9	27.2	26.9	25.4	20.2
年齢層別	19歳	210	85.2	64.3	61.9	61.0	27.6	31.4	34.3	20.0	23.3
	20～24歳	1,532	84.5	66.9	54.5	58.6	24.1	25.4	28.1	23.2	20.1
	25～29歳	2,759	85.9	68.2	58.0	58.0	25.7	27.0	20.5	27.9	19.7
	30～34歳	3,446	85.9	66.8	60.8	54.6	29.5	27.4	24.5	24.8	19.5
	35～39歳	3,668	86.3	67.4	63.3	51.1	33.1	27.8	33.2	25.4	21.3

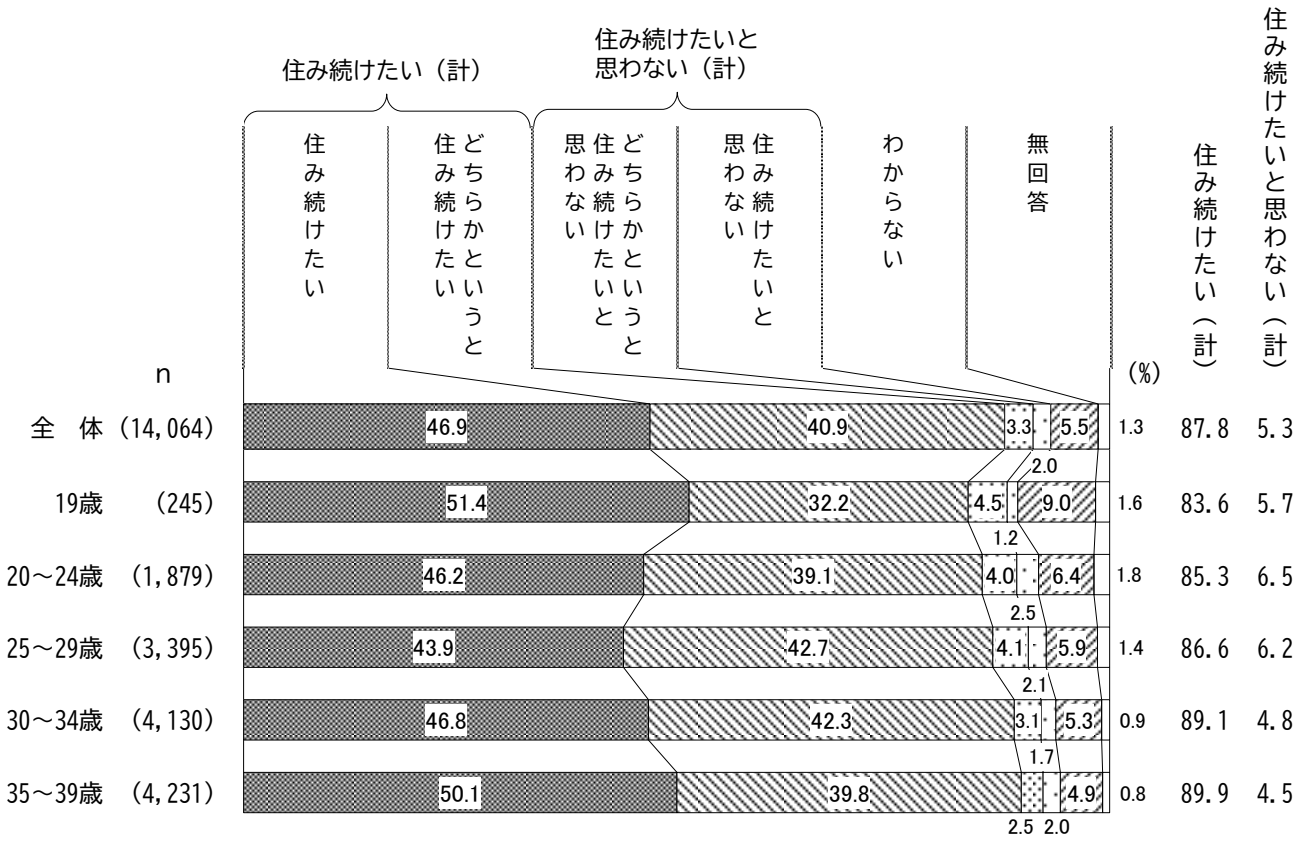
単位：%		回答数（n）	住んでいる人がやさしく、親切なところ	子ども・子育て支援が充実しているところ	生まれ育ったまちであり、思い出や愛着が深いところ	美術館・博物館などの文化施設が充実し、知識や芸術を楽しめるところ	地域のお祭りやイベントがあるところ	文豪が暮らしていた歴史や文化に触れられるところ	地域の人々が協力し合い、コミュニティの一体感を感じられるところ	その他	無回答
全体		11,752	20.1	19.4	14.3	13.8	12.5	12.0	6.9	1.5	0.3
年齢層別	19歳	210	31.9	13.3	44.8	11.9	14.8	16.2	10.5	2.4	-
	20～24歳	1,532	19.0	8.2	29.8	14.2	9.9	13.3	6.2	1.5	0.3
	25～29歳	2,759	15.8	10.0	14.2	13.9	8.4	11.6	4.6	1.3	0.3
	30～34歳	3,446	18.9	20.6	9.9	13.2	11.7	11.1	6.2	1.5	0.2
	35～39歳	3,668	24.6	30.5	10.3	14.3	17.3	12.4	9.3	1.7	0.2

（６）永住希望の有無

問31　これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

永住希望の有無は、全体でみると「住み続けたい（計)」が 87.8%、「住み続けたいと思わない（計)」が5.3%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「住み続けたい（計)」は８割台、「住み続けたいと思わない（計)」は１割未満となっています。また、「住み続けたい」は19歳と35～39歳で５割台と高くなっています。



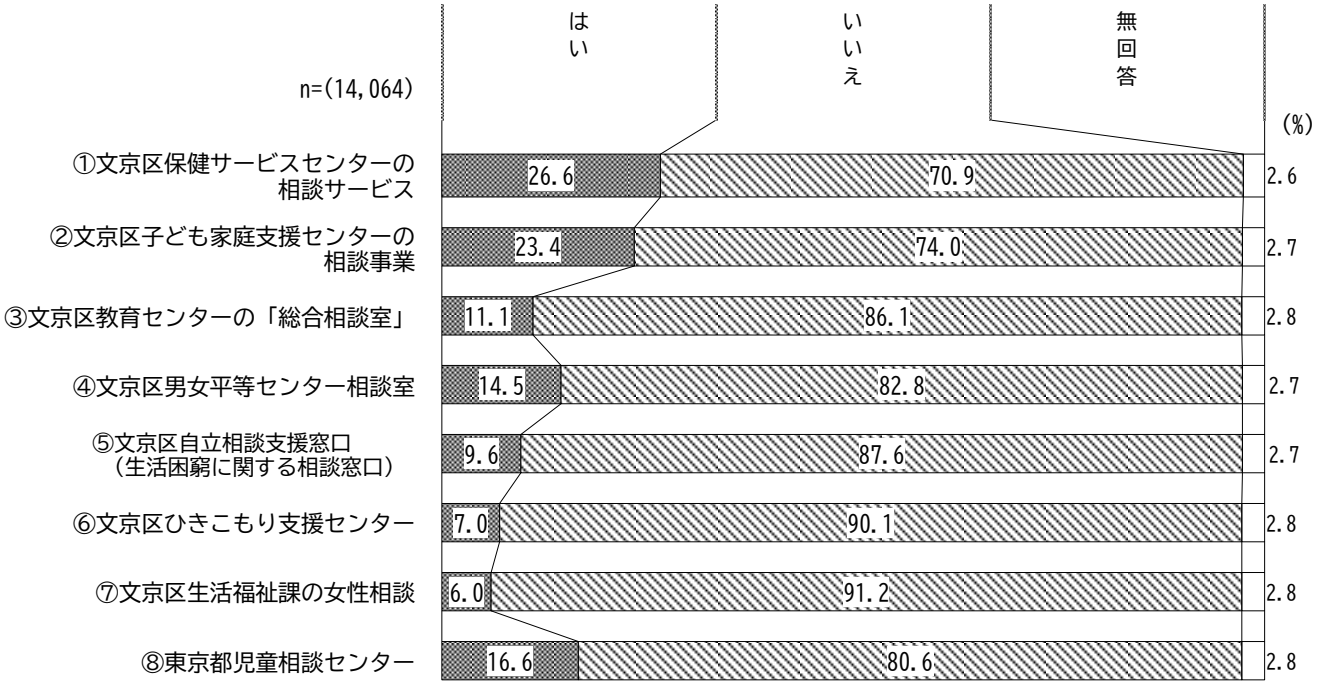
（７）区相談窓口等の認知度と利用状況等

問32　困ったときの相談窓口で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

①～⑧の事業ごとに、(1)知っている、(2)利用したことがある、(3)今後利用したいのそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

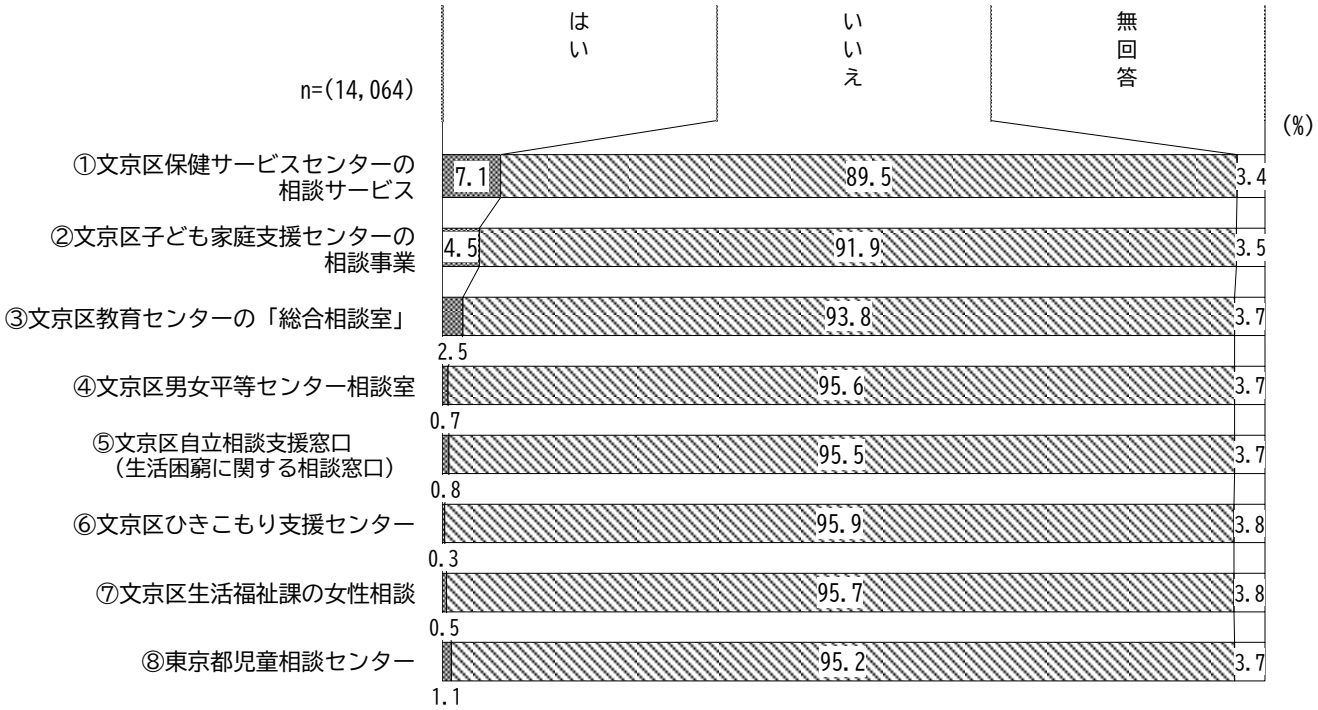
【(1)知っている】

区相談窓口等で「知っている（はい)」は、「文京区保健サービスセンターの相談サービス」が26.6%と最も高く、次いで「文京区子ども家庭支援センターの相談事業」が23.4%、「東京都児童相談センター」が16.6%、「文京区男女平等センター相談室」が14.5%となっています。また、いずれの区相談窓口等でも「知らない（いいえ)」の割合が高くなっています。



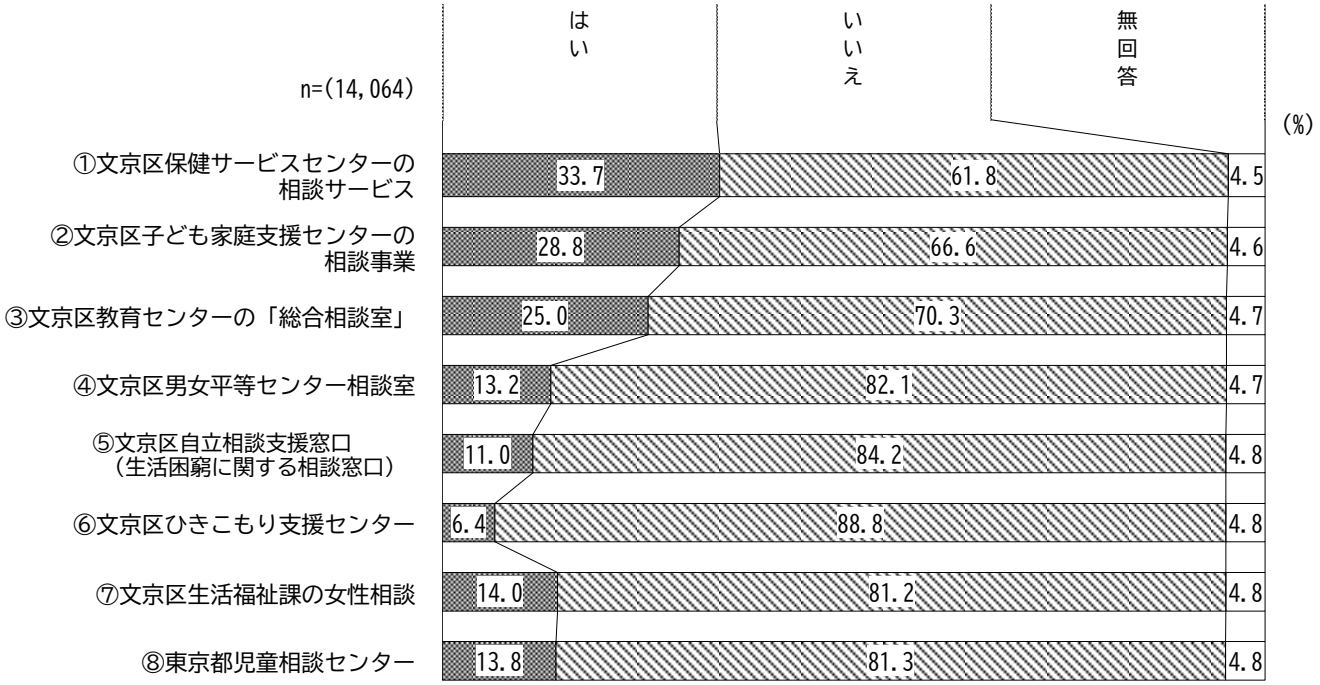
【(2)利用したことがある】

区相談窓口等で「利用したことがある（はい)」は、「文京区保健サービスセンターの相談サービス」が7.1%と最も高く、次いで「文京区子ども家庭支援センターの相談事業」が4.5%、「文京区教育センターの「総合相談室」」が2.5%となっています。また、いずれの区相談窓口でも「利用したことがない（いいえ)」の割合が高くなっています。



【(3)今後利用したい】

区相談窓口等で「今後利用したい（はい)」は、「文京区保健サービスセンターの相談サービス」が33.7%と最も高く、次いで「文京区子ども家庭支援センターの相談事業」が28.8%、「文京区教育センターの「総合相談室」」が25.0%となっています。

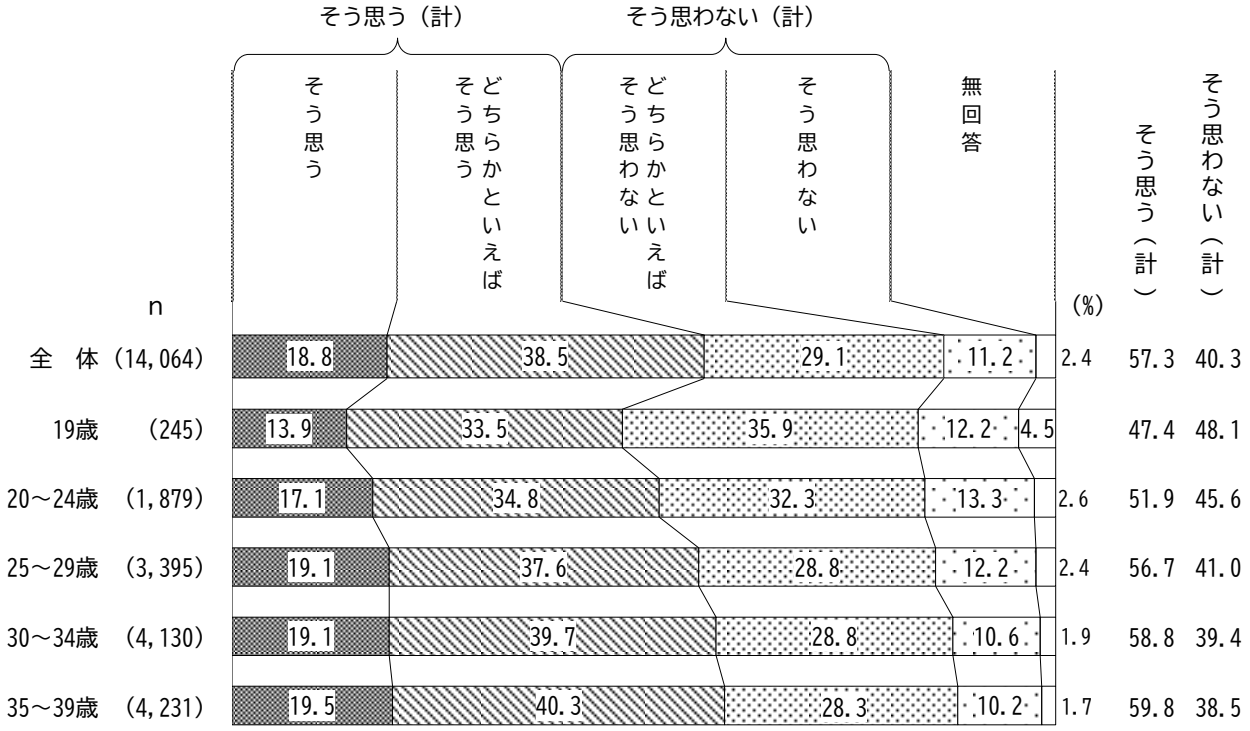


（８）区の施策等への意見表明希望の有無

問33　文京区の政策や施策について、自分の考えを伝えたいと思いますか。（○は１つ）

区の施策等への意見表明希望の有無は、全体でみると「そう思う（計）」は 57.3%、「そう思わない（計）」は 40.3%となっています。

年齢層別でみると、「そう思う（計）」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。

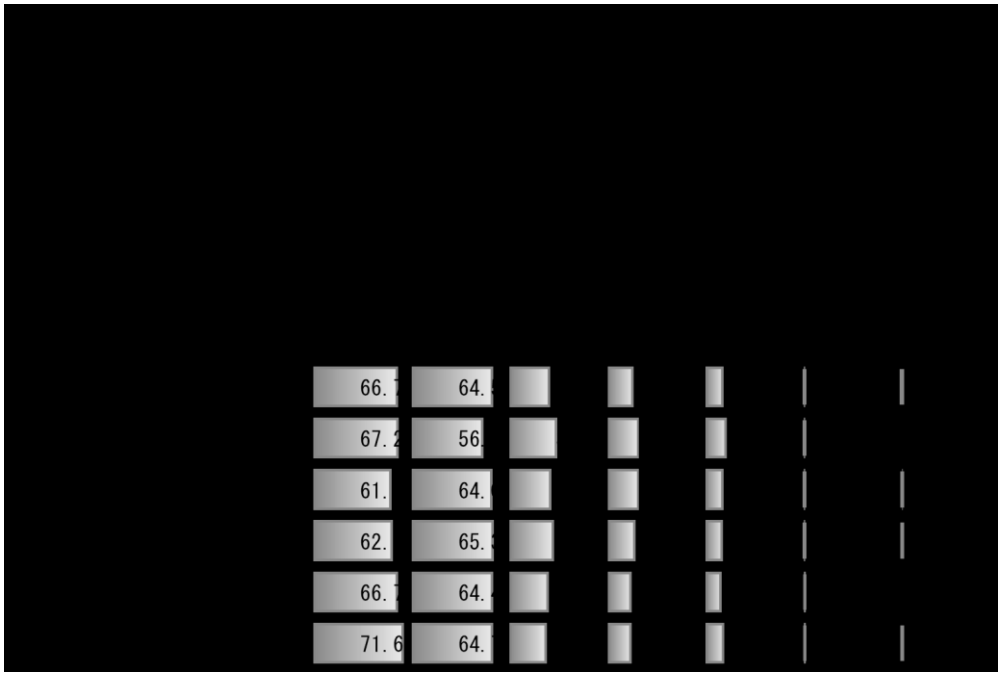


（9）区の施策等への意見表明する理由

問33で、「1　そう思う」「2　どちらかといえばそう思う」とお答えの方にうかがいます。
問33－1　それはどのような理由からですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

区の施策等への意見表明する理由は、全体でみると「地域の将来をより良いものにしたいと思うから」が 66.7%と最も高く、次いで「自分の日常生活や興味・関心に関係しているから」が 64.5%、「政策や施策に自分の意見を反映させたいから」が 32.0%となっています。

年齢層別でみると、「地域の将来をより良いものにしたいと思うから」は 35～39 歳で 71.6%と最も高く、「自分の日常生活や興味・関心に関係しているから」は 20 歳以上で６割台半ばと高くなっています。



（10）区の施策等への意見表明しない理由

問33で、「３　どちらかといえばそう思わない」「４　そう思わない」とお答えの方にうかがいます。
問33－２　それはどのような理由からですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

区の施策等への意見表明しない理由は、全体でみると「文京区に伝えたい意見がないから」が38.8%と最も高く、次いで「区の政策や施策を知らないから」が36.6%、「区に意見を伝えても反映されないと思うから」が32.0%となっています。

年齢層別でみると、34歳以下では「文京区に伝えたい意見がないから」が最も高く、20～24歳で48.9%となっています。「区の政策や施策を知らないから」は19歳で41.5%と最も高く、「区に意見を伝えても反映されないと思うから」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。

単位：%		回答数（n）	文京区に伝えたい意見がないから	区の政策や施策を知らないから	区に意見を伝えても反映されないと思うから	区に意見や要望を伝えるのは面倒だから	意見を伝える方法がわからないから	自分の意見に自信がないから	意見を伝えることが苦手だから	区の政策や施策に関心がないから	その他	無回答
全体		5,670	38.8	36.6	32.0	27.1	24.4	13.5	13.0	12.3	2.7	0.9
年齢層別	19歳	118	42.4	41.5	21.2	19.5	22.9	20.3	16.1	14.4	3.4	2.5
	20～24歳	855	48.9	37.8	23.7	24.3	22.3	15.7	15.6	15.3	2.3	0.9
	25～29歳	1,391	42.1	38.4	30.7	26.0	22.6	13.5	12.3	13.9	3.0	0.5
	30～34歳	1,625	37.2	36.3	34.0	27.1	23.5	11.2	11.3	11.4	2.6	0.9
	35～39歳	1,629	32.2	34.4	36.0	30.3	28.4	13.9	13.6	10.3	2.5	1.2

(11) 区の施策等への意見を伝える方法・手段

問34　どのような方法や手段があれば、文京区の政策や施策について意見を伝えやすいと思いますか。あてはまる答えの番号<u>すべて</u>に○をつけてください。(○はいくつでも)

区の施策等への意見を伝える方法・手段は、全体でみると「アンケートに答える」が 53.7%と最も高く、次いで「伝えた意見がどのように反映されるのかわかる」が 49.3%、「ＳＮＳを使って意見を伝える」が 45.7%となっています。

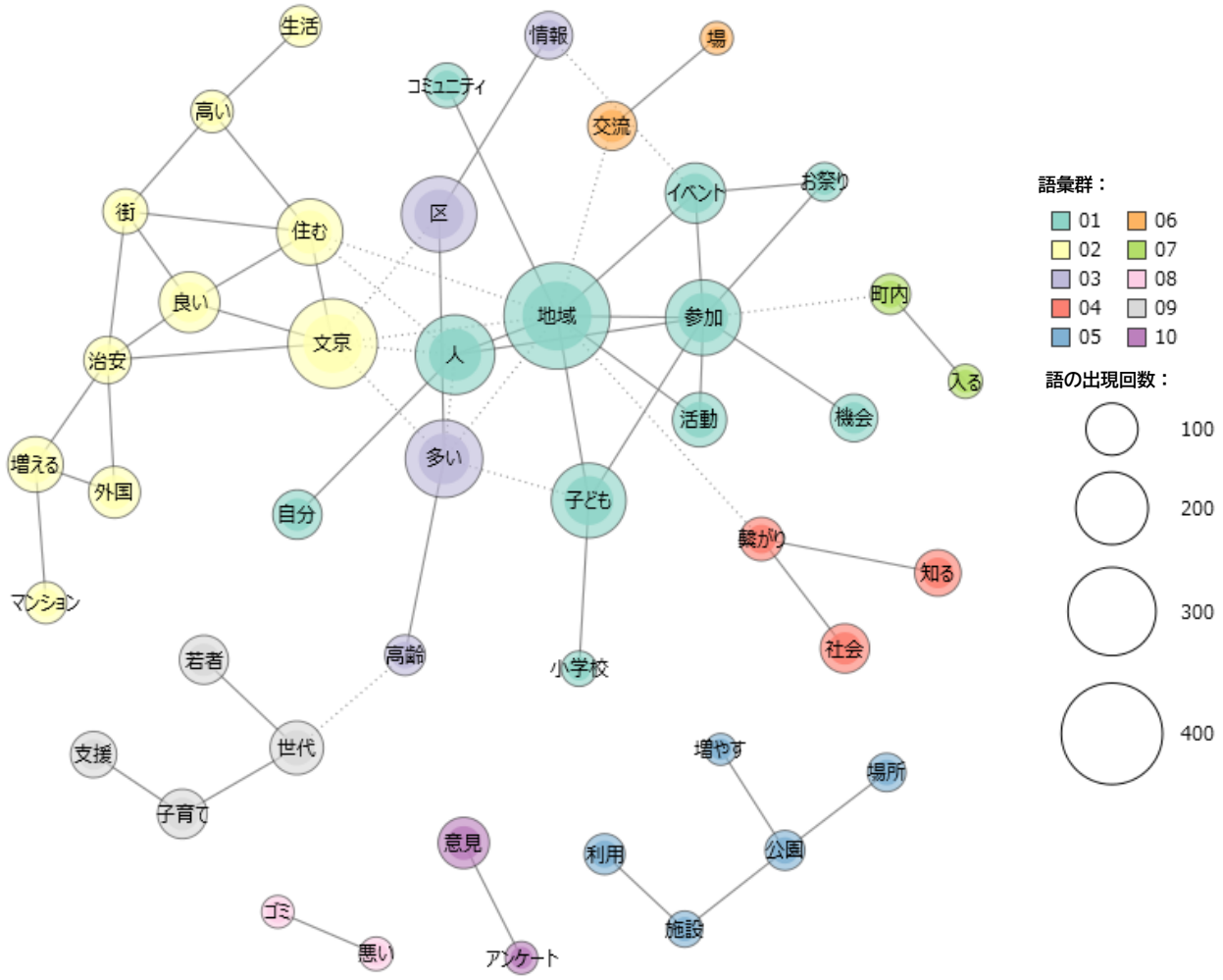
年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「アンケートに答える」が最も高く、35～39 歳で 56.3%となっています。「ＳＮＳを使って意見を伝える」は 24 歳以下で約５割と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	アンケートに答える	伝えた意見がどのように反映されるのかわかる	ＳＮＳを使って意見を伝える	自分のことが公開されない（秘密が守られる）	区のホームページから意見を送る	意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる	意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる	同年代が集まる会議やワークショップなどで意見交換しながら伝える	その他	無回答
全体		14,064	53.7	49.3	45.7	41.2	32.0	28.2	19.7	11.0	1.5	3.1
年齢層別	19歳	245	50.2	44.9	49.8	49.0	32.2	30.6	20.4	11.8	2.0	4.5
	20～24歳	1,879	50.5	45.0	49.3	42.0	31.2	34.2	19.4	10.6	0.8	3.5
	25～29歳	3,395	52.3	48.0	43.0	39.4	28.7	31.0	18.9	10.8	1.4	2.9
	30～34歳	4,130	54.3	51.6	47.3	40.4	32.8	28.1	19.6	10.6	1.3	2.8
	35～39歳	4,231	56.3	50.4	45.1	42.4	34.4	23.6	20.4	11.7	2.1	2.4

（12）区への意見「社会とのつながり」「文京区に関すること」（自由意見）

問35　地域とのつながりをはじめとする「社会とのつながり」や「文京区に関すること」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「社会とのつながり」「文京区に関すること」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



中心にある「地域」「人」「参加」「活動」「イベント」などの語がつながりから、住民が地域活動や人とのつながりに関心を持っていることが読み取れ、特に「お祭り」「コミュニティ」「交流」といった語が具体的な活動や接点を示しています。

「文京」「住む」「良い」「治安」「街」などからは、文京区に対する肯定的な評価が多数あることが分かります。一方、「場所」「公園」「増やす」「施設」「利用」などから、区内施設や共有スペースへの改善要望が読み取れます。

「意見」「アンケート」の語が連なり、区民の声を区政に反映する仕組みへの期待があることが推察されます。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

▼地域交流と社会参加について

〇若者向けのイベントやカルチャースクールの開催
〇地域交流を促進する施策の実施
〇賃貸マンション居住者の町内会活動参加へのハードルの高さ
〇同世代との交流機会の創出
〇区内における人間関係の希薄さや孤立感への不安
〇公共空間を活用した交流の場の整備

▼住みやすい環境づくりについて

〇子育て支援の充実による住みやすさへの評価
〇区民が住み続けられる家賃水準の実現
〇大型図書館などの公共施設の整備
〇独身世帯や子どもがいない世帯からの住環境に対する評価
〇家賃高騰による区外転居の検討
〇区民の視点に立ったまちづくり

▼区政への参加について

〇意見集約と施策への反映状況が確認できる仕組みづくり
〇若年世代の意見反映の難しさと世代間格差の是正

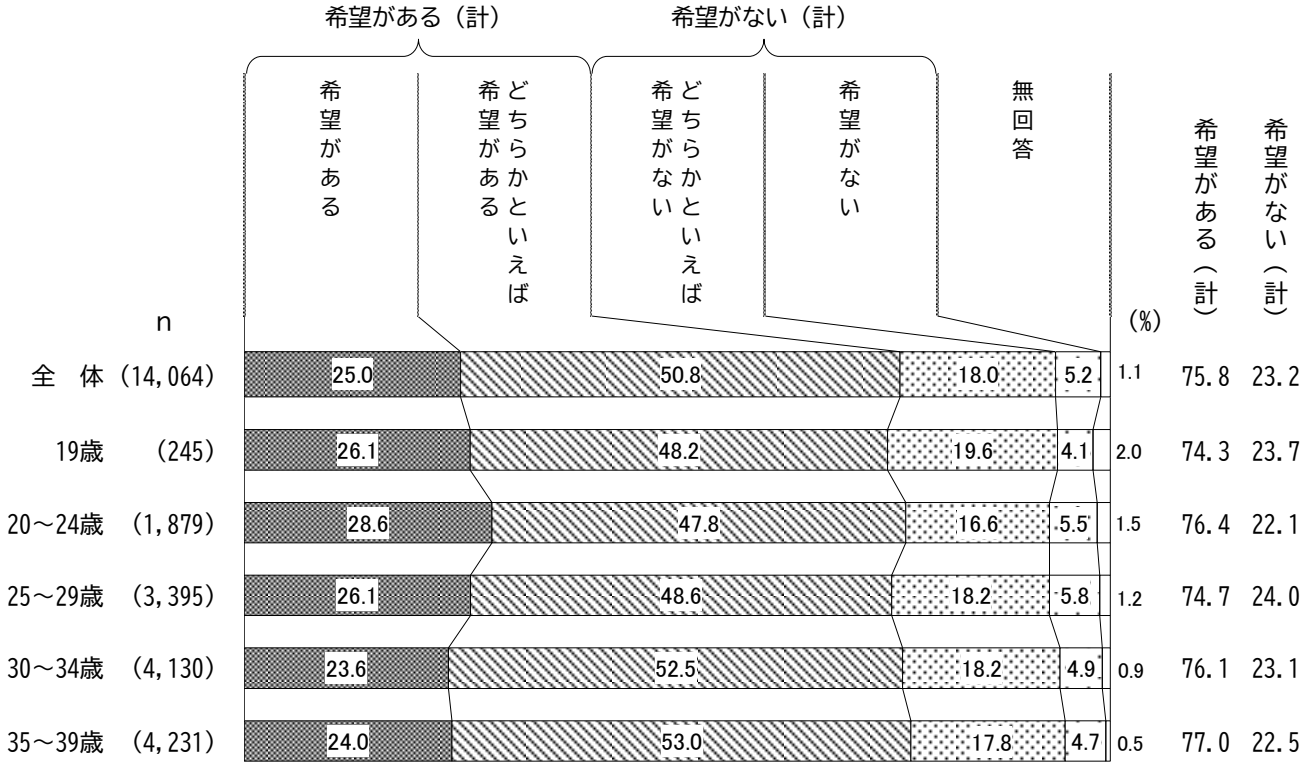
6　将来への希望感について

（１）将来への希望感

問36　自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

将来への希望感は、全体でみると「希望がある（計)」が75.8%、「希望がない（計)」が23.2%となっています。

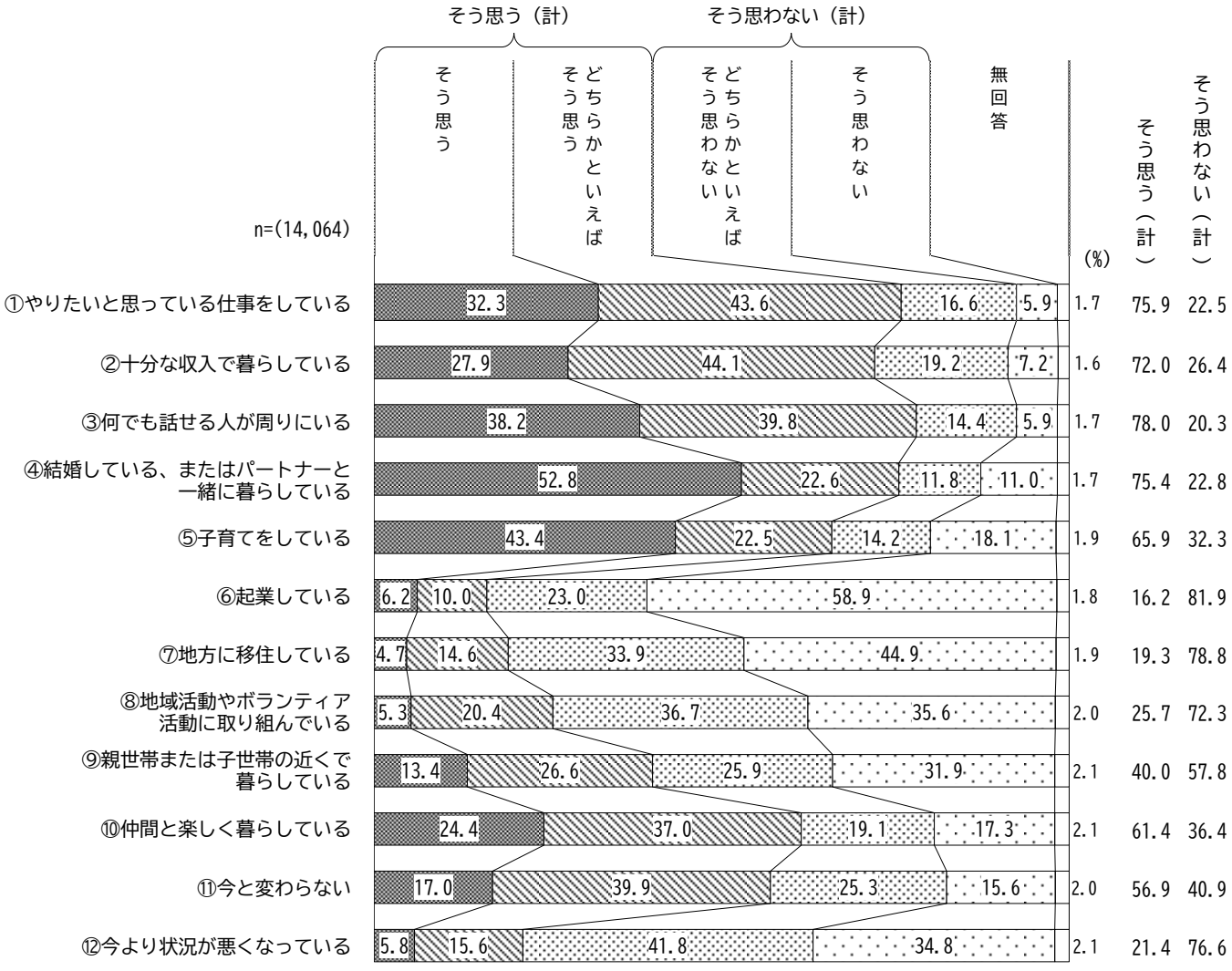
年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「希望がある（計)」は７割台、「希望がない（計)」は２割台となっています。また、「希望がある」は 20～24 歳で約３割、「どちらかといえば希望がある」は 30 歳代で５割台と高くなっています。



（2）10年後の自分の姿

問37　あなたは10年後、どのようになっていると思いますか。（○はそれぞれ1つ）

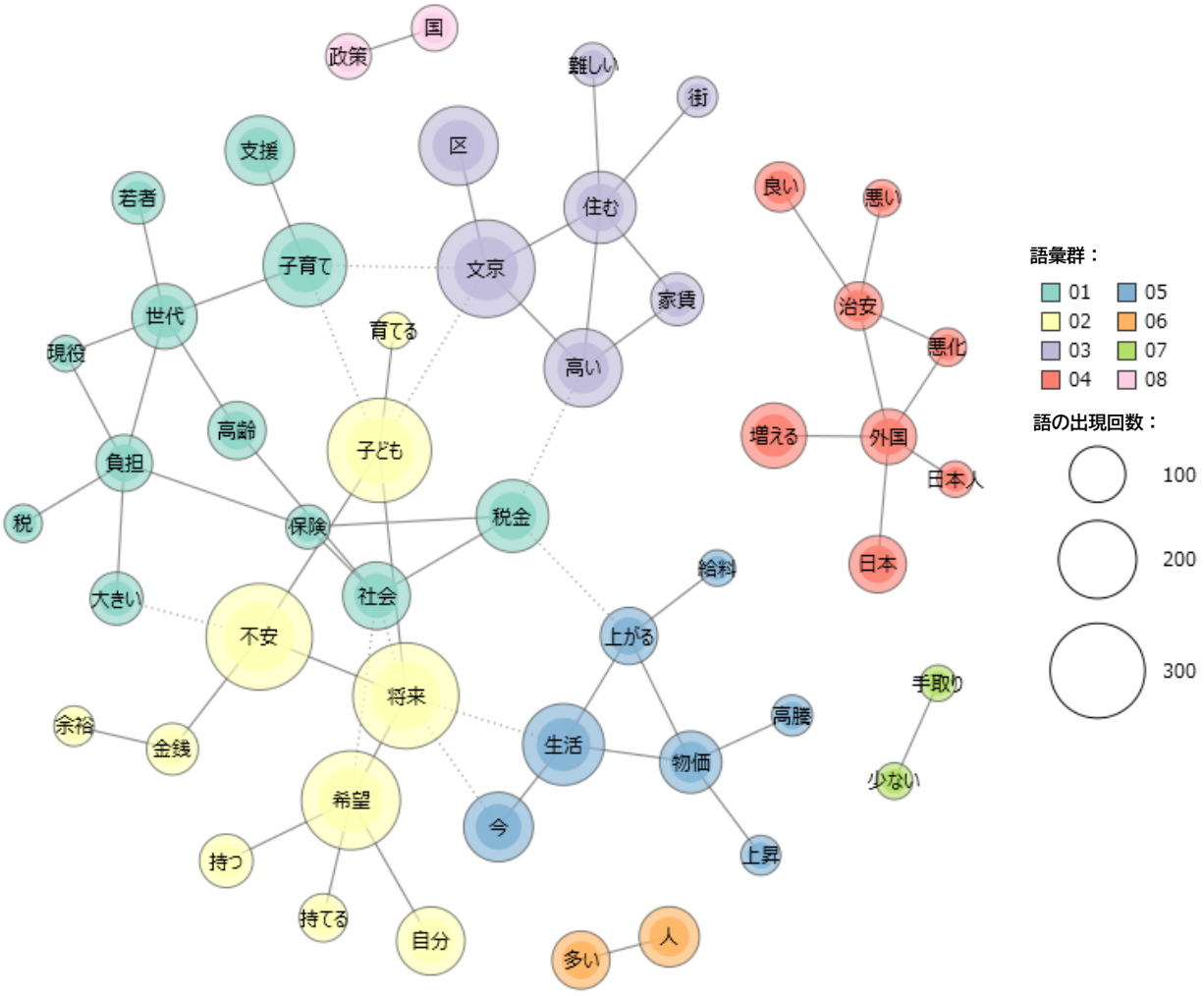
10 年後の自分の姿は、「そう思う（計）」では「何でも話せる人が周りにいる」が 78.0%で最も高く、次いで「やりたいと思っている仕事をしている」が 75.9%、「結婚している、またはパートナーと一緒に暮らしている」が 75.4%となっています。一方、「そう思わない（計）」では、「起業している」と思わない人が 81.9%と最も高く、次いで「地方に移住している」と思わない人が 78.8%、「今より状況が悪くなっている」と思わない人が 76.6%と最も高くなっています。



（3）区への意見「将来への希望感」（自由意見）

問38　「将来への希望感」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「将来への希望感」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



「将来」「希望」「生活」「今」「自分」「持つ」といった語が見られ、希望を持ちたいという意識がある一方で、「不安」「金銭」「物価」「上昇」「家賃」「住む」「高い」「難しい」といった語から、生活に関わる経済的不安や物価高騰への懸念が見られます。

「子育て」「支援」「世代」「若者」「負担」「高齢」などから、世代間格差や育児・介護負担への心配が、将来への不安としてつながっている様子が読み取れます。

「治安」「外国」「増える」「悪化」「日本」などの語群から、地域の治安や国際的な人口変化に対する懸念も一部で表れていることが分かります。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

▼社会保障制度・税制度について

〇現役世代の負担増に配慮した税制度の検討
〇年金制度の将来性を見据えた制度設計

▼住環境・物価について

〇高騰する家賃への助成や定住支援制度の創設
〇区内住宅購入を後押しする支援策の導入
〇現役世代を対象とした区独自の優遇制度の導入

▼子育て世代の支援について

〇子育て世代の意見を反映した政策の実現
〇区が実施している子育て施策の内容や制度の簡潔な情報発信
〇高齢者優遇とされる政策に対する若者世代の不満

▼国際化に伴う治安等について

〇外国人増加に対応した治安の維持
〇社会情勢の不安定さによる将来への閉塞感の広がり

7　結婚・子育て・少子化対策について

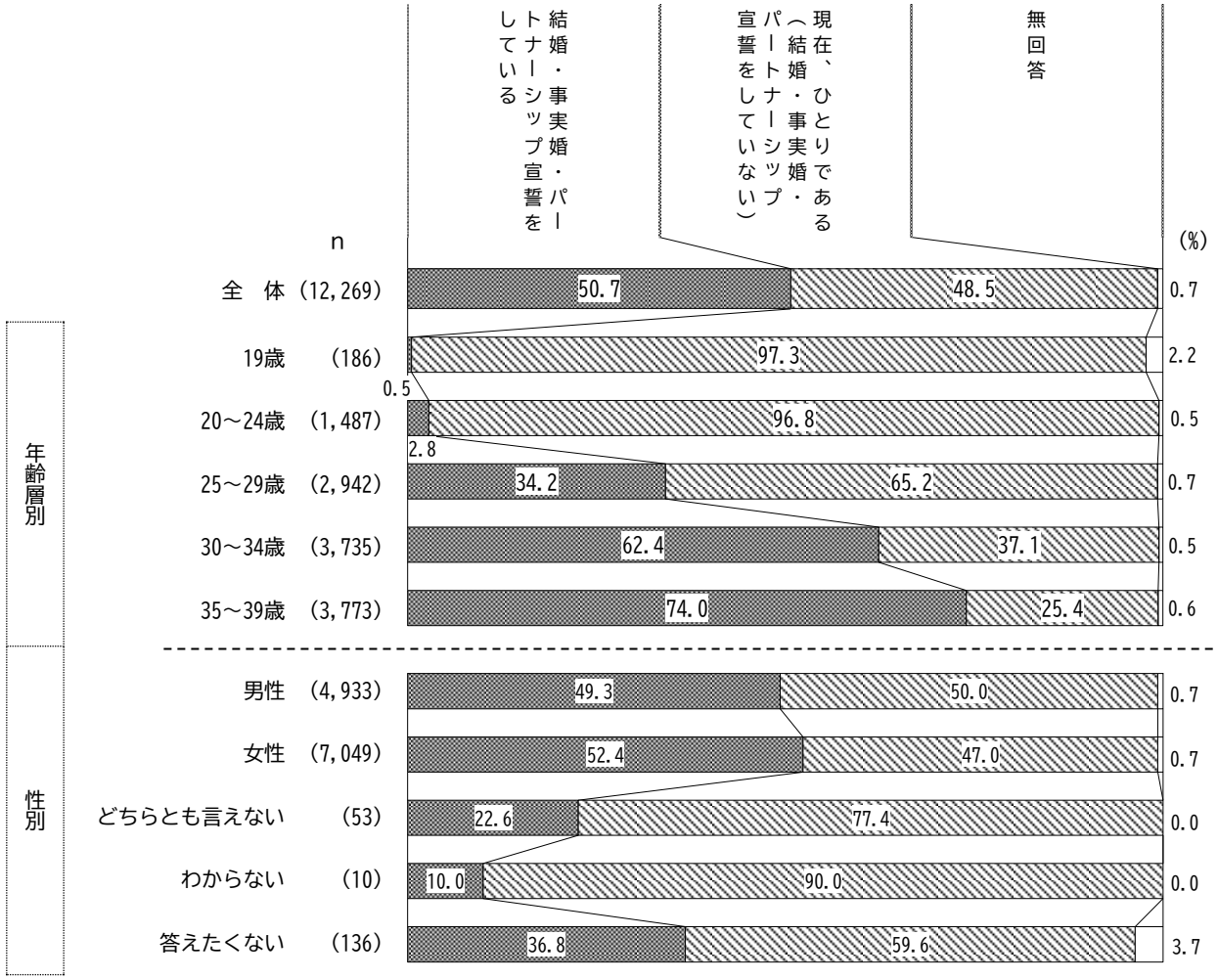
（１）婚姻状況（事実婚等含む）

問39　現在のあなたの状況をお答えください。(○は1つ)

婚姻状況（事実婚等含む）は、全体でみると「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」が 50.7%、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない)」が 48.5%となっています。

年齢層別でみると、「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39 歳で 74.0%となっています。一方、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない)」は 24 歳以下で９割台となっています。

性別でみると、男性は、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない)」が 50.0%、女性は「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」が 52.4%となっています。



※各性別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（２）出会いの場（配偶者・パートナー）

問39で、「１　結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」とお答えの方にうかがいます。
問39－１－１　配偶者・パートナーとは、どのようなきっかけで知り合いになりましたか。
（○は1つ）

配偶者・パートナーとの出会いの場は、全体でみると「職場・仕事関係」が 27.1%と最も高く、次いで「学校」が 22.4%、「マッチングアプリ」が 15.3%、「友人や兄弟姉妹を通じて」が 15.0%となっています。

年齢層別でみると、「職場・仕事関係」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。また、「学校」と「マッチングアプリ」は年齢層が上がるにつれておおむね低くなっており、「友人や兄弟姉妹を通じて」は 35～39 歳で 18.3%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	職場・仕事関係	学校	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じて	学校以外のサークル活動や習い事	結婚相談所	街中や旅先、イベント	街コン・婚活パーティ	ＳＮＳ	お見合い	その他	無回答
全体		6,226	27.1	22.4	15.3	15.0	6.4	3.3	2.8	2.1	1.7	0.5	2.4	0.9
年齢層別	19歳	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20～24歳	41	12.2	34.1	22.0	7.3	7.3	－	4.9	－	4.9	4.9	2.4	－
	25～29歳	1,005	24.3	29.2	18.7	10.0	7.4	1.1	2.5	1.2	2.4	0.4	2.1	0.9
	30～34歳	2,330	26.2	22.7	19.4	13.5	5.8	3.4	2.5	1.9	1.4	0.3	2.3	0.6
	35～39歳	2,793	29.2	19.7	10.8	18.3	6.5	4.1	3.2	2.6	1.6	0.8	2.6	0.7

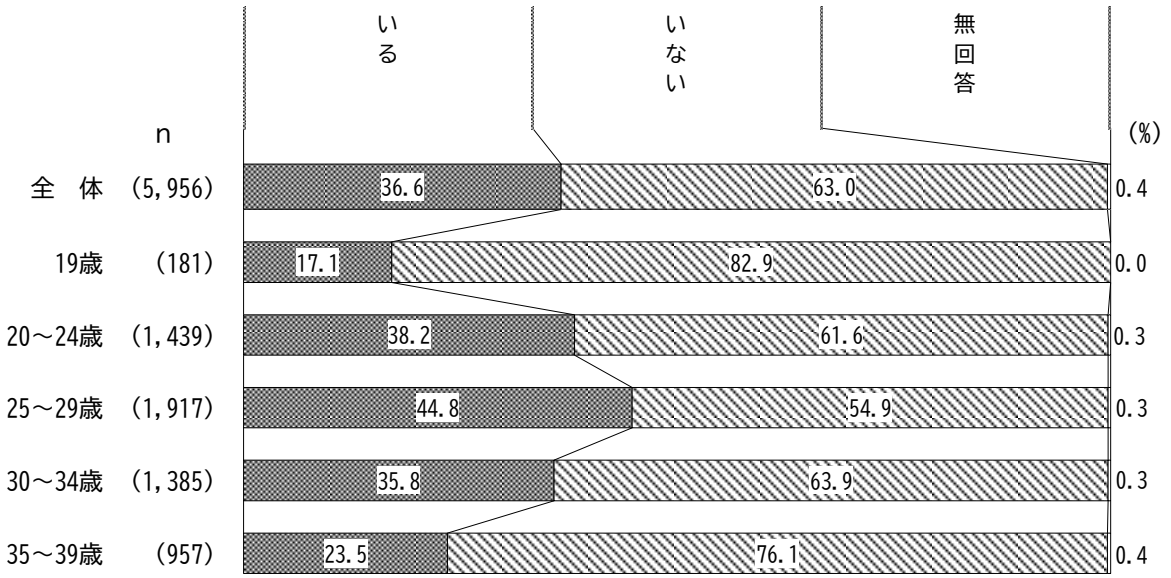
※各年齢層別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

（3）交際相手の有無

問39で、「2　現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。
問39－2－1　あなたは、現在交際している人はいますか。（○は1つ）

交際相手の有無は、全体でみると「いる」が 36.6%、「いない」が 63.0%となっています。

年齢層別でみると、「いる」は 25～29 歳で 44.8%と最も高く、次いで 20～24 歳で 38.2%、30～34 歳で 35.8%となっています。一方、「いない」は 19 歳で 82.9%と最も高く、次いで 35～39 歳で 76.1%となっています。



（４）出会いの場（交際相手）

問39－２－１で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。
問39－２－２　交際相手とはどのようなきっかけで知り合いになりましたか。（○は1つ）

交際相手との出会いの場は、全体でみると「マッチングアプリ」が 25.9%と最も高く、次いで「学校」が 23.0%、「職場・仕事関係」が 21.7%、「友人や兄弟姉妹を通じて」が 9.3%となっています。

年齢層別でみると、「マッチングアプリ」は 30～34 歳で 33.7%と最も高く、「学校」は 19 歳が 71.0%と最も高くなっています。「職場・仕事関係」は 35～39 歳が 29.3%と最も高くなっています。

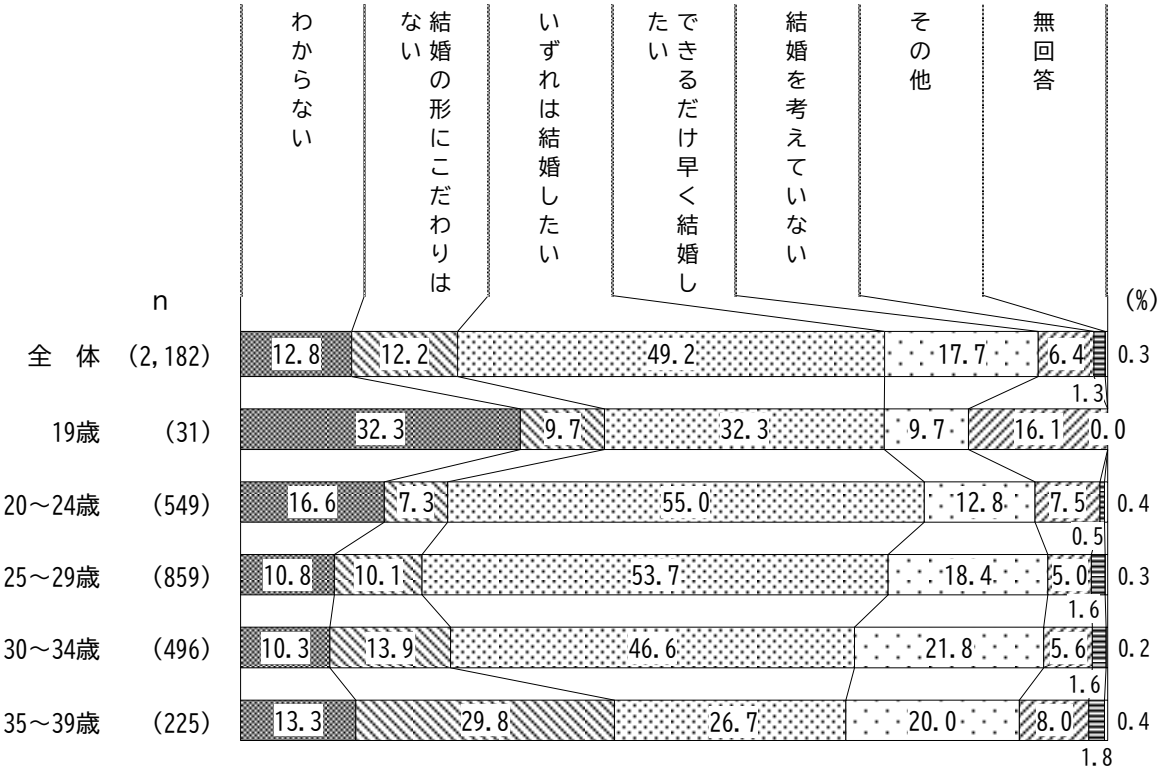
単位：%		回答数（n）	マッチングアプリ	学校	職場・仕事関係	友人や兄弟姉妹を通じて	学校以外のサークル活動や習い事	SNS	街中や旅先、イベント	結婚相談所	街コン・婚活パーティ	お見合い	その他	無回答
全体		2,182	25.9	23.0	21.7	9.3	7.5	4.1	3.1	1.3	1.1	0.2	2.3	0.6
年齢層別	19歳	31	－	71.0	6.5	－	12.9	－	6.5	－	－	－	3.2	－
	20～24歳	549	14.2	42.4	12.9	6.9	12.2	5.6	3.1	－	0.2	0.2	1.3	0.9
	25～29歳	859	28.9	21.9	22.1	10.5	6.6	3.3	2.4	0.7	0.7	0.2	2.0	0.7
	30～34歳	496	33.7	8.9	27.4	9.7	4.8	2.6	4.2	3.4	2.4	0.2	2.2	0.4
	35～39歳	225	29.8	4.9	29.3	10.7	4.4	6.7	2.7	2.2	2.7	－	6.2	0.4

（５）結婚意向の有無

問39－２－１で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。
問39－２－３　交際相手とのこれからについて、どのように考えていますか。（○は1つ）

結婚意向の有無は、全体でみると「いずれは結婚したい」が 49.2%と最も高く、次いで「できるだけ早く結婚したい」が 17.7%、「わからない」が 12.8%、「結婚の形にこだわりはない」が 12.2%となっています。

年齢層別でみると、「いずれは結婚したい」は 20～24 歳で 55.0%と最も高く、次いで 25～29 歳で 53.7%となっています。また、「結婚の形にこだわりはない」は 35～39 歳で 29.8%と最も高くなっており、「できるだけ早く結婚したい」は年齢層が上がるにつれておおむね高くなっています。



（６）結婚していない理由

問39－２－１で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。
問39－２－４　結婚していない理由をお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

結婚していない理由は、全体でみると「まだ若いから」が 34.7%と最も高く、次いで「資金が足りない、収入が不安定だから」が 28.1%、「学業や仕事に打ち込みたいから」が 25.8%、「結婚に向けて準備中」が 21.3%となっています。また、「必要性を感じないから」は 12.7%となっています。

年齢層別でみると、「まだ若いから」は 24 歳以下で高くなっており、「必要性を感じないから」は年齢層が上がるにつれて高くなっています。

単位：%		回答数（n）	まだ若いから	資金が足りない、収入が不安定だから	学業や仕事に打ち込みたいから	結婚に向けて準備中	家族を持つことに伴う責任を感じるから	必要性を感じないから	独身で生活できるだけの経済力があるから	趣味や娯楽を楽しみたいから
全体		2,182	34.7	28.1	25.8	21.3	17.7	12.7	9.8	9.2
年齢層別	19歳	31	87.1	32.3	61.3	－	12.9	3.2	3.2	6.5
	20～24歳	549	79.6	40.4	43.4	6.9	15.8	5.8	3.5	9.1
	25～29歳	859	29.9	28.2	26.2	25.4	18.9	11.4	11.4	10.1
	30～34歳	496	4.8	19.8	11.5	31.9	19.2	16.7	10.5	8.3
	35～39歳	225	2.2	16.0	8.9	20.9	13.8	28.0	19.1	7.6

単位：%		回答数（n）	夫婦別姓にする国の制度がないから	交際相手が結婚に対して関心がないから	同性のパートナーと結婚する国の制度がないから	健康に関する不安があるから	宗教や文化的な制約があるから	その他	特に理由はない	無回答
全体		2,182	7.7	5.6	3.5	1.6	0.4	6.6	7.2	1.1
年齢層別	19歳	31	3.2	－	－	－	－	3.2	3.2	3.2
	20～24歳	549	3.5	3.6	2.7	1.5	0.4	2.6	2.6	1.1
	25～29歳	859	7.3	4.1	2.0	1.6	0.3	6.5	8.1	0.9
	30～34歳	496	9.5	8.3	4.8	1.8	0.6	9.7	10.3	1.0
	35～39歳	225	16.4	11.6	8.0	2.2	－	10.7	9.3	0.9

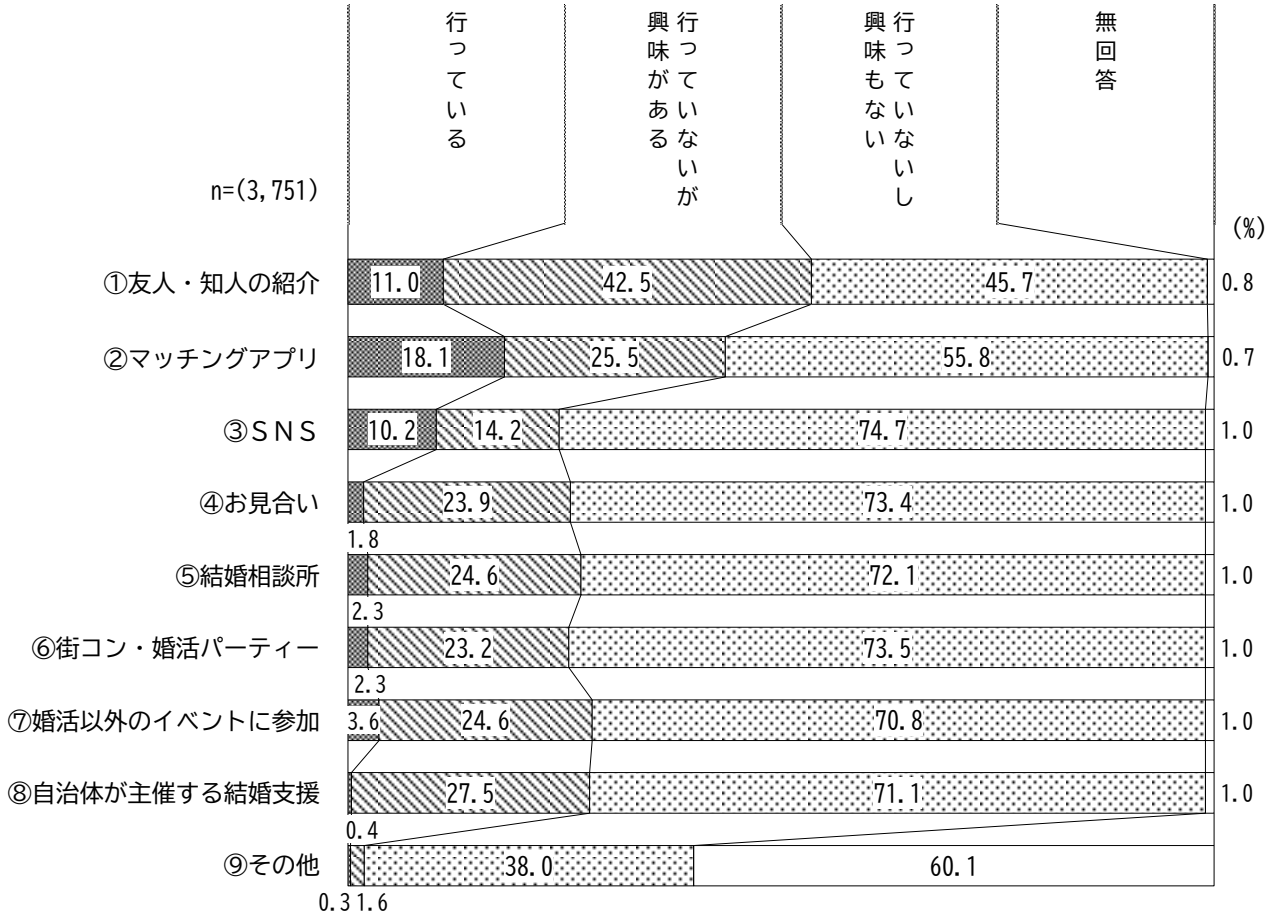
（７）婚活等の有無・興味の有無

問39－２－１で、「２　いない」とお答えの方にうかがいます。
問39－２－５　結婚相手・交際相手を見つけることを目的とした活動（いわゆる婚活など）を行っていますか。それぞれ、あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

婚活等の有無や興味の有無は、「（婚活等を）行っている」は「マッチングアプリ」が 18.1%と最も高く、次いで「友人・知人の紹介」が 11.0%、「ＳＮＳ」が 10.2%となっています。

「（婚活等を）行っていないが興味はある」は「友人・知人の紹介」が 42.5%と最も高く、次いで「自治体が主催する結婚支援」が 27.5%、「マッチングアプリ」が 25.5%となっています。

「（婚活等を）行っていないし興味もない」は、「ＳＮＳ」が 74.7%と最も高く、次いで「街コン・婚活パーティー」が 73.5%、「お見合い」が 73.4%となっています。



（８）国や自治体に求める支援

問39で、「２　現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。
問39－３　国や自治体に期待する結婚支援、パートナーシップに関する支援はどんなことですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

国や自治体に求める支援は、全体でみると「住まいや暮らしへの経済的支援」が 50.3%と最も高く、次いで「雇用や収入の安定化を目指した施策」が 37.5%、「出会いの場や機会を創出するための支援」が 22.2%となっています。また、「特にない」は 28.3%となっています。

年齢層別でみると、「住まいや暮らしへの経済的支援」は 20 歳代で５割台となっています。「特にない」はいずれの年齢層でも２割台から３割台となっています。

単位：%		回答数（n）	住まいや暮らしへの経済的支援	雇用や収入の安定化を目指した施策	出会いの場や機会を創出するための支援	結婚やパートナーシップに関する情報の提供	出会いに関するサービス利用の支援（マッチングアプリ登録費用の補助など）	公的相談所や公的相談会の開設	その他	特にない	無回答
全体		5,956	50.3	37.5	22.2	15.6	13.4	7.1	2.6	28.3	2.7
年齢層別	19歳	181	45.9	39.2	18.8	13.8	6.6	4.4	2.8	33.1	2.8
	20～24歳	1,439	52.3	41.7	18.3	12.7	9.6	5.5	1.5	28.1	2.8
	25～29歳	1,917	56.3	38.8	21.0	16.0	12.4	5.9	2.1	25.2	2.3
	30～34歳	1,385	46.4	32.7	24.5	17.2	16.8	8.4	3.3	30.0	2.3
	35～39歳	957	42.7	35.0	27.8	17.0	17.5	10.4	3.8	30.9	3.1

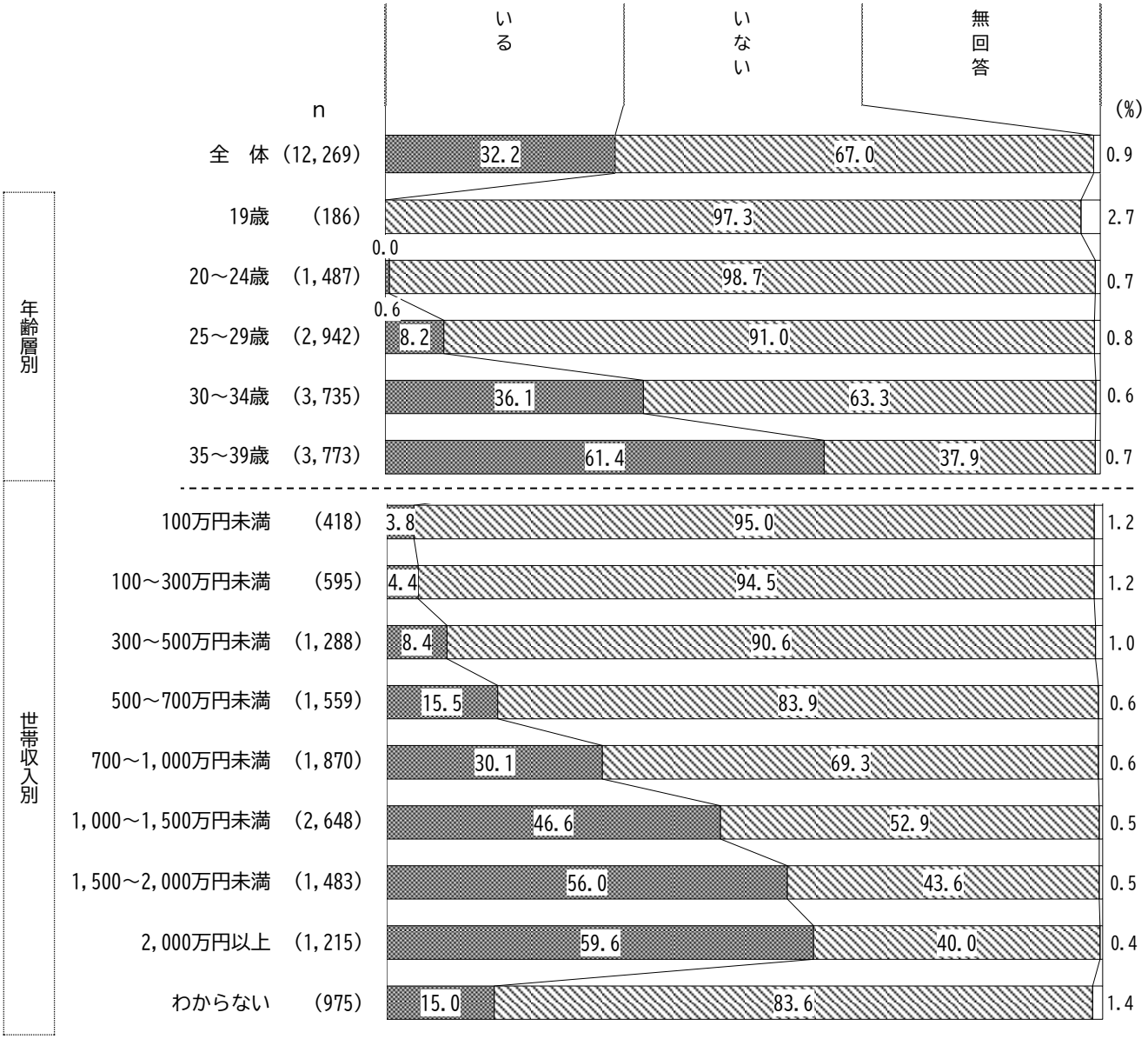
（9）子どもの有無

問40　あなたは、子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんや、里親や養子縁組として育てているお子さんも含めてお答えください。（○は1つ）

子どもの有無は、全体でみると「いない」が 67.0%、「いる」が 32.2%となっています。

年齢層別でみると、「いる」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39 歳で 61.4%となっています。一方、「いない」は 24 歳以下でほぼ全数を占めています。

世帯収入別でみると、「いる」は世帯収入が上がるにつれて高くなり、1,500 万円以上で５割台となっています。



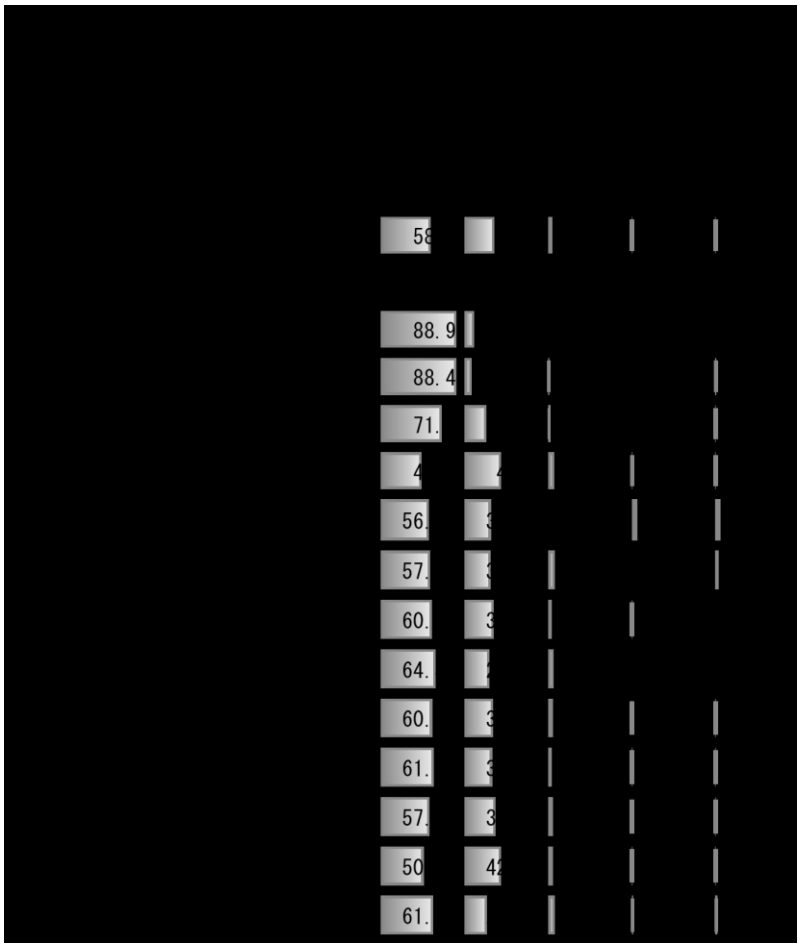
(10) 子どもの人数

問40で、「１　いる」とお答えの方にうかがいます。 問40－１　子どもは何人いますか。

子どもの人数は、全体でみると「１人」が 58.4%と最も高く、次いで「２人」が 35.0%、「３人」が5.3%となっています。

年齢層別でみると、「２人」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39 歳で 43.2%となっています。

それぞれの世帯収入の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。



※各世帯収入別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

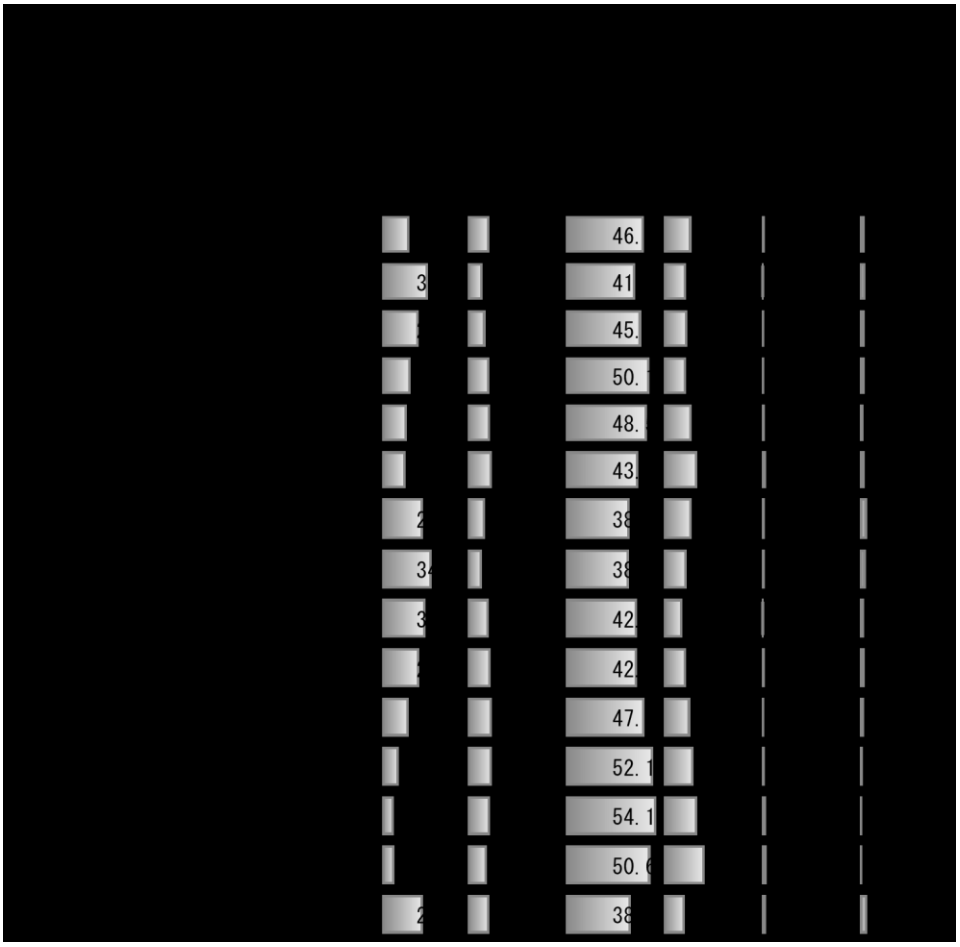
（11）理想の子どもの人数

問41　あなたは、子どもを何人育ててみたいですか。子どもを望んでいない、考えていない場合は「0」を記入してください。

理想の子どもの人数は、全体でみると「２人」が 46.7%と最も高く、次いで「０人」が 18.9%、「３人」が 16.5%、「１人」が 13.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「２人」が最も高く、25～29 歳で 50.1%となっています。一方、「０人」は 19 歳で 31.7%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

世帯収入別でみると、「０人」は 500 万円未満の世帯で高くなっており、「１人」は 1,000～1,500 万円未満が 14.6%と高く、「２人」は 1,000 万円以上で５割台となっています。



(12) 理想の数の子どもを育てるために必要なこと

問41で、「１人以上」とお答えの方にうかがいます。
問42　育ててみたい数の子どもを育てるには、どのようなことがあれば良いと思いますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

理想の数の子どもを育てるために必要なことは、全体でみると「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」と「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が約７割と高く、次いで「希望どおり産休や育休が取得できる」、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」、「住居費用の補助など住環境への支援がある」が６割台半ばとなっています。

年齢層別でみると、「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」は 25～29 歳と 30～34 歳で７割台と高くなっています。また、「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」は 30～34 歳で 71.3%、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」は 25～29 歳で 70.5%となっています。「希望どおり産休や育休が取得できる」は 24 歳以下で７割台、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」も 19 歳で 71.9%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	子どもと子育てに関する経済的支援施策がある	幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	希望どおり産休や育休が取得できる	妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている	自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される	住居費用の補助など住環境への支援がある	理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている	家族の協力・理解が得られる	勤務先に育児短時間勤務制度がある	妊娠・子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	子どもがいても同じ勤務先、部署でキャリアアップが可能な環境がある	親や親族からの支援が得られる	自分や家族の転勤への配慮がなされる
全体		9,596	69.7	69.5	66.7	66.2	65.4	64.6	56.6	54.0	50.4	46.7	44.9	43.7	40.9
年齢層別	19歳	121	59.5	64.5	75.2	66.9	71.9	48.8	48.8	55.4	44.6	37.2	52.1	52.1	42.1
	20～24歳	1,061	66.8	67.4	72.5	64.6	63.8	59.1	47.4	55.2	50.5	39.9	50.7	48.5	45.1
	25～29歳	2,281	70.6	69.0	69.8	70.5	63.7	68.6	52.9	51.7	52.6	44.9	47.4	43.5	42.7
	30～34歳	3,002	71.5	71.3	68.6	68.8	67.2	66.6	59.4	51.9	51.9	49.9	44.3	42.5	41.1
	35～39歳	3,050	68.7	69.0	60.1	61.0	65.2	62.1	60.3	57.3	47.4	47.5	41.0	43.0	37.9

単位：%		回答数（n）	子どもがいても同じ勤務先、部署で継続して就業できる環境がある	産後ケア・産後うつへの支援・取組がなされている	不妊治療に対する助成が充実している	子どものことで退職しても、再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある	きめ細かいニーズに対応した多様な主体（区、NPO、企業）から育児サービスが得られる	身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	友達や近所の人からの支援が得られる	養子縁組制度の理解が進み、充実している	里親制度の理解が進み、充実している	その他	特にない	わからない	無回答
全体		9,596	40.9	39.4	38.0	37.4	24.5	22.4	17.5	8.2	8.0	2.5	0.4	0.5	0.2
年齢層別	19歳	121	49.6	38.0	24.8	44.6	25.6	29.8	26.4	12.4	13.2	4.1	0.8	0.8	0.8
	20～24歳	1,061	48.5	39.8	31.5	41.8	24.1	26.0	21.0	10.7	10.6	1.3	0.3	1.0	0.5
	25～29歳	2,281	42.6	43.5	39.8	38.7	24.1	23.7	16.8	8.9	8.7	2.2	0.3	0.4	0.2
	30～34歳	3,002	40.1	39.2	41.0	35.7	24.4	22.1	16.1	6.9	7.0	2.2	0.3	0.1	0.1
	35～39歳	3,050	37.2	36.5	36.5	36.1	24.7	19.9	17.7	7.8	7.5	3.5	0.8	0.6	0.2

世帯収入別でみると、「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」は 700～1,000 万円未満と 1,000～1,500 万円未満が７割台半ばと高くなっています。「理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている」は 100 万円未満が 36.3%と最も低くなっています。

単位：%		回答数（n）	子どもと子育てに関する経済的支援施策がある	幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	希望どおり産休や育休が取得できる	妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている	自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される	住居費用の補助など住環境への支援がある	理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている	家族の協力・理解が得られる	勤務先に育児短時間勤務制度がある	妊娠・子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	子どもがいても同じ勤務先、部署でキャリアアップが可能な環境がある	親や親族からの支援が得られる	自分や家族の転勤への配慮がなされる
全体		9,596	69.7	69.5	66.7	66.2	65.4	64.6	56.6	54.0	50.4	46.7	44.9	43.7	40.9
世帯収入別	100万円未満	281	65.5	58.4	65.8	58.7	61.6	56.9	36.3	53.0	46.3	33.1	50.2	42.3	46.3
	100～300万円未満	370	68.4	64.3	67.6	68.9	61.1	66.5	51.9	49.2	49.7	41.6	44.6	44.1	44.6
	300～500万円未満	867	69.0	64.6	68.2	66.9	61.1	66.0	48.1	51.7	52.4	40.4	44.3	39.6	36.7
	500～700万円未満	1,112	68.3	67.0	66.9	69.3	65.4	67.4	55.5	53.3	53.1	45.3	44.3	43.0	40.5
	700～1,000万円未満	1,472	73.3	70.9	69.2	69.4	66.0	68.6	57.6	54.0	53.7	48.8	44.5	43.9	42.0
	1,000～1,500万円未満	2,290	73.1	71.2	67.0	67.5	67.1	68.8	59.3	54.9	52.2	51.2	44.3	44.4	43.4
	1,500～2,000万円未満	1,334	67.7	72.6	63.7	62.4	67.5	63.2	62.1	54.3	45.8	48.1	45.8	42.6	40.0
	2,000万円以上	1,091	62.9	70.9	61.0	59.0	64.4	52.7	58.9	53.7	42.2	44.3	44.2	44.6	36.8
	わからない	654	70.2	69.9	72.6	69.0	65.9	59.3	54.7	59.3	55.0	44.6	47.4	48.6	41.7

単位：%		回答数（n）	子どもがいても同じ勤務先、部署で継続して就業できる環境がある	産後ケア・産後うつへの支援・取組がなされている	不妊治療に対する助成が充実している	子どものことで退職しても、再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある	きめ細かいニーズに対応した多様な主体（区、NPO、企業）から育児サービスが得られる	身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	友達や近所の人からの支援が得られる	養子縁組制度の理解が進み、充実している	里親制度の理解が進み、充実している	その他	特にない	わからない	無回答
全体		9,596	40.9	39.4	38.0	37.4	24.5	22.4	17.5	8.2	8.0	2.5	0.4	0.5	0.2
世帯収入別	100万円未満	281	45.9	34.5	27.0	37.4	22.1	23.1	20.3	6.8	7.1	0.7	1.4	1.1	1.1
	100～300万円未満	370	43.4	40.8	34.6	40.8	25.4	25.7	23.8	15.7	16.2	2.2	0.5	1.4	0.3
	300～500万円未満	867	41.9	44.1	37.5	40.4	23.8	23.5	18.0	8.8	8.9	2.4	0.2	0.5	0.2
	500～700万円未満	1,112	41.1	42.6	40.6	38.4	26.5	22.2	18.8	10.6	10.8	2.9	0.2	0.5	0.1
	700～1,000万円未満	1,472	41.6	43.1	40.1	37.6	25.2	23.5	18.3	8.8	8.5	2.4	0.4	0.4	0.1
	1,000～1,500万円未満	2,290	39.0	38.8	40.2	37.8	26.1	22.9	15.9	7.6	7.0	2.4	0.3	0.2	0.1
	1,500～2,000万円未満	1,334	38.9	35.3	37.6	32.2	22.0	20.1	15.4	4.9	4.9	2.0	0.4	0.1	0.1
	2,000万円以上	1,091	37.3	31.3	34.0	32.4	20.6	19.0	15.3	4.9	4.8	4.1	0.8	0.3	0.1
	わからない	654	43.9	44.6	35.5	46.5	25.7	24.6	21.4	13.0	13.1	2.0	0.6	1.4	0.3

(13) 少子化対策のために必要なこと

問43　あなたは、少子化対策のために必要なことは何だと思いますか。あてはまる答えの番号<u>すべて</u>に○をつけてください。（○はいくつでも）

少子化対策のために必要なことは、全体でみると「賃上げ等による所得の増加」が 74.9%と最も高く、次いで「出産や子育てに係る費用の補助の充実」が 74.0%、「子どもの未来が明るいと思える社会の実現」が 58.4%となっています。

世帯収入別でみると、いずれの世帯収入でも「賃上げ等による所得の増加」と「出産や子育てに係る費用の補助の充実」は６割台から７割台となっており、「子どもの未来が明るいと思える社会の実現」は 700～1,000 万円未満と 1,500～2,000 万円未満で６割台と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	賃上げ等による所得の増加	出産や子育てに係る費用の補助の充実	子どもの未来が明るいと思える社会の実現	児童手当の増額など、現金給付の強化	子ども・子育てにやさしい社会の醸成	保育施設・保育サービスの充実	社会全体の働き方改革
全体		12,269	74.9	74.0	58.4	57.6	57.3	55.7	53.0
世帯収入別	100万円未満	418	66.7	67.9	56.0	50.2	56.2	47.8	47.8
	100～300万円未満	595	74.6	70.1	57.1	53.1	52.8	50.1	51.1
	300～500万円未満	1,288	76.4	73.1	54.2	56.9	50.0	50.2	53.6
	500～700万円未満	1,559	76.8	74.2	56.6	57.5	53.6	54.2	51.6
	700～1,000万円未満	1,870	77.8	74.9	60.1	58.0	56.3	57.1	55.7
	1,000～1,500万円未満	2,648	77.9	78.4	59.4	62.3	59.7	57.9	53.4
	1,500～2,000万円未満	1,483	73.6	73.5	61.0	58.0	63.0	59.5	53.4
	2,000万円以上	1,215	68.1	69.7	59.4	52.7	60.5	57.0	52.2
	わからない	975	72.1	74.3	59.6	58.3	60.0	56.1	53.2

単位：%		回答数（n）	男性の育児参加、家事参加	異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動	その他	有効だと思う取組は特にない	わからない	無回答
全体		12,269	49.0	12.8	8.3	1.0	0.6	1.3
世帯収入別	100万円未満	418	50.2	16.7	8.4	1.9	1.4	2.9
	100～300万円未満	595	47.6	15.6	6.1	1.2	1.2	2.4
	300～500万円未満	1,288	47.7	12.7	7.0	1.6	1.2	1.2
	500～700万円未満	1,559	47.7	11.4	7.5	1.4	0.6	1.2
	700～1,000万円未満	1,870	48.3	14.9	7.6	0.7	0.6	0.6
	1,000～1,500万円未満	2,648	48.4	12.9	8.2	0.5	0.2	1.0
	1,500～2,000万円未満	1,483	51.2	11.1	9.2	0.5	0.2	0.7
	2,000万円以上	1,215	49.4	10.1	12.3	0.9	0.2	0.8
	わからない	975	53.8	13.8	7.3	1.3	1.6	1.9

子どもの有無別でみると、子どもがいる人の方が、子どもがいない人に比べて「子どもの未来が明るいと思える社会の実現」、「児童手当の増額など、現金給付の強化」、「子ども・子育てにやさしい社会の醸成」等が高くなっています。

単位：%		回答数（n）	賃上げ等による所得の増加	出産や子育てに係る費用の補助の充実	子どもの未来が明るいと思える社会の実現	児童手当の増額など、現金給付の強化	子ども・子育てにやさしい社会の醸成	保育施設・保育サービスの充実	社会全体の働き方改革
全体		12,269	74.9	74.0	58.4	57.6	57.3	55.7	53.0
子どもの有無別	いる	3,947	74.6	75.7	62.7	64.3	67.0	59.3	55.2
	いない	8,217	75.7	73.8	56.9	54.9	53.1	54.4	52.4

単位：%		回答数（n）	男性の育児参加、家事参加	異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動	その他	有効だと思う取組は特にない	わからない	無回答
全体		12,269	49.0	12.8	8.3	1.0	0.6	1.3
子どもの有無別	いる	3,947	51.8	12.8	10.0	0.4	0.1	0.6
	いない	8,217	48.1	12.9	7.5	1.3	0.9	0.8

(14) 子育てしやすくするために必要と考える環境

問44　あなたは、子育てをする時、重視したい環境、子育てしやすくするために必要と考える環境は何ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

子育てしやすくするために必要と考える環境は、全体でみると「治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている」が 83.2%と最も高く、次いで「子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている」が 71.2%、「子育てしやすい教育・住環境が整っている」が 70.1%となっています。

世帯収入別でみると、いずれの世帯収入でも「治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている」は最も高く、「子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている」は 1,500～2,000 万円未満で 78.1%と最も高くなっています。また、「子育てしやすい教育・住環境が整っている」も 1,500～2,000 万円未満で 75.4%と最も高くなっています。

単位：%		回答数（n）	治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている	子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている	子育てしやすい教育・住環境が整っている	幼稚園・保育園・認定こども園などが充実している	子育てに関する経済的な支援がある	子どもを連れての外出がしやすい施設が多くある	必要な時に一時的に子どもを預けることができる施設が充実している	自分のキャリアを継続できるなど、子育てと仕事を両立しやすい環境が整っている	子育てを支援してくれる家族が身近にいる
全体		12,269	83.2	71.2	70.1	68.8	66.1	62.5	56.7	53.1	43.7
世帯収入別	100万円未満	418	76.8	62.2	59.1	56.2	60.5	52.6	48.6	53.6	34.9
	100～300万円未満	595	75.0	63.9	62.5	60.7	62.4	54.1	54.3	53.3	36.8
	300～500万円未満	1,288	79.9	64.6	65.8	62.6	65.6	56.4	53.0	52.8	38.4
	500～700万円未満	1,559	79.4	67.3	67.3	66.8	66.5	61.8	56.4	53.4	42.3
	700～1,000万円未満	1,870	83.9	72.2	70.7	69.6	68.0	63.3	57.4	54.3	42.1
	1,000～1,500万円未満	2,648	86.1	75.6	73.1	72.7	70.1	65.9	58.1	52.1	45.8
	1,500～2,000万円未満	1,483	86.6	78.1	75.4	73.8	64.7	66.5	59.5	54.3	47.3
	2,000万円以上	1,215	86.7	76.0	73.9	73.6	62.0	66.3	59.8	51.2	47.9
	わからない	975	84.5	67.9	68.3	67.4	67.0	61.2	56.1	55.1	49.0

単位：%		回答数（n）	ベビーシッターの利用に関する支援が充実している	子育てに関するアドバイスや相談を受ける、情報を入手できる施設が充実している	子育てをしている人同士で交流できる場が充実している	子育てを支援してくれる地域の人が身近にいる	その他	特にない	わからない	無回答
全体		12,269	36.1	32.2	28.3	19.3	1.2	0.7	1.5	1.8
世帯収入別	100万円未満	418	23.4	30.6	27.0	17.7	1.2	1.0	3.1	3.6
	100～300万円未満	595	29.9	34.5	32.4	23.4	0.5	1.3	3.2	3.5
	300～500万円未満	1,288	30.2	34.0	29.4	20.2	0.9	1.3	2.3	1.9
	500～700万円未満	1,559	33.4	35.7	30.1	19.2	1.2	0.9	1.7	1.3
	700～1,000万円未満	1,870	35.2	33.3	29.4	19.6	1.6	0.5	1.6	1.3
	1,000～1,500万円未満	2,648	39.7	31.3	29.0	20.2	1.2	0.5	0.8	1.3
	1,500～2,000万円未満	1,483	41.9	27.7	24.8	17.7	1.2	0.3	0.3	1.2
	2,000万円以上	1,215	46.1	24.7	22.1	16.2	1.4	0.7	0.5	0.9
	わからない	975	30.2	39.3	31.8	21.1	0.9	0.7	2.5	2.5

子どもの有無別でみると、子どもがいる人の方が、子どもがいない人に比べて「治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている」、「子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている」、「子育てしやすい教育・住環境が整っている」、「幼稚園・保育園・認定こども園などが充実している」、「子どもを連れての外出がしやすい施設が多くある」等が高くなっています。子どもがいない人では「自分のキャリアを継続できるなど、子育てと仕事を両立しやすい環境が整っている」、「子育てに関するアドバイスや相談を受ける、情報を入手できる施設が充実している」が高くなっています。

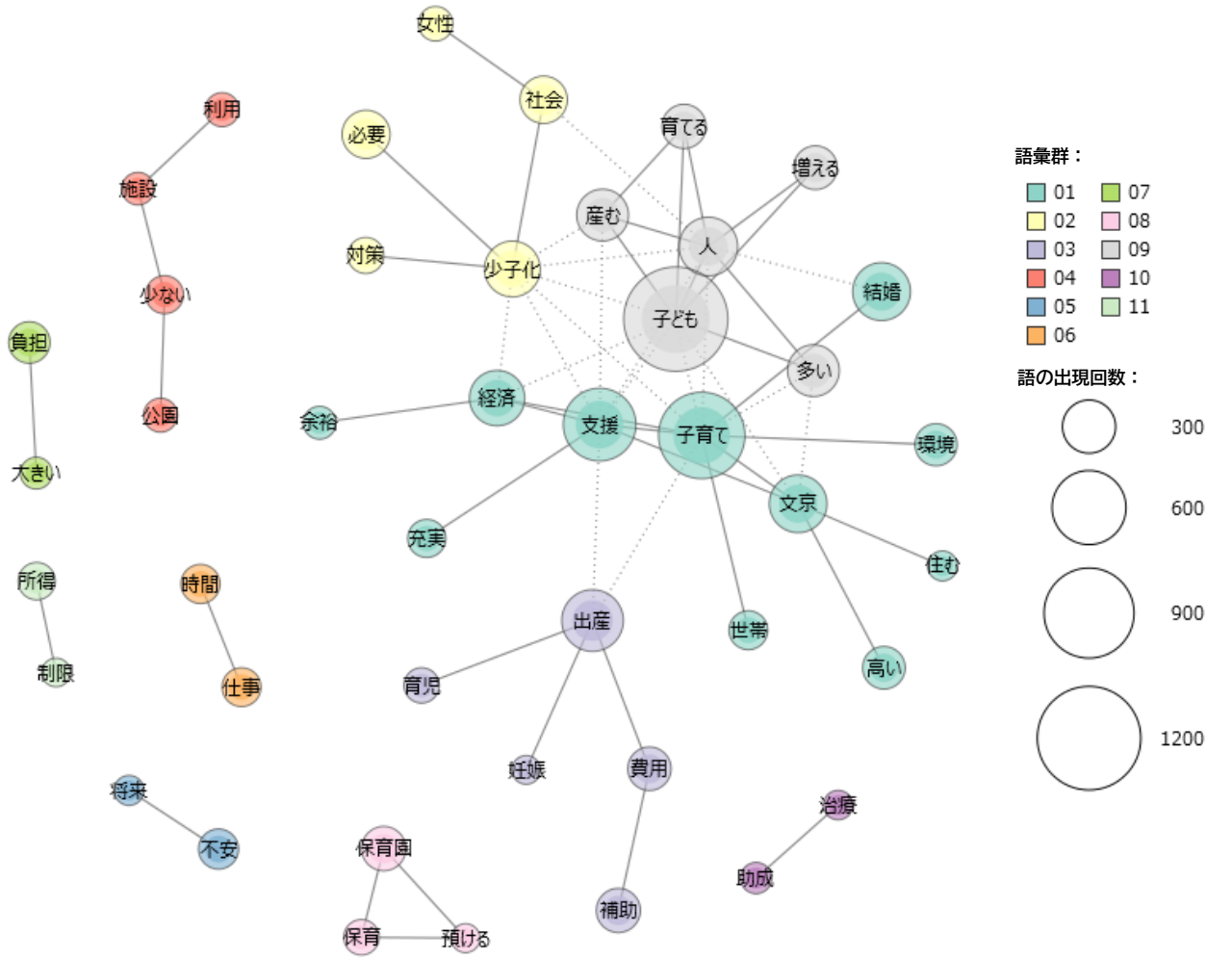
単位：%		回答数（n）	治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている	子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている	子育てしやすい教育・住環境が整っている	幼稚園・保育園・認定こども園などが充実している	子育てに関する経済的な支援がある	子どもを連れての外出がしやすい施設が多くある	必要な時に一時的に子どもを預けることができる施設が充実している	自分のキャリアを継続できるなど、子育てと仕事を両立しやすい環境が整っている	子育てを支援してくれる家族が身近にいる
全体		12,269	83.2	71.2	70.1	68.8	66.1	62.5	56.7	53.1	43.7
子どもの有無別	いる	3,947	89.8	83.3	77.9	75.2	68.9	72.2	57.2	49.4	47.3
	いない	8,217	80.8	66.1	67.1	66.4	65.4	58.5	57.0	55.5	42.4

単位：%		回答数（n）	ベビーシッターの利用に関する支援が充実している	子育てに関するアドバイスや相談を受ける、情報を入手できる施設が充実している	子育てをしている人同士で交流できる場が充実している	子育てを支援してくれる地域の人が身近にいる	その他	特にない	わからない	無回答
全体		12,269	36.1	32.2	28.3	19.3	1.2	0.7	1.5	1.8
子どもの有無別	いる	3,947	39.3	26.9	27.1	19.7	1.4	－	0.2	0.9
	いない	8,217	34.9	35.0	29.2	19.3	1.1	1.1	2.1	1.4

(15) 区への意見「結婚」「出産」「子育て」「少子化」(自由意見)

問45　「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓」や「出産」、「子育て」、「少子化」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

「結婚」「出産」「子育て」「少子化」に関する自由意見をもとに、区民が抱える課題を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワークを作成しました。



「出産」「妊娠」「育児」「費用」などの語がつながっており、妊娠・出産に関しては費用や育児の負担が大きな関心事であることが示されています。「治療」「助成」や「負担」「大きい」などが関連していることから、妊娠・出産への補助や支援の不足が不安につながっており、経済的な支援が求められていることが伺えます。

「少子化」「対策」「社会」「必要」「女性」などの結びつきから、少子化が社会全体の問題として捉えられており、対策が必要であるという意見が読み取れ、特に女性の社会的役割に関する意見が含まれていることが分かります。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

▼妊娠・出産について

〇出産費用の負担軽減に向けた国への提言
〇高額な大学病院での出産費用の補助
〇不妊治療に対する経済的支援の創設
〇無痛分娩費用の補助制度の導入

▼子育て環境について

〇子育て世帯が住める広さの住居確保に向けた支援
〇子育てにおける精神的ケア体制の強化
〇子どもを育てることが社会的に歓迎される環境づくり

▼少子化対策・経済的支援について

〇公立学校の設備や教育内容の充実
〇若年層の収入の低さや将来不安による少子化への影響
〇塾や習い事などの私教育への支援
〇子育て世帯への継続的な金銭的支援の拡充

▼社会全体の意識改革について

〇同性婚の法制化に向けた国への提言
〇パートナーシップ制度の更なる充実

8　若者施策等に関する意見について

（1）区への意見「区の若者施策等」（自由意見）

問46　最後に、文京区の若者施策について、将来に向けて必要だと思うことや、ご意見、ご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

区の若者施策等に関して意見を自由に記入していただいたところ、4,323 件の自由意見がありました。以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

【要望】

▼若者施策の総合的な推進について

〇若者支援の重点的な推進と情報発信の強化
〇全国に先駆けた若者施策の実施
〇教育・学術支援における先進的な施策の展開
〇独身世帯に対する支援不足への不満

▼結婚・子育て・少子化対策について

〇区と東京都による子育て支援施策の拡充
〇結婚前の若者への支援の拡充
〇安心して子どもを育てられる生活環境の整備

▼社会とのつながりについて

〇若者の居場所の確保
〇若者向けワークショップやサークル活動の支援
〇イベント情報の周知手段の拡充

▼就学・就業について

〇若者向け職業訓練やキャリアサポートの充実
〇区独自の雇用支援施策の促進
〇賃金向上と安定雇用の確保

▼住宅について

〇住宅購入支援制度の創設
〇ファミリータイプ住居の価格・供給バランスの是正
〇若年層向けの高品質な公営住宅の整備

▼家族の世話について

〇家族を介護する方への支援
〇介護経験者同士の交流の場の提供
〇ヤングケアラーへの支援体制の更なる強化

▼外国人と治安について

〇外国人住民の増加に対応した教育現場の体制強化
〇地域の安全強化とマナー・ルールの周知徹底
〇外国人観光客によるオーバーツーリズムへの対策の強化

▼ＳＮＳ活用・情報発信について

〇ＳＮＳを活用したアンケート実施や施策の広報の強化
〇Ｙｏｕ Ｔｕｂｅ等を活用した区の取り組みの紹介
〇公共交通機関や商業施設等での施策の情報発信

▼今回の調査について

〇調査結果のフィードバックの実施
〇調査の定期的な実施と内容のアップデート
〇設問数の最適化による回答率の向上
〇若者世代を対象とした意見聴取の機会への歓迎と期待

文京区 BUNKYO CITY

若者の生活と意識に関する調査

日ごろより、区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、文京区では、皆様のご意見やご要望を幅広くお聴きし、若者支援施策を推進していくための基礎資料を得ることを目的として、区内にお住まいの19～39歳の皆様全員を対象に「若者の生活と意識に関する調査」を実施いたします。

調査への回答は任意であり、調査は無記名式です。個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ございません。個人情報保護には万全を期しておりますので、ありのままをご回答ください。また、質問数が多く、**答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございません**のでご安心ください。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年1月

文京区長　成 澤 廣 修

【回答方法】

- 質問に対する回答方法には、選択肢から選ぶものと文字で記入するものがあります。
- 選択肢から選ぶ場合には、選択肢の先頭の番号を○で囲んでください。また、選ぶ選択肢の個数は、質問文末尾の(　)内の指示にしたがってください。

問15 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はありますか。

(○は1つ)

① ある	2 ない

ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)にて

2月19日(水)までに ご投函ください。

(お名前やご住所を記入する必要はありません。)

＜お問い合わせ先＞

「文京区 若者の生活と意識に関する調査」実施事務局
(調査受託:株式会社サーベイリサーチセンター)
〒112-0004　東京都文京区後楽1丁目1－3 5階
TEL:0120-791-196(ﾌﾘｰｺｰﾙ)　午前9:00～午後5:00(土日祝除く)
MAIL:bunkyo-wakamono@surece.co.jp

【調査実施主体】
文京区 子ども家庭部 子育て支援課 子育て支援推進担当

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

1 あなた自身と家庭の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地区をお答えください。

(○は1つ)

1	後楽	6	水道	11	音羽	16	弥生
2	春日	7	小日向	12	本郷	17	根津
3	小石川	8	大塚	13	湯島	18	千駄木
4	白山	9	関口	14	西片	19	本駒込
5	千石	10	目白台	15	向丘		

問1－1 お住まいの地区の丁目をお答えください。

[　　] 丁目

問2 令和7年1月1日時点のあなたの年齢をお答えください。

[　　] 歳

問3 あなた自身が認識する性別をお選びください。

(○は1つ)

1	男性	3	どちらとも言えない	5	答えたくない
2	女性	4	わからない		

問4 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学している学校をお答えください。

(○は1つ)

1	中学校	5	専修学校・専門学校
2	高等学校(全日制)	6	短期大学
3	高等学校(定時制・通信制・サポート校)	7	大学・大学院
4	5年制の高等専門学校(高専)	8	その他(　　)

問5 あなたはいつから文京区にお住まいですか。

(○は1つ)

1 生まれたときから → **次ページの問6へ**

2 転入してきた → (　　歳のとき)

→ **次ページの問5－1もご回答ください。**

問5で、「2 転入してきた」とお答えの方にうかがいます。

問5－1 文京区に転入された理由について、あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

※複数回の転入を経験されている場合は、直近の理由をお答えください。

（○はいくつでも）

1	家族（パートナーを含む）の都合（転勤など）があったから
2	生まれ育ったまちだから
3	自分が通う学校から近いから
4	自分が通う職場から近いから
5	治安がよく、安全だから
6	自然環境が豊かだから
7	商業施設・レジャー施設が充実しているから
8	将来的なまちの発展性があると思ったから
9	将来、子どもを産み育てる場所として良いと思ったから
10	家族（パートナーを含む）が文京区に住んでいるから
11	子どもの通う園や学校から近いから
12	その他（　　）

【再び、全員の方へ】

問6 あなたのお住まいの形態をお答えください。

（○は1つ）

1	自分の持ち家（一戸建て）
2	自分の持ち家（集合住宅）
3	自分以外（親や配偶者・パートナーなど）の持ち家（一戸建て）
4	自分以外（親や配偶者・パートナーなど）の持ち家（集合住宅）
5	借家（一戸建て）
6	賃貸マンション・賃貸住宅
7	社宅・公務員宿舎
8	学生寮
9	その他（　　）

問7 あなたと一緒に住んでいる人は、**あなたを含めて**何人ですか。

□□ 人

「1人」とお答えの方は、次ページの問8へ、
「2人以上」とお答えの方は、次ページの問7－1もご回答ください。

問7で、「2人以上」とお答えの方にうかがいます。

問7－1 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1	配偶者・パートナー・交際相手	6	祖母
2	子ども	7	兄弟姉妹
3	父親	8	その他の親戚など
4	母親	9	友人・知人
5	祖父		

【再び、全員の方へ】

問8 あなたの家庭の家計（年間の収入）について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。

（○は1つ）

1	100万円未満	6	1,000～1,500万円未満
2	100～300万円未満	7	1,500～2,000万円未満
3	300～500万円未満	8	2,000万円以上
4	500～700万円未満	9	わからない
5	700～1,000万円未満		

問9 あなたの家庭の家計（状況）について、一番近いものの番号1つに○をつけてください。

ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。

（○は1つ）

1	赤字であり、お金を借りている	5	黒字であり、定期的に貯金している
2	赤字であり、貯金を切り崩している	6	その他（　　）
3	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	7	わからない
4	黒字であるが、貯金はしていない		

問10 お金の不安や悩みがある費用について、あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1	居住費	7	趣味・交際費
2	食費	8	通信費
3	医療費	9	子どもの養育費
4	学費・奨学金返済	10	家族（パートナーを含む）の介護等に係る経費
5	資格取得やキャリアアップのための費用	11	その他（　　）
6	留学費	12	特になし

問11 あなたは日本語をどの程度使うことができますか。(話す、聞く、読む、書くなど)

(○は1つ)

1	母語(日常生活で最も自然に使える言語)としている
2	母語ではないが、不自由なく使える
3	母語ではないが、ほとんど不自由することなく使える
4	母語ではなく、日常生活で時々困難を感じる
5	母語ではなく、日常生活で不自由することが多い
6	母語ではなく、まったくできない

問12 あなた自身の状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(○は1つ)

1	障害者手帳をもっている
2	障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で相談・治療等を受けている
3	あてはまるものがない

問13 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
① 自分には自分らしさというものがあると思う	1	2	3	4
② 今の自分を変えたいと思う	1	2	3	4
③ 将来よりも今の生活を楽しみたい	1	2	3	4
④ 今の自分が好きだ	1	2	3	4
⑤ 自分は幸せである	1	2	3	4
⑥ 家族(パートナーを含む)や親族に大事にされていると思う	1	2	3	4
⑦ 人や社会の役に立ちたいと思う	1	2	3	4
⑧ うまくいくかわからないことも意欲的に取り組む	1	2	3	4
⑨ 自分は孤独だと感じる	1	2	3	4
⑩ 人生が嫌になることがある	1	2	3	4

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

2 あなたの普段の生活についてうかがいます。

問14 あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。**3つまで**○をつけてください。

(○は3つまで)

1	家族(パートナーを含む)と話をする
2	友だちや交際相手と話をする
3	友だちなどとメールやLINEなどで連絡を取り合う
4	テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する
5	ゲームをする
6	勉強をする
7	スマートフォンやパソコンで、インターネットやSNSを見る
8	本、雑誌、マンガなどを読む
9	スポーツなどで体を動かす
10	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける
11	食事や買い物に出かける
12	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く
13	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く
14	子どもの世話をする
15	親の介護をする
16	親の代わりに家事や兄弟姉妹の世話をする
17	社会参加活動(サークル活動・ボランティア活動など)をする
18	特に何もしないで、ひとりでのんびり過ごす
19	その他(　　)

問15 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はありますか。

(○は1つ)

1 ある → **次ページの問15－1へ**

2 ない → **次ページの問16へ**

問15で、「1 ある」とお答えの方にうかがいます。

問15－1 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はどこですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 自宅・自分の部屋
2 自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）
3 学校（部活動を含む）
4 職場（アルバイトを含む）
5 地域（公園、図書館、サークル・ボランティアの活動の場など）
6 習い事（塾・教室）、スポーツクラブ
7 カフェや喫茶店
8 居酒屋などお酒を提供するお店
9 ゲームセンター、カラオケ、ファストフードなどのお店
10 インターネット空間（SNS、オンラインゲームなど）
11 相談窓口、サポートしてくれる場所（電話やオンラインを含む）
12 その他（ ）

【再び、全員の方へ】

問16 安心できる場所、居心地の良い場所として、どのような場所があれば良いと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 気軽に話ができる場所
2 静かに勉強や読書ができる場所
3 ゲームやパソコンができる場所
4 緑がある公園や広場
5 いろいろなスポーツができる体育館や運動場
6 文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所
7 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所
8 ひとりでも安心して、家族（パートナーを含む）や友だちには話せない悩みの相談ができる場所
9 その他（ ）
10 特にない

問17 あなたは普段どのくらい外出しますか。

（○は1つ）

1 ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）
2 週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）
3 人づきあいや用事のために、週1日程度外出する

→ 次ページの問18へ

4 いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
5 いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
6 家からほとんど出ない

問17で、「4」～「6」とお答えの方にうかがいます。

問17－1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

（○は1つ）

1 3か月未満
2 3か月～6か月未満
3 6か月～1年未満
4 1年～2年未満
5 2年～3年未満
6 3年～5年未満
7 5年～10年未満
8 10年以上

問17で、「4」～「6」とお答えの方にうかがいます。

問17－2 あなたの外出状況が現在の状態となったのはいつ頃からですか。

□□ 歳の頃

問17で、「4」～「6」とお答えの方にうかがいます。

問17－3 あなたの外出状況が現在の状態となったきっかけは何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 外出する必要がなかったため
2 仕事や授業がリモートになったため
3 通信制の学校のため
4 育児をすること（妊娠中を含む）になったため
5 介護や看護をすることになったため
6 学校になじめなかったため
7 受験がうまくいかなかったため
8 就職活動がうまくいかなかったため
9 職場になじめなかったため
10 人間関係がうまくいかなかったため
11 病気・障害のため
12 退職したため
13 その他（ ）

【再び、全員の方へ】

問18 あなたは今、不安や悩みはありますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 勉強のこと
2 進学、就職のこと
3 仕事のこと
4 将来のこと
5 友だちとの関係
6 先輩・後輩との関係
7 交際相手との関係
8 家族（パートナーを含む）との関係
9 子どもの園・学校や将来のこと
10 家の経済状況
11 自分の健康や病気のこと
12 家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと
13 外見に関すること
14 自分の性別に関すること
15 近所や地域の人との関係
16 インターネット上の人間関係
17 好きなことをする時間がない
18 日常的に兄弟姉妹の面倒を見なければならない
19 日常的に家族（パートナーを含む）の介護をしなければならない
20 日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない
21 その他（　　）
22 特に不安や悩みはない
23 わからない

問19 家族（パートナーを含む）や親族、学校や職場の人に不安や悩みを相談できますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つ）

		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
家族（パートナーを含む）や親族	① 不安や悩みを相談できる	1	2	3	4
	② 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
学校や職場の人	① 不安や悩みを相談できる	1	2	3	4
	② 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4

問20 あなたが文京区等の行政機関に相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 匿名で相談できる
2 秘密が守られる
3 同年代の人に相談できる
4 同性の人に相談できる
5 専門家の人に相談できる
6 電話で相談できる
7 SNS（LINE、X、Instagramなど）やメールで相談できる
8 曜日や時間を気にせず相談できる
9 相談できる場所が自宅から近い
10 相談する相手が自宅に来てくれる
11 無料で相談できる
12 その他（　　）
13 特に望むことはない

問21 あなたの「普段の生活や状況」、「不安や悩みごと」について感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

3 あなたの家族(以後、パートナーを含みます。)の世話、家族から受けている世話についてうかがいます。

問22 家族の中に、あなたが日常的に世話をしている人はいますか。
(自分の子どもの育児や世話は除きます。)

(○は1つ)

1 いる
2 いない → 13ページの問23へ

問22で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問 22－1 あなたが世話をしている人は誰ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 父親
2 母親
3 祖父
4 祖母
5 弟・妹
6 兄・姉
7 配偶者・パートナー
8 その他(　　)

問22で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問 22－2 あなたは日常的にどのような世話をしていますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 家族の食事を作っている
2 兄弟姉妹の身のまわりの世話をしている
3 家の掃除をしている
4 家族の洗濯をしている
5 日本語が苦手な家族のために、付き添い、通訳をしている
6 障害・疾病がある家族の通院に付き添っている
7 障害・疾病がある家族の薬の管理をしている
8 障害・疾病がある家族の見守りをしている
9 高齢の家族の見守りをしている
10 障害や高齢の家族の排せつや入浴の手伝いをしている
11 家族の感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になる)をしている
12 その他(　　)

次ページの問 22－3もご回答ください。

問22で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問 22－3 あなたが文京区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 自分の今の状況について話を聞いてほしい
2 自分と同じ環境の人と話をしたい
3 将来のことについて相談にのってほしい
4 家族の世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい
5 家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
6 家族の世話を代わりにやってくれるサービスを教えてほしい
7 家族から離れて過ごせる場所がほしい
8 金銭的な援助をしてほしい
9 その他(　　)
10 必要としている支援はない

→ 次ページの問23へ

問22－3で、「1」～「6」とお答えの方にうかがいます。

問 22－4 どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 対面
2 電話
3 メール
4 LINE
5 その他(　　)

【再び、全員の方へ】

問 23 あなたは、生活を維持するために、自身の親や保護者から日常的にどのような世話を受けていますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1	生活に関わること（掃除、洗濯、食事の準備など）
2	金銭的なこと（家賃や生活費の補助、学費の援助など）
3	健康や体のこと（通院の付き添い、体調不良時の看病など）
4	精神的なこと（悩み相談、話し相手になってもらうなど）
5	その他（　　）
6	世話を受けていない

問24 自分や家族の将来への不安など（例：8050問題（高齢の親（80代）とその親に依存して生活している中高年の子ども（50代）が直面する社会問題）、「家族の世話」や「家族から受けている世話」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

4 あなたの就学・就業状況等についてうかがいます。

問25 就学・就業状況についてお答えください。

（○は1つ）

1	学生（予備校生などを含む）	→ 16 ページの問 26へ
2	正社員・正規職員	
3	契約社員など非正規職員	
4	パート・アルバイト	
5	自営業	
6	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）	
7	専業主婦・主夫	→ 次ページの問 25－2へ
8	働いていない（育休中等も含む）	
9	その他（　　）	→ 16 ページの問 26へ

問25で、「2」～「6」とお答えの方にうかがいます。

問25－1 残業も含めた1日の平均労働時間についてお答えください。

1日あたり平均 [　　] 時間

問25で、「7」、「8」とお答えの方にうかがいます。

問25－2 現在、働いていない理由についてお答えください。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 就職活動中のため
2 資格試験などの準備のため
3 やりたいことを目指して勉強中・修行中のため
4 独立・開業に向けた準備のため
5 ボランティアや社会貢献活動に従事しているため
6 希望する職種に求人がないため
7 労働条件・環境に関する不安があるため
8 病気、けが、障害があるため
9 心のケアが必要な状況であるため
10 人間関係に不安があるため
11 どんな仕事につけばいいのかわからないため
12 知識・能力に自信がないため
13 育児をするため
14 介護をするため
15 家庭内での家事などを専業としているため
16 働く意欲がわかないため
17 経済的に余裕があるため
18 その他（　　）
19 特に理由はない

【再び、全員の方へ】

問26 あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 仕事にやりがいを感じられること
2 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること
3 実力を適正に評価してくれること
4 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
5 働き方（在宅勤務等）が選べること
6 給料が高いこと
7 残業や休日出勤が少ないこと
8 休みを取りやすいこと
9 福利厚生が充実していること
10 長い年数働き続けられること
11 通勤の便など、地理的条件が良いこと
12 正社員・正規職員で働くこと
13 その他（　　）
14 特にない

問27 「仕事」や「働き方」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

5 あなたの社会とのつながりや文京区に関することについてうかがいます。

問28 地域の人（家族や親族以外の近所の人）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つ）

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
① 日常的な挨拶等ができる	1	2	3	4
② 話すことができる	1	2	3	4
③ 悩み事を相談できる	1	2	3	4
④ 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4

問29 あなたは、現在、次のような社会参加活動をしていますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 町会・自治会などが行う、地域のお祭りやイベントに関する活動
2 町会・自治会などが行う、地域の清掃、防犯、防災などに関する活動
3 文化や芸術（音楽、美術、料理など）を通じた交流活動
4 スポーツを通じた交流活動
5 子どもに関する活動
6 高齢者や障害者に関する活動
7 国際交流イベントなど外国人を支援する活動
8 オンラインでの交流
（オンラインゲーム、オンラインイベント、オンラインセミナーなど）
9 その他（ ）

→ 19ページの問30へ

10 特に、社会参加活動はしていない

→ 次ページの問29－1へ

問29で、「10 特に、社会参加活動はしていない」とお答えの方にうかがいます。

問29－1 参加していない理由は何ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから
2 活動の時間や日程が合わないから
3 経済的余裕がないから
4 関心がないから
5 必要性を感じないから
6 一緒に参加する知人・友人がいないから
7 人付き合いや人間関係が苦手だから
8 地域でどのような活動が行われているのか知らないから
9 参加方法がわからないから
10 地域の活動が盛んではないから
11 その他（ ）

【再び、全員の方へ】

問30 文京区や住んでいる地域への愛着を感じていますか。

（○は1つ）

1 感じている	3 あまり感じていない
2 まあ感じている	4 感じていない

次ページの問31へ

問30で、「1」、「2」とお答えの方にうかがいます。

問30－1 どんなところに愛着を感じていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 住んでいる人がやさしく、親切なところ
2 住んでいる人のマナーが良く、安心して暮らせる環境が整っているところ
3 地域の人々が協力し合い、コミュニティの一体感を感じられるところ
4 治安がよく、安全で安心して生活できるところ
5 街がきれいなところ
6 交通の便が良く、移動が快適で便利なところ
7 子ども・子育て支援が充実しているところ
8 教育機関が充実しており、学びの環境が整っているところ
9 気に入ったお店や商店街があり、日常的な楽しみがあるところ
10 公園や庭園が多く、自然を身近に感じられるところ
11 歴史的建造物や史跡・旧跡が多く、地域の歴史を感じられるところ
12 地域のお祭りやイベントがあるところ
13 にぎやかな場所と閑静な住宅街が共存し、暮らしやすさがあるところ
14 美術館・博物館などの文化施設が充実し、知識や芸術を楽しめるところ
15 文豪が暮らしていた歴史や文化に触れられるところ
16 生まれ育ったまちであり、思い出や愛着が深いところ
17 その他（　　）

【再び、全員の方へ】

問31 これからも文京区に住み続けたいと思いますか。

（○は1つ）

1 住み続けたい	3 どちらかというと住み続けたいと思わない
2 どちらかというと住み続けたい	4 住み続けたいと思わない
	5 わからない

問32 困ったときの相談窓口で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

①～⑧の事業ごとに、(1)(2)(3)のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つ）

	(1) 知っている		(2) 利用したことがある		(3) 今後利用したい	
① 文京区保健サービスセンターの相談サービス	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
② 文京区子ども家庭支援センターの相談事業	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
③ 文京区教育センターの「総合相談室」	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
④ 文京区男女平等センター相談室	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
⑤ 文京区自立相談支援窓口（生活困窮に関する相談窓口）	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
⑥ 文京区ひきこもり支援センター	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
⑦ 文京区生活福祉課の女性相談	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
⑧ 東京都児童相談センター	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ

問33 文京区の政策や施策について、自分の考えを伝えたいと思いますか。

（○は1つ）

1 そう思う
2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない
4 そう思わない

問33で、「1」、「2」とお答えの方にうかがいます。

問33－1 それはどのような理由からですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 自分の日常生活や興味・関心に関係しているから
2 地域の将来をより良いものにしたいと思うから
3 政策や施策に自分の意見を反映させたいから
4 政策や施策に関心があり、積極的に意見を伝えたいから
5 自分の経験や知識を社会に役立てたいから
6 その他（　　）

問33で、「3」、「4」とお答えの方にうかがいます。

問33－2 それはどのような理由からですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 区に意見や要望を伝えるのは面倒だから
2 意見を伝える方法がわからないから
3 区の政策や施策を知らないから
4 区の政策や施策に関心がないから
5 区に意見を伝えても反映されないと思うから
6 意見を伝えることが苦手だから
7 自分の意見に自信がないから
8 文京区に伝えたい意見がないから
9 その他（　　）

【再び、全員の方へ】

問34 どのような方法や手段があれば、文京区の政策や施策について意見を伝えやすいと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 SNSを使って意見を伝える
2 区のホームページから意見を送る
3 アンケートに答える
4 同年代が集まる会議やワークショップなどで意見交換しながら伝える
5 伝えた意見がどのように反映されるのかわかる
6 意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる
7 自分のことが公開されない（秘密が守られる）
8 意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる
9 その他（　　）

問35 地域とのつながりをはじめとする「社会とのつながり」や「文京区に関すること」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

6 あなたの将来への希望感についてうかがいます。

問36 自分の将来について明るい希望を持っていますか。

（○は1つ）

1	希望がある	3	どちらかといえば希望がない
2	どちらかといえば希望がある	4	希望がない

問37 あなたは10年後、どのようになっていると思いますか。
それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① やりたいと思っている仕事をしている	1	2	3	4
② 十分な収入で暮らしている	1	2	3	4
③ 何でも話せる人が周りにいる	1	2	3	4
④ 結婚している、またはパートナーと一緒に暮らしている	1	2	3	4
⑤ 子育てをしている	1	2	3	4
⑥ 起業している	1	2	3	4
⑦ 地方に移住している	1	2	3	4
⑧ 地域活動やボランティア活動に取り組んでいる	1	2	3	4
⑨ 親世帯または子世帯の近くで暮らしている	1	2	3	4
⑩ 仲間と楽しく暮らしている	1	2	3	4
⑪ 今と変わらない	1	2	3	4
⑫ 今より状況が悪くなっている	1	2	3	4

問38 「将来への希望感」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

次は、結婚や子育て、少子化対策などについてうかがいます。

現在、文京区では人口が増えています。しかし、日本全体では 2008 年をピークに人口が減少しており、将来的には文京区でも人口が減少すると予測されています。

人口減少は、地域社会における担い手不足や、現役世代の負担増加による社会・経済への影響が懸念されています。このため、国は少子化対策を進めています。また、2023年に策定された**「こども大綱」では、若い世代が安心して生活し、多様な価値観・考え方を大前提として、結婚や子育てに関する希望を実現できる環境を整えることを目標**としています。

この考え方に基づき、**若者施策としての結婚や子育てに関する支援について検討をする**ため、次からは、それらに関することを皆さんにうかがいます。

1　このまま回答を続ける

2　回答をしたくない・控えたい

次ページの問 39 へ

32 ページの問46へ

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

7 結婚や子育て、少子化対策などについてうかがいます。

問39 現在のあなたの状況をお答えください。

（○は1つ）

1　結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている

2　現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）

問39で、「1 結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」とお答えの方にうかがいます。

問39－1－1 配偶者・パートナーとは、どのようなきっかけで知り合いになりましたか。

（○は1つ）

1	学校	7	街コン・婚活パーティ
2	学校以外のサークル活動や習い事	8	街中や旅先、イベント
3	職場・仕事関係	9	マッチングアプリ
4	友人や兄弟姉妹を通じて	10	SNS
5	お見合い	11	その他
6	結婚相談所		（　　）

問39で、「2 現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。

問39－2－1 あなたは、現在交際している人はいますか。

（○は1つ）

1　いる

2　いない　→　**28ページの問39－2－5へ**

問39－2－1で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問39－2－2 交際相手とはどのようなきっかけで知り合いになりましたか。

（○は1つ）

1	学校	7	街コン・婚活パーティ
2	学校以外のサークル活動や習い事	8	街中や旅先、イベント
3	職場・仕事関係	9	マッチングアプリ
4	友人や兄弟姉妹を通じて	10	SNS
5	お見合い	11	その他
6	結婚相談所		（　　）

次ページの問 39－2－3・問 39－2－4もご回答ください。

問39－2－1で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問 39－2－3 交際相手とのこれからについて、どのように考えていますか。

（○は1つ）

1	わからない	4	できるだけ早く結婚したい
2	結婚の形にこだわりはない	5	結婚を考えていない
3	いずれは結婚したい	6	その他（　　）

問39－2－1で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問 39－2－4 結婚していない理由をお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1	特に理由はない
2	必要性を感じないから
3	まだ若いから
4	学業や仕事に打ち込みたいから
5	趣味や娯楽を楽しみたいから
6	独身で生活できるだけの経済力があるから
7	家族を持つことに伴う責任を感じるから
8	資金が足りない、収入が不安定だから
9	健康に関する不安があるから
10	同性のパートナーと結婚する国の制度がないから
11	夫婦別姓にする国の制度がないから
12	交際相手が結婚に対して関心がないから
13	宗教や文化的な制約があるから
14	結婚に向けて準備中
15	その他（　　）

問39－2－1で、「2 いない」とお答えの方にうかがいます。

問39－2－5 結婚相手・交際相手を見つけることを目的とした活動（いわゆる婚活など）を行っていますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

（○はそれぞれ1つ）

	行っている	行っていないが興味がある	行っていないし興味もない
① 友人・知人の紹介	1	2	3
② マッチングアプリ	1	2	3
③ SNS	1	2	3
④ お見合い	1	2	3
⑤ 結婚相談所	1	2	3
⑥ 街コン・婚活パーティ	1	2	3
⑦ 婚活以外のイベントに参加	1	2	3
⑧ 自治体が主催する結婚支援	1	2	3
⑨ その他（　　）	1	2	3

問39で、「2 現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。

問39－3 国や自治体に期待する結婚支援、パートナーシップに関する支援はどんなことですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1	特にない
2	出会いの場や機会を創出するための支援
3	公的相談所や公的相談会の開設
4	住まいや暮らしへの経済的支援
5	雇用や収入の安定化を目指した施策
6	出会いに関するサービス利用の支援（マッチングアプリ登録費用の補助など）
7	結婚やパートナーシップに関する情報の提供
8	その他（　　）

【再び、全員の方へ】

問40 あなたは、子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんや、里親や養子縁組として育てているお子さんも含めてお答えください。

（○は1つ）

1 いる

2 いない → 問41へ

問40で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問40－1 子どもは何人いますか。

□□ 人

【再び、全員の方へ】

問41 あなたは、子どもを何人育ててみたいですか。
子どもを望んでいない、考えていない場合は「0」を記入してください。

□□ 人

「0」とお答えの方は、31ページの問43へ、
「1人以上」とお答えの方は、次ページの問42もご回答ください。

問41で、「1人以上」とお答えの方にうかがいます。

問42 育ててみたい数の子どもを育てるには、どのようなことがあれば良いと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される
2 自分や家族の転勤への配慮がなされる
3 子どもがいても同じ勤務先、部署で継続して就業できる環境がある
4 子どもがいても同じ勤務先、部署でキャリアアップが可能な環境がある
5 子どものことで退職しても、再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある
6 希望どおり産休や育休が取得できる
7 勤務先に育児短時間勤務制度がある
8 子どもと子育てに関する経済的支援施策がある
9 住居費用の補助など住環境への支援がある
10 妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている
11 不妊治療に対する助成が充実している
12 産後ケア・産後うつへの支援・取組がなされている
13 幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている
14 理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている
15 妊娠・子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている
16 きめ細かいニーズに対応した多様な主体（区、NPO、企業）から育児サービスが得られる
17 家族の協力・理解が得られる
18 親や親族からの支援が得られる
19 友達や近所の人からの支援が得られる
20 身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる
21 里親制度の理解が進み、 充実している
22 養子縁組制度の理解が進み、充実している
23 その他（ ）
24 特にない
25 わからない

【再び、全員の方へ】

問43 あなたは、少子化対策のために必要なことは何だと思いますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 子ども・子育てにやさしい社会の醸成
2 子どもの未来が明るいと思える社会の実現
3 出産や子育てに係る費用の補助の充実
4 児童手当の増額など、現金給付の強化
5 異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動
6 賃上げ等による所得の増加
7 社会全体の働き方改革
8 保育施設・保育サービスの充実
9 男性の育児参加、家事参加
10 その他（　　）
11 有効だと思う取組は特にない
12 わからない

問44 あなたは、子育てをする時、重視したい環境、子育てしやすくするために必要と考える環境は何ですか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 治安が良いなど、子どもにとって安心・安全な環境が整っている
2 子どもがのびのび遊べる公園・広場などが整備されている
3 子どもを連れての外出がしやすい施設が多くある
4 子育てしやすい教育・住環境が整っている
5 幼稚園・保育園・認定こども園などが充実している
6 必要な時に一時的に子どもを預けることができる施設が充実している
7 ベビーシッターの利用に関する支援が充実している
8 子育てに関する経済的な支援がある
9 自分のキャリアを継続できるなど、子育てと仕事を両立しやすい環境が整っている
10 子育てを支援してくれる家族が身近にいる
11 子育てを支援してくれる地域の人が身近にいる
12 子育てをしている人同士で交流できる場が充実している
13 子育てに関するアドバイスや相談を受ける、情報を入手できる施設が充実している
14 その他（　　）
15 特にない
16 わからない

問45 「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓」や「出産」、「子育て」、「少子化」について、感じていることや区に対するご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

※調査は無記名式で、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
※答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はございません。

8 最後にうかがいます。

問46 最後に、文京区の若者施策について、将来に向けて必要だと思うことや、ご意見、ご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。
いただいた回答は、今後の区政に生かしてまいります。

なお、調査結果は、区のホームページに今後掲載する予定ですので、興味のある方はご覧ください。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
令和7年2月19日(水)までにご投函ください(切手を貼る必要はございません。)。

文京区若者の生活と意識に関する調査報告書
令和７年５月

発行：文京区
編集：子ども家庭部子育て支援課子育て支援推進担当
〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
電話　03-3812-7111（代表）